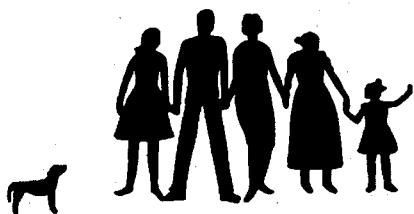


平成 30 年度

事業報告及び附属明細書



ひたすらなるなかみ

滋賀の縁創造実践センター

社会福祉法人 滋賀県社会福祉協議会

目 次

第1次経営計画に基づき実施する事業

【1の柱】新たな事業推進スタイルの創出・・・・・・・・・・・・・・・・	1
―滋賀の縁創造実践センターとの協働―	
【2の柱】2025年を見据えた介護・福祉人材確保・育成の推進・・・・・・・・	3
―介護・福祉人材センターの再構築と地域福祉の新たな担い手づくり―	
【3の柱】i t o g a - i s m 実践の思想を学ぶ生涯福祉学習の推進・・・・・・・・	6
―誰もが暮らしやすい共生社会の実現を目指す「福祉滋賀」の土台づくり―	
【4の柱】子どもの笑顔はぐくみプロジェクトの推進・・・・・・・・・・・・・・・・	6
【5の柱】組織基盤強化のための改革の推進・・・・・・・・・・・・・・・・	8
―自主的・持続的な法人経営を目指す組織の確立―	

平成30年度事業報告（部門別）

経営部門	
＜法人経営担当＞・・・・・・・・・・・・・・・・	9
＜資金担当＞・・・・・・・・・・・・・・・・	16
事業部門	
＜地域福祉担当＞・・・・・・・・・・・・・・・・	24
滋賀の縁創造実践センター・・・・・・・・	50
人材部門	
＜介護・福祉人材センター＞・・・・・・・・	53
＜研修センター＞・・・・・・・・	64
＜レイカディア振興担当＞・・・・・・・・	77
福祉用具センター・・・・・・・・	85
運営適正化委員会・・・・・・・・	96

※本報告書は、社会福祉法に規定する事業報告及び事業報告を補足する重要事項である附属明細書を「事業報告及び附属明細書」として一体的に作成しています。

※本報告書では、研修講師等の氏名は敬称を略させていただいております。

第1次経営計画に基づき実施する事業

【1の柱】 新たな事業推進スタイルの創出 —滋賀の縁創造実践センターとの協働—

1 “ネクスト縁”に向けた基盤づくり

- ・滋賀の縁創造実践センターの志と実践を継承するために、本会定款の改正を行った。（平成30年11月の理事会で承認を得て評議員会で決議。平成31年2月21日に認可。）
- ・縁センターを継承する事業を実施するため、定款に事業を追加するとともに「縁特別会員制度」を創設した。（平成30年11月理事会で承認を得て評議員会で決議。）

2 縁センターのリーディングプロジェクトとの協働

(1) 「滋賀の“縁”」認証事業の推進

- ・「滋賀の“縁”」認証にふさわしい実践を発掘すべく、局内に縁認証プロジェクトチームを設けて11団体に取材を行い県との共同により8団体を推薦した。
- 結果：認証3団体、奨励3団体

【目標達成度：8（実績値）／19（目標値）】

①プロジェクトチーム会議の開催

平成30年5月8日（火）・5月21日（月）・6月7日（木）

②縁認証委員会の開催

開催日 平成30年9月11日（火）

会 場 滋賀県健康医療福祉部長室

内 容 「滋賀の“縁”」認証の審議

結 果 認証3団体、奨励3団体

③「滋賀の“縁”」認証・奨励プレートの贈呈（滋賀県社会福祉協議会会長表彰表彰式）

開催日 平成30年11月1日（木）

会 場 クサツエストピアホテル

④「滋賀の“縁”」認証事業懇談会の開催

開催日 平成30年11月30日（金）

会 場 滋賀県公館

⑤「ひたすらなる事例集」の発行

- ・認証された3団体の実践を「ひたすらなるつながり事例集」としてまとめ、関係団体等に配布した。

発行部数：500部

3 「縁・支え合いの県民運動」の推進

(1) 「福祉ボランティア体験プログラム」の実施

①「縁・支え合いの県民運動」の推進

- ・「縁・支え合いの県民運動」として、計246の社会福祉法人・市町社協に「平成30年度福祉ボランティア体験」受入れの情報提供を依頼した。24件の体験の情報提供があり、しがボランティアネットに掲載、体験を呼びかけた。

(2)「縁・支え合いの県民運動」の気運醸成のための取組

①「えにしの日」・「えにし週間」における避難所・福祉避難所訓練等の実施推進

ア.えにしの日」「えにし週間」の実施

実施団体 延べ13団体

重点取組 「誰もが安心して利用できるための避難所チェック13項目」を活用した避難所確認、設置運営訓練、マニュアルの検証」「当事者団体が実施する訓練・学習会」

②滋賀県災害時要配慮者ネットワーク会議の開催

<第1回>

開催日 平成30年7月26日(木)

会場 センター

内容 「大阪北部地震並びに平成30年7月豪雨災害の支援活動について」
コミュニティ・エンパワメント・オフィスFEEL Do代表 栗原 英文

参加者 69名

<第2回>

開催日 平成31年2月1日(金)

会場 滋賀県防災危機管理センター

内容 「災害時要配慮者支援対策について」
コミュニティ・エンパワメント・オフィスFEEL Do代表 栗原 英文

参加者 87人

③災害時福祉的支援検討会の開催(県と共同事務局)

開催日 平成31年3月26日(火)

会場 県庁

【目標達成度(5年間の実績):10,442人(実績値)/10,000人(目標)】

(内訳)

- ・県ボランティアセンター・ボランティア体験事業:3000人
- ・遊べる・学べる淡海子ども食堂ボランティア:3450人
- ・フリースペースのボランティア:110人
- ・ハローわくわく仕事体験のセミナーや受入れへの協力者:399人
- ・レイカディアえにしの会 110人・レイカディア大学サポート隊:200人
- ・レイカディア大学ボランティアの日 973人・災害ボランティア:300人
- ・「えにしの日」への参加:32団体/1900人

4 課題解決のためのネットワークづくり

(1)事例検討“多職種サロン”の開催

開催日 長浜市南部会場 7月12日(木) 参加者 68名

長浜市北部会場 7月13日(金) 参加者 54名

(2)フリースペースヒアリング調査を通じた事例検討の実施ならびに報告書の作成

- ・10か所のフリースペースを訪問調査・事例検討
- ・報告書…平成30年12月発行

【2の柱】 2025 年を見据えた介護・福祉人材確保・育成の推進
—介護・福祉人材センターの再構築と地域福祉の新たな担い手づくり—

＜南部介護・福祉人材センター／湖北介護・福祉人材センター＞

1 介護・福祉人材センターの機能強化

(1) ふく・楽 CAFE の拡充

- ・介護・福祉職場の職員と大学生等との交流「ふく・楽 CAFE」を開催し、大学生等が職員との対話を通じて介護・福祉職場の仕事の魅力、やりがい、多様な働き方など「ふくしの仕事と楽しく生きる」ことの実感を、介護・福祉職場への理解を深めるとともに、働く意欲の高揚を図った。

①大学での「ふく・楽 CAFE」

- ・ 6 回開催し、170 人が参加した。

②地域での「ふく・楽 CAFE」

- ・ 3 回開催し、19 人が参加した。

③就職フェアとしての「ふく・楽 CAFE」

- ・従来の合同就職説明会の手法を以下の観点から見直し、「カイゴとフクシ就職フェア」として介護・福祉職場と求職者とのマッチングに取り組んだ。
 - ア. 気軽に参加しやすく、話しやすい雰囲気づくり
 - イ. 来場者が福祉の魅力、実際に働く姿をよりリアルに感じられる場づくり
 - ウ. 来場者のブース着席数を増やす工夫
 - エ. 来場の利便性を考慮した会場設定

開催数 7 回（前年 2 回 +5 回）

出展法人数 181 法人

来場者数 452 人（学生 174 人・社会人 278 人）

（前年：学生 182 人/▲8 人・社会人 217 人/+61 人）

※ 5 法人以上ブースを回った来場者数：304 人（67.3%）

1 法人あたりの訪問者数：10.97 名

採用者数 23 人（学生 10 人・社会人 13 人）

※平成 31 年 3 月開催による採用者数は新年度で把握する。

(2) 職業紹介業務の効率的かつ着実な実施

採用者数 88 人（南部 64 人・湖北 24 人）

（前年：南部 71 人 ▲7 人 湖北 20 人 +1 人）

うち紹介・応募による採用者数 38 人（南部 25 人・湖北 13 人）

（前年：南部 36 人/▲11 人・湖北 11 人/+2 人）

うち就職フェアによる採用者数 50 人（南部 39 人・湖北 11 人）

（前年：南部 35 人/+4 人・湖北 9 人/+2 人）

・新規求人数 年累計 3,506 人（南部 2,635 件・湖北 871 件）

（前年 4：南部 3110 人/▲475 人・湖北 1,137 人/▲266 人）

・新規求職者数 年累計 1,149 人（南部 899 人・湖北 250 人）

（前年：南部 885 人/+14 人・湖北 227 人+23 人）

- ・有効求人数 年平均 904 人（南部 637 人・湖北 267 人）
- ・有効求職者 年平均 329 人（南部 257 人・湖北 73 人）
- ・有効求人倍率 年平均 2.75（南部 2.48・湖北 3.68）
- ・紹介・応募数 93 人（南部 69 人・湖北 24 人）
（前年：南部 72 人/▲3 人・湖北 27 人/▲3 人）

(3) 離職介護福祉士等届出制度による有資格者や経験者の登録促進

- ・離職の有無にかかわらず有資格者の届出を進めるため、滋賀県介護福祉士会の協力のもと介護福祉士会会員への制度周知および届出の勧奨を図った。また、人材センター求職登録者や福祉研修センターの各種研修受講者への制度周知および届出の勧奨を図った。

<実績>

年度	平成 29 年度	平成 30 年度	合計
届出者数	262 人	149 人	411 人

2. 就労希望者の就労支援の充実

(1) 求職者に対するきめ細やかな支援の実施

- ・各圏域のハローワーク・関係機関等へ出向き、求職者へのガイダンス、出張相談、市役所等への巡回相談を実施した。新たな取組として、ハローワーク（長浜、東近江）における「介護・福祉の職場ガイダンス」終了後、2～3事業所による小規模な就職説明会を開催した。

①介護・福祉の職場ガイダンス

参加者数 717 人 求職登録者数 40 人 採用者数 0 人

②ミニ就職説明会

参加者数 32 人 求職登録者数 5 人 採用者数 2 人

③出張相談（要予約）

県内 6 か所で定期的に実施

相談者数 14 人 求職登録者数 6 人 採用者数 0 人

④巡回相談（要予約）

県内 3 か所で毎月 1 回実施（湖北）

相談者数 5 人 求職登録者数 5 人 採用者数 0 人

⑤養成施設における就職支援

県内延べ 6 施設で実施（南部）

受講者数 86 人

⑥滋賀県保育協議会との合同就職説明会

5 回実施（南部 4 回・湖北 1 回）

相談者数 21 人 求職登録者数 7 人 採用者数 0 人

⑦市町等との就職説明会の開催

10 回開催（南部 5 回・湖北 5 回）

(2) 再就職準備金貸付事業の実施

貸付者数 22 人（4,400,000 円）（前年 10 人/＋12 人）

3 就業者の介護・福祉業界への定着支援の取組

(1) 新入職員の定着支援

①実行委員会方式による合同入職式の開催

開催日 平成30年5月17日(木)

会場 琵琶湖ホテル

参加者 74名

②フォローアップ交流研修会の開催

・南部会場及び湖北会場で1回ずつ開催した。

参加者 40名(南部会場:28名・湖北会場:12名)

(2) 新入職員等の定着支援の取組推進

①メンター育成研修および支援員派遣事業の実施

・基礎コース(21名・18事業所参加)及び定着支援コース(27名・21事業所参加)を実施した。

・定着支援コースでは支援員による巡回支援相談を年2回実施した。

②キャリア・ライフ電話相談の実施

相談件数 39件

③出前講座(無料講師派遣)の実施

講師派遣数 72件

④職場内研修支援事業の実施

登録講師派遣回数 10件

<福祉研修センター>

1 「(仮称)滋賀県社会福祉研修センター」の立ち上げと新たな研修体系に基づく研修の実施

(1) 研修プログラム検討委員会の開催及び「滋賀の福祉人^{ふくしじん}の育成に関する協定」の締結

・平成30年5月から9月にかけて合計4回の委員会を開催し、平成30年9月30日に中間報告書をまとめた。

・また、介護人材の質の向上や確保定着を図るため、介護分野で働く滋賀の福祉人を育成する研修を広く周知し、受講を促進することを目的として、平成30年12月7日に滋賀県、大津市および滋賀県社会福祉協議会は、「滋賀の福祉人の育成に関する協定」を締結した。

2 社会福祉職員のキャリアパス研修(新任期)の試行的実施

・新たな滋賀県社会福祉研修センターの実施する研修としてキャリアパス研修(新任期)を4日間・2コース実施した。

・修了者数 148名

3 介護職チームリーダー養成研修の実施

・新たな滋賀県社会福祉研修センターの実施する研修として介護職員チームリーダー養成研修を16日間・1コース実施した。

・修了者数 29名

4 介護職員実務者研修通信課程スクーリングの実施

・修了者数 35 名

【3の柱】 itoga-ism 実践の思想を学ぶ生涯福祉学習の推進
—誰もが暮らしやすい共生社会の実現を目指す「福祉滋賀」の土台づくり—

1 “ひたすらなるつながり”の実現に向けての福祉学習の推進

(1) 「ひたすらなるつながりフォーラム」の開催

- ・第37回滋賀県社会福祉学会のシンポジウム「介護の“専門性”を問い直す～受け手・担い手・行政、それぞれの立場から～」として実施した。
- ・参加者 392名

(2) 「えにしの日」、「えにし週間」における訓練や研修の協働実施【再掲】

1の柱 3-(2)に同じ。

2 レイカディア大学在校生と卒業生の地域貢献活動の充実

(1) ボランティアの日の実施

- ・実践的な地域活動につながるよう全員一丸となるボランティア活動の企画運営を学生自らが行った。
- ・草津校、米原校でそれぞれ2日ずつ開催

(2) 滋賀県レイカディア大学サポート隊との協働

- ・レイカディア大学の運営サポートを目的に設置されている卒業生の組織である滋賀県レイカディア大学サポート隊と協働し、より良い大学運営を推進した。具体的には学生募集・大学祭の支援、学生対象初心者パソコン講座の実施、レイカディア大学ホームページの運用管理、レイカディアだよりの発行と配布、選択講座助手、園芸学科の実習準備および学校行事にかかる校内環境整備、校外学習の引率サポートを実施した。

(3) レイカディアえにしの会及び学生との協働

- ・「子ども食堂フェスタ」において、レイカディアえにしの会及び在校生のグループがフェスタのコーナーの運営を担い、協働して「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」に取り組んだ。

【4の柱】 「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」の推進

1 遊べる学べる淡海子ども食堂の継続と発展

(1) 子ども食堂開設支援

115 食堂（新規 20 食堂・継続支援 95 食堂）

(2) 子ども食堂開設準備講座「知りたい！はじめて！子ども食堂講座」の開催

・5会場で開催／参加者数 158名

(3) 子ども食堂実践者研修会の開催

・合計5回開催／参加者数 145名

- (4) 子ども食堂交流会の開催
 - ・ 1回開催／参加者数 28名
- (5) 「子ども食堂ガイドブック（入門編）」の発行
平成30年6月発行 3,000部

2 “子どもの笑顔”のスポンサー活動の推進

- (1) 「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト1周年記念～子どもからおとなまで みんなあつまれ！子ども食堂フェスタ」の開催
開催日 平成30年8月10日（金）
会 場 センター
内 容 感謝状贈呈式、カレーサミット、模擬店、はぐくみネットワークSHIGA発足発表
参加者 約600名
- (2) 広報・啓発活動
 - ①ホームページの開設
 - ② “子どもの笑顔”スポンサー募集パンフレットの刷新
 - ・平成30年6月発行 4,000部
 - ③ 「はぐくみ通信」の発行
 - ・第1号…平成30年11月発行 4000部
 - ④ 子ども食堂・フリースペース向け「サポート一覧冊子」の発行
 - ・平成30年7月発行
 - ⑤ キャラバン隊による“ありがとう”メッセージの贈呈
 - ・平成30年7月16日（月）に県内5箇所（ビバシティ彦根・アル・プラザ長浜
あどがわ店・アル・プラザ守山・アル・プラザ水口）で実施
 - ⑥ オリジナルTシャツの作成
 - ・7はぐくみ基金への寄附金付商品として1着1,000円で販売開始。（1枚あたり200円が基金への寄附）
 - ⑦ オリジナルクリアファイル及びボールペンの作製・配布
 - ・クリアファイル1,000枚及びボールペン500本を作成し、啓発資材として活用した。
 - ⑧ イベントを活用したPR活動
 - ・3回実施
- (3) 特典つき寄付の実施(12月スタート)

【スポンサー登録実績】

202件

【スポンサーからの寄付実績】

寄付総額 36,034,331円（物品等金額換算分含む 前年比+3,280,933円）

- (4) 「子ども食堂つながりネットワークSHIGA」の発足
発足日 平成31年8月10日（金）（子ども食堂フェスタにて設立宣言）
加入数 95食堂
 - ①保険料助成の実施
 - ・4団体に実施
 - ②子ども食堂大交流会の開催
 - ・「子ども食堂つながりネットワークSHIGA」の活動をひろげるため、平成31年3月に「子ども食堂大交流会」を開催した。
 - ・参加者 約90名（スタッフ含む）
- 【目標達成度：立ち上げ・運営を支援する子ども食堂の数 115箇所／130箇所（目標値）】

3 「はぐくみ基金」を活用した事業の推進

- ・子どもを真ん中においた地域づくりを進めるため、「はぐくみ基金」を活用して社会福祉施設等における子どもの居場所づくりや児童養護施設退所後の居場所づくり等の事業を推進した。

(1) 児童養護施設等で暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり事業の推進

①ハローわくわく仕事体験事業の実施

ア. 協力事業所の開拓

- ・協力企業・事業所数：152企業・事業所（新規開拓27企業・事業所）

イ. 中高生の「ハローわくわく仕事体験」の実施

- ・合計：37企業・52人体験

ウ. 小学生の「工場・職場体験」の実施

- ・合計：22企業・34人体験

②就労体験に向けたキャリアアップセミナー、プロフェッショナルセミナーの開催

- ・合計5回開催

③ほっとスポットの開設・運営支援

④啓発活動

- ・「社会へはばたく子どもたちの自立応援ハンドブック」の増刷及び「ハローわくわくニュースレター」の発行

(2) 社会福祉施設等における子どもの居場所づくりの推進

①フリースペースの開設・運営支援

- ・10箇所へ助成

②フリースペース交流会の開催

- ・2回実施

③フリースペースガイドブックの発行

- ・平成31年3月発行 3000部

【5の柱】 組織基盤強化のための改革の推進

—自主的・持続的な法人経営を目指す組織の確立—

1 事務局体制の再編成と強化

(1) 経営計画と連動した人事管理制度の導入

- ・正規職員を対象に、経営計画と連動した人事管理制度を導入し、下半期において実施した。
- ・人事考課制度と連動した新たな給与・賞与制度を導入した。

2 人材育成の推進

- ・正規職員を対象に人事管理制度を導入・実施した。これにあたり、全職員を対象に、役員を講師とした学習会を開催するとともに、第二次経営計画の策定過程において、本会が求める職員像を提示し、意見交換をすることで理解を深めた。

【経営部門】

＜法人経営担当＞

1 第二次経営計画の策定

- ・部局横断的なプロジェクトチームを設置し策定作業を進め、11月の理事会・評議員会において中間報告を行い、3月の理事会・評議員会で承認・決議をされた。

2 経営基盤の強化

(1) 経営計画と連動した人事管理制度の導入（再掲）

- ・正規職員を対象に人事管理制度を導入し、下半期において実施した。

(2) 役員会等の開催

①会長・副会長会議の開催

開催日 平成30年8月28日（火）

会 場 センター

議 題 平成30年度本会会長表彰および感謝状授与候補者の審査について

②理事会、監事会、評議員会の開催

【理事会】

＜第1回＞ 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…平成30年5月2日（水）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 評議員の補充選任に伴う評議員選任・解任委員会に提出する候補者の選任について
 - (2) 評議員選任・解任委員会委員の推薦及び解任について

＜第2回＞ 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…平成30年5月16日（水）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 理事の補充選任にともなう、評議員会に提出する理事候補者の選任について（3名）

＜第3回＞

開催日 平成30年6月1日（金）

会 場 センター

議 題 (1) 平成29年度事業報告（案）について
(2) 平成29年度一般会計決算（案）について
(3) 平成29年度生活福祉資金会計決算（案）について
(4) 副会長の選定について
(5) 常務理事の選定について
(6) 平成30年度第2回（定時評議員会）の招集について
(7) 評議員選任・解任委員会運営細則の改正について

報 告 (1) 会長が専決した事項について（定款第25条第1項）

＜第4回＞ 決議の省略

- ・理事会の決議があったとみなされる日…平成30年6月5日（火）
- ・理事会の決議があったとみなされる事項の内容
 - (1) 評議員の補充選任に伴う評議員選任・解任委員会に提出する候補者の選任について

＜第5回＞

開催日 平成30年11月13日（火）

会 場 センター

議 題 (1) 平成30年度滋賀県社会福祉協議会第一次補正予算の承認について

- 協 議 報 告
- (2) 滋賀県社会福祉協議会定款変更について
 - (3) 滋賀県社会福祉協議会特別会員規程の制定について
 - (4) 平成30年度第3回評議員会の招集について
 - (1) 滋賀県社会福祉協議会第二次経営計画策定の進捗状況について
 - (1) 平成30年度上半期の事業の執行状況について
 - (2) 平成30年度上半期の資金収支状況について
 - (3) 定款第19条第5項に基づく会長、筆頭副会長、常務理事の職務執行状況について

<第6回>

- 開催日 平成31年3月15日（金）
- 会 場 センター
- 議 題
- (1) 平成30年度一般会計第二次収支補正予算（案）について
 - (2) 平成30年度生活福祉資金会計第二次収支補正予算（案）
 - (3) 定款施行細則の改正について
 - (4) 経理規程の改正について
 - (5) 第二次経営計画（案）について
 - (6) 平成31年度事業計画（案）について
 - (7) 平成31年度一般会計収支予算（案）について
 - (8) 平成31年度生活福祉資金会計収支予算（案）について
 - (9) 平成31年度資産運用計画（案）について
 - (10) 平成30年度第4回評議員会の開催について

【監事会】

<第1回>

- 開催日 平成30年5月22日（火）
- 会 場 センター
- 議 題
- (1) 事業報告等（理事の業務執行状況、法人の業務執行状況）の監査
 - (2) 計算関係書類及び財産目録の監査

<第2回>

- 開催日 平成30年11月5日（月）
- 会 場 センター
- 議 題
- (1) 平成30年度中間事業報告について
 - (2) 平成30年度中間決算について

【評議員会】

<第1回> 決議の省略

- ・評議員会の決議があったとみなされる日…平成30年5月23日（水）
- ・評議員会の決議があったとみなされる事項の内容
- (1) 理事の補充選任について（3名）

<第2回>

- 開催日 平成30年6月29日（金）
- 会 場 センター
- 議 題
- (1) 平成29年度 事業報告について
 - (2) 平成29年度 一般会計決算について
 - (3) 平成29年度 生活福祉資金会計決算について
 - (4) 役員等報酬規程の一部改正について

<第3回>

- 開催日 平成30年11月22日（木）
- 会 場 センター
- 議 題
- (1) 平成30年度滋賀県社会福祉協議会第一次補正予算の承認について
 - (2) 滋賀県社会福祉協議会定款変更について

- 協 議 (3) 滋賀県社会福祉協議会特別会員規程の制定について
報 告 (1) 滋賀県社会福祉協議会第二次経営計画策定の進捗状況について
(1) 平成30年度上半期の事業の執行状況について
(2) 平成30年度上半期の資金収支状況について

＜第4回＞

開催日 平成31年3月26日（火）

会 場 センター

- 議 題 (1) 平成30年度一般会計第二次収支補正予算（案）について
(2) 平成30年度生活福祉資金会計第二次収支補正予算（案）について
(3) 第二次経営計画（案）について
(4) 平成31年度事業計画（案）について
(5) 平成31年度一般会計収支予算（案）について
(6) 平成31年度生活福祉資金会計収支予算（案）について
報 告 (1) 平成30年度事業の執行状況について

③評議員選任・解任委員会の開催

＜第1回＞

開催日 平成30年5月9日（水）

会 場 センター

- 議 題 (1) 第34期評議員の補充選任について

＜第2回＞ 決議の省略

- ・評議員会の決議があったとみなされる日…平成30年5月23日（水）
- ・評議員会の決議があったとみなされる事項の内容
- (1) 第34期評議員の補充選任について

3 「ネクスト縁」に向けた基盤づくり（再掲）

- ・滋賀の縁創造実践センターの志と実践を継承するために、本会定款の改正を行った。（平成30年11月の理事会で承認を得て評議員会で決議。平成31年2月21日に認可。）
- ・定款に追加する事業を実施するため、「縁特別会員制度」を創設した。（平成30年11月理事会で承認を得て評議員会で決議。）

4 人材育成の推進（再掲）

- ・正規職員を対象に人事管理制度を導入・実施した。これにあたり、全職員を対象に、役員を講師とした学習会を開催し、本会が求める職員像を提示し、意見交換をすることで理解を深めた。

5 「ひたすらなるつながり」を目指した情報発信の強化

- (1) 広報誌 季刊「ひたすらなるつながり」創刊号の発行
 - ・発行日：平成31年1月1日…4,000部
- (2) ホームページのリニューアル
 - ・開設：平成31年3月

6 平成30年度 滋賀県社会福祉協議会会長表彰 表彰式の開催

開催日 平成30年11月1日（木）

会 場 クサツエストピアホテル

被表彰者

- ・民生委員児童委員功労者・・・・・・・・・・・・・・ 9名

- ・社会福祉事業功労者・・・・・・・・・・・・・・ 87 名
 - ・社会福祉協議会・・・・・・・・・・・・・・ 2 団体
 - ・ボランティア功労者・・・・・・・・・・・・・・ 1 名
 - ・ボランティアグループ・・・・・・・・・・・・・・ 11 団体
 - ・福祉活動推進校・・・・・・・・・・・・・・ 1 校
 - ・感謝（社会福祉協力者）・・・・・・・・・・・・ 8 団体
 - ・「滋賀の縁」認証ならびに奨励プレート・・・・ 6 団体
- （認証 3 団体・奨励 3 団体）

・なお、全国社会福祉協議会会長表彰には下記のとおり推薦を行った。

＜本会から推薦を行い受賞された内訳＞

民生委員児童委員功労者 5 名、社会福祉施設功労者 7 名、社協・団体功労者 8 名、
永年勤続功労者 15 名、社会福祉協議会優良活動 1 社協

7 社会福祉事業・社会福祉を目的とする事業への支援

（1）第 9 回滋賀県老人福祉施設協議会研究協議大会の開催（滋賀県老人福祉施設協議会との共催）

開催日 平成30年11月8日（木）

会 場 センター

参加者 午前207名 午後241名

内 容 午前：自由研究発表

午後：記念講演「介護を取り巻くこれからの10年

～職業人としても、これからの100年人生を生き抜くには～」

びわこ学院大学 教授 烏野 猛

（2）各種助成を通じた事業・活動支援

- ・本会が設置する基金による助成事業の実施、他団体の助成事業に関する情報提供やと助成相談により、社会福祉事業や公益的な事業を支援した。

①滋賀県民間社会福祉施設整備運営資金の運営

＜審査会（委員会）＞

開催日 平成 30 年 6 月 4 日（月）

会 場 センター

貸付数 2 件（合計 20,000,000 円）

②民間福祉団体等が行う地域福祉活動振興基金（内藤基金）の助成

＜助成審査会＞

開催日 平成 30 年 6 月 20 日（水）

会 場 センター

申請数 7 件

採択数 3 件（合計 1,684,000 円）

団体名	事業内容	助成金額
滋賀短期大学幼児教育保育学科	地域基盤型/指向性保育士養成カリキュラムの検討と実践に関する研究	850,000 円
大津市立日吉中学校	ふれあい給食実施委員会と美術部、書道部が協働し、ふれあい弁当を作成する取組み	263,000 円
米原市立米原中学校生徒会	ラヴプロジェクト 相馬市立中村第一中学校及び希望の牧場との絆	571,000 円

③他助成団体が実施する助成事業への協力

- ア. ダイトロン福祉財団障害者福祉助成審査への協力
 - ・助成総額：3,669,000円
- イ. 滋賀県遊技業協同組合福祉車両助成推薦への協力
 - ・助成台数：3台
- ウ. オージス総研から「はじまるくんパソコン」寄贈への協力
 - ・寄贈台数：6台
- エ. 大阪ガスグループ福祉財団「高齢者福祉助成」への協力
- オ. 24時間テレビ『福祉車両贈呈』への推薦協力
 - ・寄贈台数：3台
- カ. 滋賀トヨタ自動車株式会社・ネットヨタ滋賀株式会社「福祉巡回車輛贈呈」への推薦協力
 - ・寄贈台数：2台
- キ. 「しがぎん福祉基金」の助成の取りまとめと審査協力
 - ・平成30年度事業助成分10件（6,945,000円）
- ク. 財団法人河本文教福祉振興会助成事業への推薦協力
 - （物品助成）滋賀県児童成人福祉施設協議会会員施設
 - （車両助成）滋賀県老人福祉施設協議会（3台）
 - 滋賀県児童成人福祉施設協議会（3台）
 - 滋賀県社会福祉法人経営者協議会（3台）
 - 滋賀県（障害福祉課）（1台）
 - 総数10台

8 福祉関係者との連携と協働

(1) 社会福祉施設等関係団体との協働

- ・次の社会福祉施設団体の事務局として各団体の運営に協力するとともに、事業が円滑に実施されるよう支援した。

- ①滋賀県老人福祉施設協議会
- ②滋賀県児童成人福祉施設協議会
- ③滋賀県社会福祉法人経営者協議会

(2) 滋賀県社会福祉関係団体予算対策協議会による提言活動の実施

- ・市町社会福祉協議会、施設協議会、関係福祉団体など関係者とともに喫緊の福祉課題について認識を共有し、予算要望及び提案を協働で行った。

①委員会の開催

<第1回>

開催日 平成30年6月8日（金）

会場 センター

内容 (1) 平成30年度の進め方について

(2) 自由民主党滋賀県議会議員団への要望について

(3) 要望書の提出について

②「平成30年度に向けた社会福祉施策・予算等要望書」の提出及び意見交換会への出席

<滋賀県健康医療福祉部長への要望>

開催日 平成30年9月6日(木)
 会 場 滋賀県庁北新館会議室
 <自由民主党滋賀県議会議員団への要望>
 開催日 平成30年7月6日(金)
 会 場 滋賀県庁2階 議員室
 <滋賀県議会 チームしが 県議団への要望>
 開催日 平成30年11月26日(月)
 会 場 滋賀県庁2階 第5委員会室

9 災害時等にも迅速かつ的確に機能する体制の維持

(1) 近畿ブロック府県社協との連絡調整

- ・平成30年7月豪雨において、全社協からの要請を受けて、近畿ブロック府県・指定都市社協とともに岡山県倉敷市等の支援活動のための職員を派遣した。

期間：平成30年7月20日(金)～10月21日(日)

人数：延べ68名

10 県立長寿福祉センターの適切な管理運営

- ・当センターを誰もが利用しやすい施設となるよう努め、適切な管理に努めた。また、設置者である滋賀県とともに施設設備の経年使用に伴う劣化や老朽化に計画的に対処した。

(1) 特定施設の利用実績

施設を、下表のとおり約86,000名の方に利用いただいた。

<特定施設の利用件数、利用者数の本年度累計>

室名	大教室	体育室	焼成室	陶芸室	第1教室	調理室	第2教室
件数(件)	167	196	181	189	215	71	155
人数(名)	28,598	4,894	4,797	4,977	5,169	1,576	3,243
室名	会議室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	合計	
件数(件)	227	278	222	190	203	2,294	
人数(名)	3,294	18,932	3,190	3,221	4,079	85,970	

(2) 特定施設の稼働実績

対前年度比で0.8ポイント稼働率が向上し、施設の有効活用の目標61.1%を3.8ポイント上回る64.9%となった。

<特定施設の本年度稼働率>

室名	大教室	体育室	焼成室	陶芸室	第1教室	調理室	第2教室
稼働率	56.0%	67.6%	63.1%	65.9%	74.4%	25.2%	54.0%
室名	会議室	第1研修室	第2研修室	第3研修室	第4研修室	合計	
稼働率	77.0%	88.8%	73.0%	63.9%	68.2%	64.9%	

(3) 貸室ポータルサイトの運営

貸室を利用したい、貸室の概要を知りたいといった方々にむけて、貸室の予約空き状況など利用いただくために必要となる情報や関連する情報を、誰もがいつでも手軽かつ簡単に閲覧いただけるようポータルサイトを運用し、誰にも便利で親しみやすいセンターであるよう努めた。

閲覧数 延べ 213,102 件 平成 31 年 3 月末日現在

(4) センター施設設備の保全と維持管理

センターが適切に機能するよう、その適正な保全と維持管理に努めた。

- ①AED 用除細動パッド更新
- ②敷地内除草作業
- ③本館棟非常灯バッテリー交換
- ④煙感知器交換
- ⑤本館棟昇降機設備マグネットコンタクト交換修理
- ⑥台風 21 号に伴う中庭部傾倒木の伐採、及び強剪定
- ⑦敷地内支障木伐採
- ⑧照明器具交換修理
- ⑨敷地内グラウンド不陸補正
- ⑩清掃業務の委託実施
- ⑪建築保全業務の一部委託実施
- ⑫一般廃棄物および産業廃棄物の適法で適切な処分の実施 など

(5) 消防訓練の実施

緊急事態発生時の在館者等の安全確保並びに財産の保全と被害軽減のため、消防訓練を実施した。

実施日：平成 31 年 2 月 19 日（火）

<資金貸付・債権管理担当>

1 生活福祉資金貸付事業を通じた生活困窮者支援活動の実施

- ・市町社協、民生委員児童委員、市町行政、生活困窮者自立支援法による相談支援関係団体等との連携を図り、貸付を通じた支援を行った。

(1) 生活福祉資金等の貸付による支援の実施

- ①滋賀県貸付審査等運営委員会の開催：年間 11 回開催（毎月定例、1 月は休会）
- ②生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金の周知、制度利用の促進
 - ・生活福祉資金啓発パンフレットの配布
- ③生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金の貸付
 - ・総合支援資金、福祉資金（福祉費、緊急小口資金）、教育支援資金、不動産担保型生活資金の貸付

別表 1 生活福祉資金等貸付決定状況

(2) 生活福祉資金等の償還促進を通じた支援の実施

- ①生活福祉資金、臨時特例つなぎ資金の債権管理の実施
 - 別表 2・3「生活福祉資金等 貸付中件数・金額」
 - 別表 4「生活福祉資金等 貸付支出に対する償還の割合」
- ②長期滞納者の督促等による債権管理の強化
 - ・借受世帯の状況把握と対応（住所・氏名等の変更、債務整理等）
 - ・長期滞納者への督促

平成 30 年 5 月…2,237 通 平成 30 年 11 月…2,268 通
- ③借受世帯の状況把握及び個別相談支援
 - ・借受世帯への個別対応・支援を行うため、市町社協と連携し、面談や電話相談等を通して、借受世帯の状況を把握し個別の対応や支援を行った。

④行方不明者の居住地調査の実施

対象	新住所判明	異動なし	死亡	行方不明
506 人	397 人	70 人	19 人	20 人
100 %	78 %	14 %	4 %	4 %

(3) 社会的孤立・生活困窮から住民を守るための支援をすすめる専門的人材の育成および関係機関・団体との連携

- ①市町社協向け生活福祉資金貸付事業マニュアル（2018年度版）の作成
- ②生活福祉資金実務研修会の開催

開催日 平成 30 年 6 月 22 日（金）

会 場 センター

内 容 生活福祉資金の動向と課題について
生活福祉資金の制度概要と留意事項について
償還・債権管理について
相談対応の実技

参加者 16 人

- ③生活福祉資金貸付事業研究協議会の開催（生活困窮者自立支援事業研修会との合同実施）
ア．生活困窮者自立支援事業と生活福祉資金貸付事業との連携にかかる研修会

＜1回目＞

開催日 平成31年1月11日（金）

会 場 センター

参加者 18名

＜2回目＞

開催日 平成31年1月18日（金）

会 場 米原地域福祉活動センター ゆめホール

参加者 14名

内 容

（制度説明）「生活再建を目指した生活福祉資金の活用について」

滋賀県社会福祉協議会 資金貸付・債権管理担当課長 熊越 久仁子

（事例研究）

龍谷大学社会学部・短期大学部 非常勤講師 近藤 真由子

- イ．生活困窮者自立支援事業家計改善研修会

開催日 平成31年1月31日（木）

会 場 センター

内 容

（説明）「改正生活困窮者自立支援法について」

滋賀県健康医療福祉部健康福祉政策課 副主幹 関 宜幸

（講義と演習）

野洲市市民部 市民生活相談課 課長 生水 裕美

参加者 26名

- ④関係機関・団体との連携

- ・圏域の生活困窮者自立支援調整会議において、個別ケースの支援調整等を行った。
- ・全社協・生活福祉資金貸付事業運営委員会への参画
- 近畿ブロック代表…本会事務局長

2 児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の実施

- ・児童養護施設や自立支援ホーム等を退所し就職や進学する者が、安定した生活基盤を築き、円滑な自立を図ることを目的として貸付事業を実施した。

（1）児童養護施設退所者等自立支援貸付事業の状況

- ・生活支援費・・・・・・・・ 5件（7,400,000円）
- ・家賃支援費・・・・・・・・ 5件（2,972,500円）
- ・資格取得支援費・・・・・・ 2件（500,000円）
- 合計・・・・・・・・・・・・ 12件（10,872,500円）

（2）児童養護施設退所者等自立支援資金貸付事業の広報

- ・児童養護施設や自立支援ホーム等に在籍する子どもたちおよび職員に対し制度の周知・説明を行った。

①説明会回数（児童養護施設等・里親）

- ア．支援者向け（職員・里親）

- ・説明会回数：15回
- ・参加者数：270人

イ. 児童向け（施設入所児童・里親児童）

- ・説明会回数：8回
- ・参加者数：56人

3 保育士修学資金等貸付事業の実施

・滋賀県内において、保育士の充足に資することを目的に、将来保育士として児童の保護等の業務に従事しようとする者に修学資金、潜在保育士には保育料の一部貸付・就職準備金貸付、保育施設等には保育補助者雇上費貸付を実施した。

(1) 保育士修学資金等貸付事業の状況

[保育士修学資金]

①就労による返還猶予者数：418人（平成25年度～）

②貸付継続者数：315人（平成25年度～）

③返還者数：127人（平成25年度～）

<平成30年度貸付>

①申請件数：133件

②決定件数：132件（206,446,000円）（うち契約前辞退：4件）

③契約件数：128件（198,166,400円）

[養成校別 内訳]

	養成校名	人数
2年課程	滋賀短期大学	44人
	滋賀文教短期大学	7人
	京都文教短期大学	9人
	龍谷大学短期大学部	1人
	大谷大学短期大学部	3人
	平安女学院大学短期大学部	4人
	大阪保育福祉専門学校	1人
	華頂短期大学	13人
	京都保育福祉専門学校	3人
	池坊短期大学	3人
	びわこ学院大学短期大学	9人
	名古屋短期大学	1人
	大阪教育福祉専門学校（昼2年制）	1人
3年課程	豊岡短期大学	1人
	大垣女子短期大学	2人
	大阪教育福祉専門学校（夜3年制）	1人
4年課程	びわこ学院大学	5人
	京都橘大学	7人
	平安女学院大学	1人
	佛教大学	1人
	京都文教大学	2人
	花園大学	2人
	京都ノートルダム女子大学	1人

	京都光華女子大学	1 人
	滋賀大学	1 人
	大谷大学	3 人
	京都華頂大学	1 人
合計		128 人

[保育料の一部]

<平成 30 年度貸付>

①申請件数：72 件

②決定件数：72 件（計 17,501,500 円）

[就職準備金]

<平成 30 年度貸付>

①申請件数：46 件

②決定件数：46 件（計 18,150,000 円）

[保育補助者の雇上]

<平成 30 年度貸付>

①申請件数：2 件

②決定件数：2 件（計 8,332,700 円）

（2）保育士修学資金等貸付事業の広報

・将来保育士を目指す学生や、潜在保育士に対し制度の周知・説明を行った。

①県内高等学校：65 校（高校生向けチラシ配布）

②県内保育所等：514 施設（潜在保育士向けチラシ配布）

③県立高等学校：校長会での制度説明（1 回・参加者 85 人）

④保育士養成校へ訪問・制度説明：県内養成校 3 校

⑤ホームページ作成

別表1

生活福祉資金等貸付決定状況

(単位:円)

	平成30年度					
	借入申込		貸付決定		決定率	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
総合支援資金	6	2,025,000	4	900,000	66.7%	44.4%
生活支援資金	4	1,710,000	3	810,000	75.0%	47.4%
住宅入居費	0	0	0	0	—	—
一時生活再建費	2	315,000	1	90,000	50.0%	28.6%
福祉資金	97	50,500,168	95	44,874,948	97.9%	88.9%
生業	1	3,178,000	0	0	0.0%	0.0%
技能習得	4	4,516,000	4	4,516,000	100.0%	100.0%
住宅増改築	10	11,081,000	9	8,881,000	90.0%	80.1%
障害者等福祉用具購入	0	0	0	0	—	—
障害者自動車購入	9	17,441,000	9	17,334,000	100.0%	99.4%
中国残留邦人等国民年金追納	0	0	0	0	—	—
療養	4	2,952,000	4	2,952,000	100.0%	100.0%
介護・障害サービス	2	478,000	2	478,000	100.0%	100.0%
災害	3	2,550,000	3	2,550,000	100.0%	100.0%
冠婚葬祭	1	253,740	1	253,000	100.0%	99.7%
転宅、給排水	16	3,969,240	16	3,898,000	100.0%	98.2%
支度	0	0	0	0	—	—
その他	47	4,081,188	47	4,012,948	100.0%	98.3%
生活復興支援資金	0	0	0	0	—	—
緊急小口資金	86	7,901,000	86	7,837,000	100.0%	99.2%
緊急小口資金(災害特例)	0	0	0	0	—	—
教育支援資金	250	233,743,284	246	227,686,200	98.4%	97.4%
教育支援費	118	187,031,600	116	182,568,200	98.3%	97.6%
就学支度費	125	35,254,684	123	33,916,000	98.4%	96.2%
授業料滞納特例	1	630,000	1	630,000	100.0%	100.0%
教育拡充(教育支援費)	3	9,744,000	3	9,744,000	100.0%	100.0%
教育拡充(就学支度費)	3	1,083,000	3	828,000	100.0%	76.5%
小計	439	294,169,452	431	281,298,148	98.2%	95.6%
不動産担保型生活資金	3	13,835,500	3	13,835,500	—	—
一般向け	0	0	0	0	—	—
要保護世帯向け	3	13,835,500	3	13,835,500	—	—
合計	442	308,004,952	434	295,133,648		
※ 不動産担保型生活資金の金額は、不動産評価に対する貸付限度額						
臨時特例つなぎ資金	0	0	0	0	—	—

別表2

生活福祉資金等貸付中件数・金額

資金種類	平成 31 年3月 31 日現在		平成 30 年3月 31 日現在	
	貸付中件数 (件)	貸付中金額 (円)	貸付中件数 (件)	貸付中金額 (円)
総合支援資金	1,673	1,203,333,029	1,705	1,255,477,707
福祉資金	463	237,772,907	447	234,067,330
緊急小口資金	955	69,807,550	965	71,053,020
生活復興支援資金	9	3,751,716	9	3,844,116
教育支援資金	2,213	1,432,823,227	2,039	1,302,743,306
更生資金	52	34,943,042	53	36,390,177
障害者更生資金	12	23,169,902	13	23,427,832
生活資金	12	4,133,847	14	4,509,617
住宅資金	29	22,849,809	30	24,106,905
療養・介護等資金	39	18,912,832	40	19,495,322
災害援護資金	1	1,392,900	1	1,392,900
離職者支援資金	109	141,055,780	114	146,535,538
小計	5,567	3,193,946,541	5,430	3,123,043,770
不動産担保型生活資金	5	51,736,082	5	50,656,082
要保護不動産担保型生活資金	14	44,413,900	11	38,815,900
小計	19	96,149,982	16	89,471,982
生活福祉資金合計	5,586	3,290,096,523	5,446	3,212,515,752

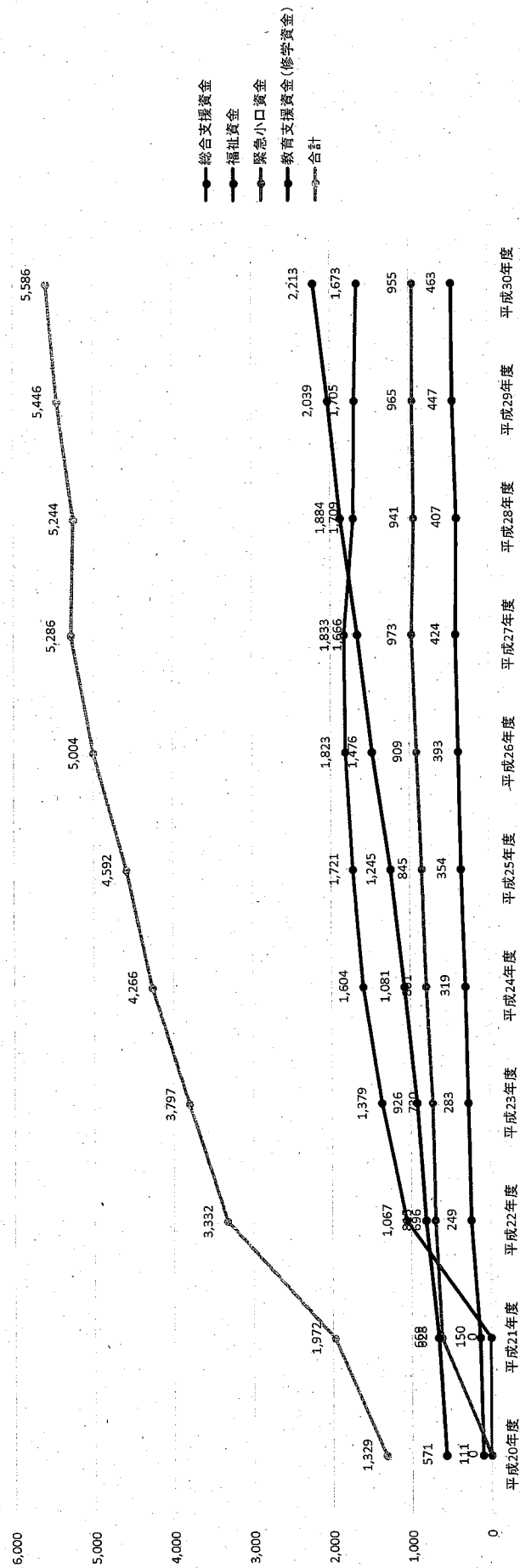
臨時特例つなぎ資金	38	3,019,690	38	3,019,690
-----------	----	-----------	----	-----------

別表3

生活福祉資金 資金種類別貸付状況(平成20年度～平成30年度)

資金	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
総合支援資金	0	0	1,067	1,379	1,604	1,721	1,823	1,833	1,709	1,705	1,673
福祉資金	111	150	249	283	319	354	393	424	407	447	463
緊急小口資金	0	628	696	730	801	845	909	973	941	965	955
生活復興支援資金	0	0	0	7	9	9	9	9	9	9	9
教育支援資金(修学資金)	571	669	815	926	1,081	1,245	1,476	1,666	1,884	2,039	2,213
更生資金	186	118	115	108	108	106	104	101	56	53	52
障害者更生資金	45	37	35	31	28	24	21	20	14	13	12
生活資金	31	25	24	22	22	21	19	19	14	14	12
住宅資金	140	94	84	80	74	59	53	52	33	30	29
療養・介護等資金	84	73	65	61	59	55	50	47	41	40	39
災害援護資金	2	2	2	2	2	2	2	1	1	1	1
離職者支援資金	150	176	170	157	147	139	132	128	119	114	109
不動産担保型生活資金	6	0	6	6	6	6	6	5	5	5	5
要保護世帯向け不動産担保型生活資金	3	0	4	5	6	6	7	8	11	11	14
合計	1,329	1,972	3,332	3,797	4,266	4,592	5,004	5,286	5,244	5,446	5,586

貸付件数



別表4

生活福祉資金の貸付支出に対する償還の割合(不動産担保型生活資金を除く)

平成31年3月末日現在

(単位:円)

資金種類	貸付金支出累計 (A)	償還金収入累計 (B)	B/A
総合支援資金	1,672,581,373	345,276,285	20.64%
福祉資金	1,008,534,833	748,978,458	74.26%
緊急小口資金	190,935,000	114,738,476	60.09%
生活復興支援資金	4,559,886	808,170	17.72%
教育支援資金	2,424,398,683	980,729,145	40.45%
更生資金	980,305,078	847,404,160	86.44%
(障害者)更生資金	1,116,559,711	1,062,675,478	95.17%
生活資金	59,457,271	50,544,164	85.01%
福祉資金(住宅)	1,853,637,265	1,790,771,441	96.61%
療養・介護等資金	129,056,013	108,009,404	83.69%
災害援護資金	35,243,918	31,809,413	90.26%
離職者支援資金	309,974,000	162,856,010	52.54%
合 計	9,785,243,031	6,244,600,604	63.82%

臨時特例つなぎ資金の貸付支出に対する償還の割合 (単位:円)

平成31年3月末日現在

(単位:円)

資金種類	貸付金支出累計 (A)	償還金収入累計 (B)	B/A
臨時特例つなぎ資金	8,362,000	5,342,310	63.89%

【事業部門】

＜地域福祉担当＞

1 滋賀の縁創造実践センターとの協働によるニーズ志向・課題解決型の地域福祉の実践

- (1) 「滋賀の“縁”」認証事業（県・滋賀の縁創造実践センター・県社協の三者による共同事業）
・「滋賀の“縁”」認証にふさわしい実践を発掘すべく局内に縁認証プロジェクトチームを
設けて11団体に取材を行い県との共同により8団体を推薦した。

①プロジェクトチーム会議の開催

平成30年5月8日（火）・5月21日（月）・6月7日（木）

②縁認証委員会の開催

開催日 平成30年9月11日（火）

会 場 滋賀県健康医療福祉部長室

内 容 「滋賀の“縁”」認証の審議

結 果 認証3団体、奨励3団体

＜認証団体…3団体＞

- ・SHIPS 多文化共生支援センター

（国籍の壁をなくし互いの違いを認め合う「多文化共生」の社会づくり）

- ・社会福祉法人 ひだまり

（「その人らしい暮らし」を地域住民とともに支える福祉実践）

- ・認定特定非営利活動法人 NPO ぽぽハウス

（市民活動をベースにしたニーズ志向の福祉実践）

＜奨励団体…3団体＞

- ・長野むらづくり委員会 なごみの郷

（あったかほーむを拠点とした多世代の居場所づくり）

- ・特定非営利活動法人 こどもソーシャルワークセンター

（子どものジョブキャッチ）

- ・認定特定非営利活動法人 ひこね育ちのネットワーク・ラポール

（子育てをしている人の安心を応援する活動）

③「滋賀の“縁”」認証・奨励プレートの贈呈（滋賀県社会福祉協議会会長表彰表彰式）

開催日 平成30年11月1日（木）

会 場 クサツエストピアホテル

④「滋賀の“縁”」認証事業懇談会の開催

開催日 平成30年11月30日（金）

会 場 滋賀県公館

⑤「ひたすらなるつながり事例集」の発行

- ・認証された3団体の実践を「ひたすらなるつながり事例集」としてまとめ、関係団体等に配布した。

発行部数：500部

(2) 児童養護施設等で暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり事業の推進

①委員会の開催

- ア. 「要養護児童の自立支援」小委員会の開催（5回開催）

＜開催日＞

平成30年4月16日（月）、6月11日（月）、8月27日（月）、11月26日（月）、

平成31年2月18日（月）

イ.「要養護児童の自立支援」推進委員会の開催（7回開催）

＜開催日＞

平成30年4月18日（水）、5月28日（月）、7月17日（火）、10月1日（月）、
11月22日（木）、平成31年1月17日（木）、3月6日（水）

②ハローわくわく仕事体験事業の実施

ア. 協力事業所の開拓

・協力企業・事業所数：151企業・事業所（新規開拓27企業・事業所）

イ. 中高生の「ハローわくわく仕事体験」の実施

・春休み：12企業・延べ15人　・夏休み：16企業・延べ23人

・冬休み：10企業・延べ14人

合計：38企業・52人

ウ. 小学生の「工場・職場体験」の実施

・春休み：4企業・延べ10人　・夏休み：9企業・延べ17人

・冬休み：6企業・延べ7人

合計：19企業・34人

エ. 就労体験に向けたキャリアアップセミナーの開催

＜第1回＞（中高生向け）

開催日 平成30年9月9日（日）

会 場 ウイングプラザ栗東

内 容 ≪すきなもののビンゴ&お仕事マップ≫

～夢！自分！発見！！ 自分を知り、社会を知り、自立する～

講師：NPO法人 くさつ未来プロジェクト 堀江 尚子

他ナビゲーター13名

参加者：25人

＜第2回＞（小中学生向け）

開催日 平成30年12月2日（日）

会 場 大津市勤労福祉センター

内 容 ≪真剣☆発見☆マイキャリア≫

～自分の興味や得意なことを知ろう～ “タワー建設ゲーム”に挑戦！！

講師：NPO法人 ブリッジフォースマイル 網谷 勇気

他サポーター4名

参加者：30人

オ. 就労体験に向けたプロフェッショナルセミナーの開催

＜第1回＞

開催日 平成30年6月3日（日）

会 場 ビバシティ彦根

内 容 プロの仕事や生き方をのぞいてみよう

～事業所のプレゼンテーションとブースに分かれての懇談
（話し手）

松尾バルブ工業（株）

（有）アップU彦根

（株）小杉自工

宮川バネ工業（株）

（株）エフアイ

〃

ビーチック日夏店

〃

専務取締役

代表取締役

課長

専務取締役

総務

三方よしコーチ

代表取締役

トータルマネージャー

松尾 直樹

上西 信昭

奥井 孝志

宮川 絵理子

杉本 有紀

田中 明音

村田 将光

小西 永子

〃		
(株) びわ湖タイル	代表取締役	松永 直
(株) 六匠	取締役	中野 光一
油藤商事 (株)	専務取締役	松川 恵
(株) ケレスたなか	代表取締役	青山 裕史
(福) 公悠会 しらやま保育園	園長	田中 和彦
〃	保育士	杉山 佐登美
		藤井 綾乃

参加者 中高生39名
 <第2回>
 開催日 平成30年11月11日 (日)
 会場 大津市生涯学習センター
 内容 プロの仕事や生き方をのぞいてみよう
 ～事業所のプレゼンテーションとブースに分かれての懇談
 (話し手)

(株) 大槻シール印刷		大槻 美佐子
〃	印刷オペレーター	菊池 麗紋
滋賀双葉ビル整備 (株)	代表取締役	増田 雄一
放課後等ディサービスるびなす	代表理事	佐倉 政治
磁気整体院元張屋	代表	外川 光延
〃	主任	辻 泰代
くさつ優愛保育園モンチ	園長	樋口 弘子
(有) カーテックウカイ	代表取締役	鵜飼 龍馬
〃		小笠原 忠智
滋賀県立琵琶湖博物館	主任学芸員	中村久美子
特別養護老人ホームゆいの里	園長	本條 由美
〃	ケアワーカー	原田 貴司
(株) カロカ急配	代表取締役社長	平川 千波
東洋産業 (株)	専務取締役	鈴木 健
(株) ワークプランファクトリー	代表取締役	西川 恵美
〃	役員	藤野 新二
(有) アップU彦根	代表取締役	上西 信昭

参加者 中高生26名
 <第3回>
 開催日 平成31年1月27日 (日)
 会場 センター
 内容 プロの仕事や生き方をのぞいてみよう
 ～事業所のプレゼンテーションとブースに分かれての懇談
 (話し手)

松尾バルブ工業 (株)	専務取締役	松尾 直樹
永興藤尾こども園	園長	伊藤 洋子
〃	副園長	益子 眞一朗
(株) オレゴンローズ	代表	吉田 勝彦
(株) 木の家専門店 谷口工務店	経営管理部	清水 寿子
〃		入江 真己
(有) 山脇バネ製作所	代表取締役	山脇 寿
カズテック (株) 滋賀製造部	製造部長	藤野 伸幸
公立甲賀病院	看護師・副看護部長	井原 憲子

コーヒーハウスCODA
特別養護老人ホームカーサ月の輪
(有) アップU彦根

〃

〃

宮川バネ工業(株)

店主
施設長
代表取締役
アドバイザー

専務取締役

尾中	幸恵
日比	晴久
上西	信昭
永井	路子
鈴木	カナエ
宮川	絵理子

参加者 中高生19名

③ほっとスポットの開設・運営支援

ア. 運営支援

＜ほっとスポットこばと＞

- ・開始時期 29年9月
- ・実施主体 社会福祉法人小鳩会

＜ほっとスポット四つ葉カフェ＞

- ・開始時期 29年9月
- ・実施主体 認定特定非営利活動法人四つ葉のクローバー

イ. ほっとスポット周知イベントの開催

＜開催日＞

- ・ほっとスポットこばと
平成30年8月12日(日)・平成30年8月13日(月)・平成31年2月11日(月)
- ・ほっとスポット四つ葉カフェ
平成30年8月19日(日)・平成31年2月24日(日)

④児童養護施設等退所者等自立支援貸付事業・びそらまめガイド・ほっとスポット説明会の開催(資金担当再掲・詳細)

ア. 職員向け

＜開催日＞

- 守山学園：平成30年8月28日(火)／さざなみ学園：平成30年9月6日(木)
- 小鳩の家：平成30年9月14日(金)／湘南学園：平成30年9月27日(木)
- 鹿深の家：平成30年10月5日(金)
- ファミリーホーム専門部会：平成30年11月14日(水)
- 合計：6回

イ. 高校生向け

＜開催日＞

- さざなみ学園(男子)：平成30年11月19日(月)
- さざなみ学園(女子)：平成30年11月26日(月)
- ファミリーホームだんらん：平成30年12月4日(火)
- 愛東コミュニティセンター：平成30年12月10日(月)
- 湘南学園：平成30年12月12日(水)／小鳩の家：平成31年1月4日(金)
- 鹿深の家：平成31年1月5日(土)／鹿深の家：平成31年1月8日(火)
- 守山学園：平成31年3月11日(月)
- 合計：9回

⑤啓発活動

ア. 社会へはばたく子どもたちの自立応援ハンドブックの増刷

- ・5月発行：1,000部

イ. ハローわくわくニュースレターの発行

- ・Vol. 2…平成30年6月発行：約150部
- ・Vol. 3…平成30年11月発行：約150部
- ・Vol. 4…平成31年3月発行：約150部

(3)「ひきこもり者と家族に学ぶ公私協働による地域づくり」事業の実施

- ・滋賀県からの委託事業として、社会福祉法人さわらび福祉会と共働して、制度にとらわれないひきこもりの人と家族の相談支援の仕組みづくりに取り組んだ。

①甲賀・湖南ひきこもり支援「奏一かなでー」との共働

- ・ひきこもりの人と家族に学ぶ地域づくりを目標に、さわらび福祉会が中核となり、民生委員児童委員協議会、市役所、市社協、保健所とさわらび福祉会（事務局）による「奏一かなでー」運営会議で方向性を共有しながら以下の活動を継続的に実施した。

ア. 個別支援の実施

- ・訪問や面接等の継続したひきこもり者と家族の個別支援を実施した。また、関係機関との多職種連携をすることで、ひきこもり者と家族を多角的に支える個別相談支援を実施した。

イ. 交流事業及び「その人らしく」いられる場づくり

- ・当事者家族同士の出会いの場や、地域のなかで当事者の強みを活かせる場づくりに取り組んだ。

ウ. ネットワークづくり

- ・医療・保健・障害、福祉の関係機関による分野・所属を越えた共働をすすめながら県内で同様の取り組みをすすめている団体とのネットワークづくりと強化を行った。

<内容>

「奏一かなでー」運営会議(4回)

アウトリーチ・奏サロン部会(8回)

家族支援部会(4回)

地域啓発・交流部会(4回)

エ. 啓発講演会等の開催

- ・ひきこもり者や家族の学びや回復の後押しとなるような人づくり、地域づくりにむけた実践報告会を開催した。

開催日 平成31年1月26日(土)

会 場 甲南情報交流センター(忍の里プラザ)

内 容 実践報告「ひきこもりについて」「奏一かなでー」の取り組みについて
社会福祉法人さわらび福祉会 「奏一かなでー」

主任相談員 北出 篤嗣

講演「私のなかの普通という名の壁」

登壇者 社会福祉法人さわらび福祉会 常務理事 金子 秀明

シンポジウム『「そのままでもいい」と言える地域をめざして」

(登壇者)

株式会社農楽 代表取締役

西村 俊昭

社会福祉法人さわらび福祉会 「奏一かなでー」

主任相談員 北出 篤嗣

事務局長 山崎 秀樹

オ. 冊子の作成

- ・家族向けパンフレットを作成したほか、平成29年の本事業において作成した「ひきこもり者と家族に学ぶ事例集」を増刷し、支援者への啓発に活用した。

②高島社会福祉協議会「つながり応援センターよろず」

- ・高島市社会福祉協議会が中核となり、つながり応援センターよろず「つながり応援支援者ネットワーク会議」の中で、ひきこもり者とその家族を支援するために多職種の連携を深め、仕組みづくりを進めていくため、以下の活動を継続的に実施した。

ア. 個別支援の実施

- ・訪問支援を軸に、電話やメール相談に応じ、ケースの掘り起こし、アウトリーチを行った。また、支援関係機関による支援情報の共有と分析を行い、個別問題の地域課題

化を図った。

イ. ネットワークづくり

- ・ひきこもり支援に関わる関係機関と連携し、課題意識を共有し、必要な取り組みの方向性について意見交換を行い、入り口から出口まで連携した支援を実施するためのネットワークづくりを行った。

<内容>

- ・つながり応援支援者ネットワーク会議（2回）

（第1回）

社会福祉法人さわらび福祉会「奏-かなで-」の山崎事務局長と北出主任相談員、市内の中学校校長が出席し、意見交換を行った。

（第2回）

NP0法人全国ひきこもり家族会連合会理事の山本洋見氏の実践報告と関係機関合同の学習会を開催した。

③長浜市におけるひきこもり支援のしくみづくり

- ・支援者連絡会、支援者研修・学習会を開催し、情報交換、学びを通して、ひきこもり支援者同士の連携・協働の一步となる、ゆるやかなつながりの構築を図った。

ア. 交流の場の提供

開催日 平成31年3月2日（土）

会 場 びわ高齢者福祉センター

内 容 第1部：不登校・ひきこもりがちな方と歩む研修会
「子どもの生きる力を育むソーシャルスキルトレーニング」

講師 株式会社アットスクール代表取締役 鈴木 正樹

第2部：家族交流会

※第1部、2部と同時に当事者の居場所（えんかふえ）も実施。

イ. ネットワークづくり（支援者研修・交流会の実施）

<第1回>

開催日 平成30年12月11日（火）

会 場 長浜市南郷里まちづくりセンター

内 容 社会福祉法人さわらび福祉会「奏-かなで-」と協働のもと、支援者による情報交換、ひきこもり支援にかかる現状と課題を関係機関と共有した。

<第2回>

開催日 平成31年3月7日（木）

場 所 長浜市南郷里まちづくりセンター

内 容 （話題提供）

「甲賀・湖南ひきこもり支援「奏-かなで-」の取組等紹介」

社会福祉法人さわらび福祉会 常務理事 金子 秀明

「奏-かなで-」主任相談員 北出 篤嗣

事務局長 山崎 秀樹

（グループワーク）

- ・長浜市内のひきこもり支援をしている専門職等（社協、保健師、地域包括支援センター職員、NP0、施設、市の福祉課）が、ひきこもり支援の現状と課題、関係機関それぞれの役割について意見交換を行った。

参加者 21名

（4）県社協での^{はたらく}傍聴体験の実施

年12回実施・47人参加

（連携相談機関・団体）

滋賀県地域若者サポートステーション、大津市社会福祉協議会、ReLife

2 「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」の推進

(1) 遊べる・学べる淡海子ども食堂の推進

①子ども食堂の開設・運営支援

- ・子ども食堂の立ち上げにかかる経費の助成を行った。

開設数 115食堂（継続95堂、新規20食堂）

助成数 新規開設助成：19箇所（3,800,000円）

継続助成：78箇所（2年目：31箇所・3年目47箇所）（7,800,000円）

合計：11,700,000円

②子ども食堂開設準備講座「知りたい！はじめて！子ども食堂講座」の開催

<湖東・東近江会場>

開催日 平成30年7月17日（火）

会場 ビバシティ彦根

参加者 38名

<高島・大津会場>

開催日 8月2日（木）

会場 高島市新旭総合福祉センター「やすらぎ荘」

参加者 19名

<甲賀会場>

開催日 平成30年8月29日（水）

会場 みくも地域人権福祉市民交流センター

参加者 45名

<湖北会場>

開催日 平成30年10月25日（木）

会場 セミナー&カルチャーセンター「臨湖」

参加者 31名

<湖南会場>

開催日 平成30年10月31日（水）

会場 ウイングプラザ栗東

参加者 25名

②子ども食堂実践者研修会の開催

<第1回>「食堂運営のお悩みを知って、次の未来を考えよう」

（北会場）

開催日 平成30年8月31日（金）

会場 ビバシティ彦根

参加者 29名

講師 京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科 講師 南 多恵子

（南会場）

開催日 平成30年9月6日（木）

会場 センター

参加者 37名

講師 京都光華女子大学 健康科学部 医療福祉学科 講師 南 多恵子

<第2回>「子どもとの関わり方」

（南会場）

開催日 平成30年10月15日（月）

会場 センター

参加者 32名

講師 NPO法人こどもソーシャルワークセンター代表 幸重 忠孝

(北会場)

開催日 11月8日(木)

会 場 ひこね市文化プラザ

参加者 22名

講 師 NPO法人こどもソーシャルワークセンター代表 幸重 忠孝

<第3回>「楽しく学ぶ、上手に野菜を摂りましょう！」

開催日 平成31年2月8日(金)

会 場 能登川コミュニティセンター(東近江市)

参加者 25名

講 師 カゴメ株式会社大阪支店スタッフ

③子ども食堂交流会の開催

開催日 平成30年12月12日(水)

会 場 近江八幡市内

参加者 28名

④子ども食堂プロジェクトチーム会議の開催

開催日 平成30年5月9日(水)・平成31年3月22日(金)

⑤「子ども食堂ガイドブック(入門編)」の発行

平成30年6月発行:3,000部

(2) 子どもの笑顔はぐくみプロジェクトの推進

①「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト1周年記念～子どもからおとなまで みんなあつまれ！

子ども食堂フェスタ」の開催

開催日 平成30年8月10日(金)

会 場 センター

内 容 感謝状贈呈式、カレーサミット、模擬店、はぐくみネットワークSHIGA発足発表

参加者 約600名

②広報・啓発活動

ア. ホームページの開設

・仮設サイトから平成30年7月に完成・公開。

イ. “子どもの笑顔” スポンサー募集パンフレットの刷新

・平成30年6月発行:4,000部。

ウ. 「はぐプロ通信」の発行

・第1号…平成30年11月発行:4000部

エ. 子ども食堂・フリースペース向け「サポート一覧冊子」の発行

・平成30年7月発行

オ. キャラバン隊による“ありがとう”メッセージの贈呈

・平成30年7月16日(月)に県内5箇所(ビバシティ彦根・アル・プラザ長浜
あどがわ店・アル・プラザ守山・アル・プラザ水口)で実施

カ. オリジナルTシャツの作成

・789枚を作成し、はぐくみ基金への寄附金付商品として1着1,000円で販売開始。(1枚あたり200円が基金への寄附)

キ. オリジナルクリアファイル及びボールペンの作製・配布

・クリアファイル1,000枚及びボールペン500本を作成し、啓発資料として活用した。

ク. イベントを活用したPR活動

(イベント名) チャリティバザー「カレンダー・手帳市」(主催:淡海フィランソロピーネット)

開催日 平成31年1月12日(土)

会 場 フォレオ大津一里山

内 容 子ども食堂に関するアンケート、啓発資料配布(約100名にアンケート実施)

(イベント名)「健康しがマルシェ」(主催:滋賀県)

開催日 平成31年2月16日(土)
会 場 イオンモール草津
内 容 フォトスポットでの啓発 等(約100名に啓発資料配布)
(イベント名) チャリティカクテルパーティー(主催:BAR MIXOLOGY SHIGA)
開催日 平成31年3月10日(日)
内 容 フォトスポットでの啓発 等(当日参加者約100名(スタッフ除く))

③特典つき寄付の実施(12月スタート)

【スポンサー登録実績】

202件

【スポンサーからの寄付実績】

寄付総額 36,524,831円(物品等金額換算分含む)

(3)「子ども食堂つながりネットワークSHIGA」の発足

発足日 平成31年8月10日(金) (子ども食堂フェスタにて設立宣言)

加入数 95食堂

①保険料助成の実施

・4団体に実施

②子ども食堂大交流会の開催

開催日 3月10日(日)

会 場 センター

内 容 あったかトーク

「気まぐれ八百屋だんだん こども食堂」 近藤 博子
みんなであったかトーク

【登壇者】

「気まぐれ八百屋だんだん こども食堂」 近藤 博子
「アモーレ子ども食堂・smile door」 殿城 弘子
「新旭子ども食堂・新旭駅前ふれあい食堂」 森田 一男
「緑のはらぺっこ食堂」 今村 崇志
子ども食堂ひとことじまん

「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」スポンサー紹介
知事メッセージ 「県もがんばる！」宣言

滋賀県 副知事 由布 和嘉子

参加者 約90名(スタッフ含む)

(4) 社会福祉施設等における子どもの居場所づくりの推進

①フリースペースの開設・運営支援

・10箇所へ助成

②フリースペース交流会の開催

<第1回>

開催日 平成30年9月3日(月)

内 容 情報交換

参加者 17名

<第2回>

開催日 平成31年3月11日(月)

内 容 「子どもとの関わり方について～あめんどでの実践から～」

NPO法人あめんど 恒松 睦美

情報交換

参加者 27 名

③フリースペースガイドブックの発行

平成 31 年 3 月発行…3000 部

④”事例検討”多職種サロンの開催

開催日 長浜市南部会場 7 月 12 日（木） 参加者 68 名

長浜市北部会場 7 月 13 日（金） 参加者 54 名

⑤フリースペースヒアリング調査を通じた事例検討の実施ならびに報告書の作成

フリースペースカーサ：10 月 30 日（火） フリースペースかなで：10 月 24 日（水）

フリースペースせせらぎ：10 月 3 日（水） フリースペースひこねふるさと：10 月 30 日（火）

フリースペースアイリス：10 月 18 日（木） フリースペースふじの里なごみの家：10 月 10 日（水）

フリースペースさわのそよ風：10 月 24 日（水） フリースペースさざなみ：10 月 30 日（火）

フリースペースにじ：11 月 7 日（水） フリースペースゆったり：10 月 24 日（水）

②報告書

平成 30 年 12 月発行

3 ひたすらなるつながりの事業推進

(1) 社会福祉関係者の実践交流の推進

①第37回滋賀県社会福祉学会の開催

開催日 平成31年 2 月 22 日（金）

会 場 センター

参加者 392名

内 容 自由研究発表

・発表題数：47題（口述発表47題）

シンポジウム

「介護の“専門性”を問い直す～受け手・担い手・行政、それぞれの立場から～」

(登壇者)

南海福祉専門学校介護社会福祉科長

野村 脩

元社会福祉法人恩賜財団済生会支部滋賀県済生会地域ケアセンターセンター長

兼特別養護老人ホーム淡海荘荘長

九里 美和子

介護経験者/滋賀県医療福祉・在宅看取りの地域創造会議会員

小林 純子

滋賀県健康医療福祉部 医療福祉推進課介護人材確保係主査

杉田 哲史

奨励賞の授与

(受賞者)

社会福祉法人長浜市社会福祉協議会

上野 浩司

(地域高齢者の自主的な身体機能維持・向上を目的とした「通いの場」の提供
～参加者の身体機能の変化を明らかにする～)

社会福祉法人幸寿会 特別養護老人ホーム長等の里

今井 貴絵

”

久城 早絵

(理念の具現化によるAの生活の変化について)

社会福祉法人びわこ学園 障害者支援センター 重症心身障害者通所施設えがお

久木 富久子

(チューブの自己抜去から考える本人の意思決定支援について)

特定非営利活動法人 子どもの虐待防止ネットワーク・しが 遠城 孝幸

(子どもを虐待から守る次世代育成プロジェクト～高校生への出前講座～

主役は高校生！虐待を授業で学び・話し合い・将来の子育てを考える)

特定非営利活動法人 地域で創る土曜日「夢の学習」

黒川 いづみ

〃

辻久 めぐみ

(子ども食堂(夢の学習料理教室)から学んだこと～身近な課題の探求とその課題解決に向けて～)

守山市速野学区大曲自治会「安心見守り支援ネットワーク会議」堀江 清

(大曲自治会災害時保健福祉等専門職ボランティア登録制度)

やまびこ生活支援センター内 大津市障害者自立支援協議会人材育成部

坂本 彩

(大津市障害者自立支援協議会における圏域内合同新人研修の取組み

ー当事者を講師に招いて、本人主体を学ぶー)

②研究誌「滋賀社会福祉研究第21号」の発行

発行 平成31年2月

掲載内容 巻頭言

滋賀県介護福祉士会 口村 淳

論文「関わること、見えてくることー共感と自覚」

元びわこ学園職員 遠藤 六朗

実践研究論文「子どもの成長・発達を護る支援構築の研究ー大津市子どもの健康・生活実態調査より」

龍谷大学社会学部 山田 容、近藤 真由子、砂脇 恵、

笠井 賢紀 滋賀県立大学人間看護学部 馬場 文

島根大学人間科学部 佐藤 桃子

第36回滋賀県社会福祉学会奨励賞レポート

「私の想いはね・・・」～看取り対応の中でしたい事を実現する～

社会福祉法人幸寿会 特別養護老人ホームカーサ月の輪 木戸 稔

「子どもの性被害の現状」～性暴力予防啓発授業を考える～

認定特定非営利活動法人おうみ犯罪被害者支援センター 松村 裕美

「高次脳機能障害者へのICFの概念を基にした生活訓練の提案

～重度の記憶障害を呈する多発性脳梗塞症例へのアプローチ～」

滋賀県高次脳機能障害支援センター 田邊 陽子

「生活困窮者の住まいを考える」グループホームそまがわ 谷口 卓也

「環境・福祉関連ボランティア設立の足跡

～レイカディア大学での学びを活かして～」

NPO YORISOI network 事務局 岡部 茂

「イノベーションサロンの作り方

～甲賀圏域で取り組む職種を超えた協働の基盤づくり～」

みんなでe-こうか イノベーションサロン運営委員会

内記 聖、中野 純司、大谷 喜久

書評

花戸貴司・國森康弘『ご飯が食べられなくなったらどうしますか?』

滋賀県立むれやま荘 島田 司巳

谷口郁美・永田祐『越境する地域福祉実践ー滋賀の縁創造実践センターの挑戦』

滋賀県社会福祉士会養成支援委員会 委員長/大谷大学 安田 誠人

- (2) ひたすらなるつながりフォーラムの開催
・第37回滋賀県社会福祉学会のシンポジウムとして開催した。

(3) ボランティア活動・社会貢献活動の推進

①「縁・支え合いの県民運動」の推進

- ・「縁・支え合いの県民運動」として、計246の社会福祉法人・市町社協に「平成30年度福祉ボランティア体験」受入れの情報提供を依頼した。24件の体験の情報提供があり、しがボランティアネットに掲載、体験を呼びかけた。

【目標達成度（5年間の実績）：10,442人】

(内訳)

県ボランティアセンター・ボランティア体験事業：3000人

遊べる・学べる淡海子ども食堂ボランティア：3450人

フリースペースのボランティア：110人

ハローわくわく仕事体験のセミナーや受入れへの協力者：399人

レイカディアえにしにの会 110人・レイカディア大学サポート隊：200人

レイカディア大学ボランティアの日 973人・災害ボランティア：300人

「えにしの日」への参加：32団体／1900人

【ボランティア活動保険加入者数：1722人】

②福祉学習資機材の貸出

貸出資機材	貸出件数	貸出数
ビデオ・DVD	14	32
点字版	7	261
車椅子	33	292
アイマスク	5	116
白杖	1	9
その他（HUG等）	3	1

②市町社会福祉協議会ボランティアコーディネーター連絡会議の開催

開催日 平成30年11月16日（金）

会 場 センター

内 容 ボランティア保険説明

「ボランティアコーディネーションの基本に立ち返って」

～ボランティアコーディネーターの価値・大切にしたい点～

（講師）京都光華女子大学 健康科学部医療福祉学科 講師

南 多恵子

参加者 14名

③ふれあい基金による助成事業の実施

大津市社協（7グループ：436,000円）・彦根市社協（2グループ：72,000円）

長浜市社協（3グループ：180,000円）・近江八幡市社協（2グループ：120,000円）

草津市社協（5グループ：340,000円）・守山市社協（1グループ：50,000円）

湖南市社協（2グループ：134,000円）・東近江市社協（2グループ：140,000円）

合計：8市社協24グループ：1,472,000円

④滋賀県善意銀行の運営（寄付・預託の受け入れと配分・助成の実施）

ア. 寄付、預託の受け入れ

株式会社ツルハホールディングス・クラシエホールディングス株式会社

…車いす5台

滋賀県グラウンド・ゴルフ協会…車いす2台

滋賀日産自動車株式会社…車いす18台

パナソニック松愛会 滋賀支部…車いす1台

関西遊技機商業協同組合…車いす5台・クッション5枚

公益社団法人滋賀県宅地建物取引業協会青年部会…車いす10台
株式会社セブーン・イレブン・ジャパン…食品17箱、雑貨17箱 (511,486円)
指定寄付…200,000円
金銭預託…10,000円

イ. 助成

平成30年度近畿母子生活支援施設研究大会…100,000円
平成30年度近畿救護施設研究協議会…100,000円

⑤しがボランティアネットの運営

延べ訪問者数 年182,716件 (前年比+28,251件 月平均15,226件)
(最多7月:16,866件 最少2月:12,391件)

実訪問者数 年89,027人 (前年比+16,837人)
(最多10月:8,550人 最少4月5,798人)

メールマガジン登録者数 448人 (前年比+19人)

⑥企業・団体の社会貢献活動の推進

ア. 淡海フィランソロピーネットとの協働

(1) 三役会

<第1回>

開催日 平成30年9月19日 (水)

会場 センター

<第2回>

開催日 平成31年3月5日 (火)

会場 旭化成住工株式会社 本社・滋賀工場

(2) 運営委員会

<第1回>

開催日 平成30年5月23日 (水)

会場 センター

<第2回>

開催日 平成30年11月14日 (水)

会場 センター

(3) 総会の開催

開催日 平成30年7月9日 (月) 15:00~17:00

会場 アヤハレークサイドホテル

議題 平成30年度事業計画 (案) について等

イ. 企業・団体の社会貢献活動セミナーの開催

(1) セミナーの開催

開催日 平成30年7月9日 (月) 15:00~17:00

会場 アヤハレークサイドホテル

内容 (基調報告)

「淡海で実践!子どもを真ん中においた地域づくり~ひたすらなるつながり、
子どもの笑顔はぐくみプロジェクト~」

滋賀県社会福祉協議会 事務局次長 谷口 郁美

(実践報告)

湖北子ども食堂「Liaison」代表 北居 理恵

株式会社平和堂 総務部総務課 課長 西塚 哲夫

大阪ガス株式会社 近畿圏部滋賀地域共創チーム 係長 北村 衣江

(進行) 滋賀県社会福祉協議会 事業部門 統括課長 奥村 昭

参加者 70名

(2) トップセミナーの開催

開催日 平成31年2月13日 (水)

会 場 琵琶湖ホテル

内 容 (キーノートスピーチ)

「平成に花開いた社会貢献活動、これからの展望」

大阪ボランティア協会常務理事 早瀬 昇

(実践報告)

「地域と企業が元気になる社員のボランティア活動～人は何を求めて働き・活動するのだろうか」

大阪商工信用金庫常務理事 山本 高久

(鼎談)

大阪商工信用金庫常務理事 山本 高久

淡海フィランソロピーネット 運営委員長 大道 良夫

大阪ボランティア協会常務理事 早瀬 昇

参加者 61名

(3) 企業・団体の社会貢献活動に関する情報の発信

・情報誌「そろふいあ」の発行

⑦教員免許取得者のための介護等体験事業の実施

ア. 体験者数 887名 (年間)

イ. 受入施設数: 251施設 (年間)

ウ. 受入施設種別及び体験者数

施設種別	受入施設数	体験者数
生活保護施設	5	5
老人福祉施設	155	693
児童福祉施設	10	21
老人保健施設	13	21
障害者福祉施設	68	149
合計	251	889

(4) 災害ボランティアセンターの運営と事業推進

①滋賀県災害ボランティアセンター運営協議会の運営

ア. 運営協議会 (担当者合同)

<第1回>

開催日 平成30年7月2日 (月)

会 場 滋賀県危機管理センター

内 容 平成30年度の取り組みについて

県総合防災訓練・県災害ボランティアセンター機動運営訓練について

災害・防災に関連する各構成団体の取組み (H29年度)

改訂版「滋賀県災害ボランティアセンター非常時体制運営の手引き」について

大阪北部地震・米原市で発生した竜巻について 等

参加者 15名

イ. 担当者会議

<第1回>

開催日 平成30年8月3日 (金)

会 場 滋賀県危機管理センター

内 容 平成30年度7月豪雨災害について

滋賀県総合防災訓練・滋賀県災害ボランティアセンター機動運営訓練について

出席者 11名

<第2回>

開催日 平成30年10月26日(金)

会場 滋賀県立危機管理センター

内容 「平成30年7月豪雨災害」、「平成30年北海道胆振東部地震」による被災状況・支援状況・各団体との情報共有
滋賀県総合防災訓練・滋賀県災害ボランティアセンター機動運営訓練の検証

出席者 10人

②滋賀県災害ボランティアセンター機動運営訓練の実施

開催日 平成30年9月2日(日)

会場 滋賀県立危機管理センター

内容 会場設営訓練、非常時体制移行訓練、初動活動に関する検討、構成団体との連携訓練、県災害VCからの関係団体への連絡対応訓練 等

参加者 33人

③市町災害ボランティアセンター設置運営訓練への協力

<開催日及び実施市町>

平成30年9月2日(日): 甲賀市及び湖南市

平成30年10月21日(日): 高島市

平成31年1月26日(土): 草津市

④災害ボランティアセンター運営支援者研修の実施

- ・平成30年7月豪雨災害被災地支援者バスを運行し、中核運営支援者等の実地研修として被災地の災害ボランティアセンターの運営支援及び支援活動を実施した。

<第1回>

実施日 平成30年7月18日(水)

場所 京都府宮津市

参加者 50名

<第2回>

実施日 平成30年8月2日(木)

場所 岡山県倉敷市

参加者 28名

⑤除雪ボランティア広域調整事業の実施

登録者の豪雪地域との交流の機会の提供(ワークキャンプの実施)

<第1回>

開催日 平成30年9月1日(土)～4日(火)

会場 長浜市内

参加者 1名

<第2回>

開催日 平成31年2月15日(金)～18日(月)

会場 長浜市内

参加者 5名

- ・除雪ボランティア登録者数…個人:54人/団体:6団体

(5)災害時要配慮者支援の取組み推進

①「えにしの日」・「えにし週間」における避難所・福祉避難所訓練等の実施推進

ア.えにしの日」「えにし週間」の実施

実施団体 延べ13団体

重点取組 「誰もが安心して利用できるための避難所チェック13項目」を活用した避難所確認、設置運営訓練、マニュアルの検証」「当事者団体が実施する訓練・学習会」

②滋賀県災害時要配慮者ネットワーク会議の開催

＜第1回＞

開催日 平成30年7月26日（木）

会 場 県立長寿社会福祉センター

内 容 「大阪北部地震並びに平成30年7月豪雨災害の支援活動について」
（講師）

コミュニティ・エンパワメント・オフィスFEEL Do代表 栗原 英文

参加者 69名

＜第2回＞

開催日 平成31年2月1日（金）

会 場 滋賀県防災危機管理センター

内 容 災害時要配慮者支援対策について
（講師）

コミュニティ・エンパワメント・オフィスFEEL Do代表 栗原 英文

参加者 87人

③災害時福祉的支援検討会の開催（県と共同事務局）

開催日 平成31年3月26日（火）

会 場 県庁

4 地域福祉を担う専門的人材の育成

（1）専門的人材の育成

①社協コミュニティワーク基礎研修の開催

開催日 平成30年12月9日（日）～12月10日（月）

会 場 永源寺コミュニティセンター・池田牧場 あいきょうの森

参加者 15名（うち武庫川女子大学実習生2名）

内 容

＜1日目＞

講義Ⅰ 「社会福祉情勢と社協の立ち位置の確認」

講義Ⅱ 「コミュニティワークの価値とプロセスの理解」

演習Ⅰ 「地域福祉活動計画のプロセスに学ぶ」

＜2日目＞

講義Ⅲ 「コミュニティワークの実践のために」

演習Ⅲ 「コミュニティワークの手法（地域アセスメント、アウトリーチ、ネットワーキング、資源開発）を実践（サロン活動、見守り活動等）から学ぶ」

（講師） 桃山学院大学 社会学部 教授 松端 克文
（事例提供） 東近江市社会福祉協議会 地域福祉課 主任主事 中西 知史

②生活困窮者支援担当者研修の開催

ア．生活困窮者自立支援事業と生活福祉資金貸付事業との連携にかかる研修会

＜1回目＞

開催日 平成31年1月11日（金）

会 場 センター

参加者 18名

＜2回目＞

開催日 平成31年1月18日（金）

会 場 米原地域福祉活動センター ゆめホール

参加者 14名

内 容

(制度説明)「生活再建を目指した生活福祉資金の活用について」

滋賀県社会福祉協議会 資金貸付・債権管理担当課長 熊越 久仁子

(事例研究)

龍谷大学社会学部・短期大学部 非常勤講師 近藤 真由子

イ. 生活困窮者自立支援事業家計改善研修会

開催日 平成31年1月31日(木)

会場 センター

内容

(説明)「改正生活困窮者自立支援法について」

滋賀県健康医療福祉部健康福祉政策課 副主幹 関 宜幸

(講義と演習)

野洲市市民部 市民生活相談課 課長 生水 裕美

参加者 26名

③第4回生活支援コーディネーター養成研修ならびに生活支援コーディネーター担当者研修の開催

ア. 生活支援コーディネーター養成研修等企画委員会の開催

開催日 平成30年8月6日(月)・12月11日(火)・平成31年3月27日(水)

会場 センター

委員 成瀬 和子(社会福祉法人 しみんふくし滋賀)

谷 仙一郎(NPO法人 元気な仲間)

里内 勝(守山市社会福祉協議会)

池山 紘一(東近江市社会福祉協議会)

川寄 孝(彦根市福祉保健部医療福祉推進課)

山添 史郎(日野町長寿福祉課 地域包括支援担当)

イ. 第4回生活支援コーディネーター養成研修の開催

開催日 平成30年9月27日(木)

会場 大津市ふれあいプラザ

内容 講義・グループ討議

特定非営利活動法人全国コミュニティライフサポートセンター

理事長 池田 昌弘

修了者 81名

ウ. 生活支援コーディネーター学習・情報交換会(生活支援コーディネーターフォローアップ研修)の実施

<第1回>

開催日 平成30年11月5日(月)

会場 コラボしが21

内容 話題提供

「米原市における協議体・生活支援サービスについて」

米原市社会福祉協議会 主任兼ソーシャルワーカー 中川 慶則

「彦根市における生活支援体制整備事業の取組について」

彦根市福祉保健部医療福祉推進課 主幹 川寄 孝

講演「生活支援コーディネーターに求められていることと役割の再確認」

武庫川女子大学 心理・社会福祉学科 教授 松端 克文

グループごとの情報交換

参加者 61名

<第2回>

開催日 平成31年2月12日(火)

会場 センター

内容 講演「生活支援コーディネーターの地域への関わり方について」

武庫川女子大学 心理・社会福祉学科 教授 松端 克文
グループごとの情報交換

参加者 48名

エ.「生活支援コーディネーター活動ヒント集」の作成

平成31年3月作成…1,000部

④社会福祉法人の地域の公的的な取組推進研修会の開催

開催日 平成30年9月3日(月) 13:00~16:00

会場 ウイングプラザ栗東

内容 (基調報告Ⅰ)

「社会福祉施設等を活用した子どもの夜の居場所“フリースペース”の実践と思い」

特別養護老人ホームカーサ月の輪 日比 晴久

(基調報告Ⅱ)

「学校現場から見える子どもを取り巻く課題と地域の居場所の必要性」

滋賀県スクールソーシャルワーカー 上村 文子

(話題提供Ⅰ)

「高島市における困窮世帯の子どもに対する学習・生活等支援の取組み」

高島市役所社会福祉課 主任 山村 栄治郎

(話題提供Ⅱ)

「彦根市における子ども・若者の居場所づくりについて」

彦根市社会福祉協議会 地域福祉課長 森 恵生

(グループトーク)

参加者 60名

⑤ボランティアコーディネーターセミナーの開催

開催日 平成31年2月18日(月)

会場 センター

内容 「改めて、ボランティアコーディネーターとは ～平成から繋ぐ、新たな時代のボランティアコーディネーション～」

(講演) 京都光華女子大学 健康科学部医療福祉学科 講師 南 多恵子

(事例報告)

守山市社会福祉協議会 地域支援課 課長

小島 健史

びわこ学園 重症児相談支援センターびわりん

相談支援専門員 増野 隼人

守山市吉身学区民生委員児童委員協議会

小西 由美子

(グループワーク)

参加者 30名

(2) 民生委員児童委員研修の実施

①民生委員・児童委員新任研修

開催日 平成30年12月20日(木)

会場 栗東芸術文化会館さくら

開催日 平成30年12月21日(金)

会場 ひこね市文化会館

内容 (講演)「新任民生委員児童委員モチベーションアップ講座」

mottoひょうご 事務局長 栗木 剛

参加者 1142名

②中堅民生委員・児童委員研修

開催日 平成30年7月20日(金)

会場 県立男女共同参画センター

内容 講演「相談援助の視点・スタンス・技法

～中堅委員の役割(新任委員への助言等)を踏まえて～」

元 梅花女子大学准教授 植田 寿之

参加者 127名

③民生委員・児童委員指導者（会長・副会長）研修

開催日 平成31年1月30日（水）・1月31日（木）

会 場 県立男女共同参画センター

内 容 （講義及びワークショップ）

「民生委員・児童委員を支える場づくり・つながりづくり～単位民児協運営の知恵とコツをわかちあおう～」

関西大学 人間健康学部 教授 所 めぐみ

参加者 304名

④主任児童委員研修

開催日 平成31年2月5日（火）

会 場 センター

内 容 （講演）

「主任児童委員の役割を考える～子どもが健やかに育つための地域をめざして～」
（シンポジウム）

「子どもを真ん中にした地域づくり」

佛教大学 福祉教育開発センター 講師 金田 喜弘

（シンポジスト）

田上っ子食堂 奥田 與嗣男

八日市おかえり食堂 菅谷 寛子

主任児童委員 小林 珠美

参加者 218名

⑤民生委員・児童委員人権研修

開催日 平成30年6月27日（水）

会 場 センター

内 容 （講演）「知っておきたいLGBT」

特定非営利活動法人 虹色ダイバーシティ 橋本 竜二

（講演）「障害のある人の人権と権利擁護について～青葉園の実践から学ぶ
～西宮での重度障害者の地域生活展開～」

西宮市社会福祉協議会 常務理事 清水 明彦

参加者 271名

⑥民生委員・児童委員テーマ別研修会

開催日 平成30年9月13日（木）

会 場 センター

内 容 （講演）『「ひきこもり」ってなんだろう？～“ふつう”という名の壁』

社会福祉法人さわらび福祉会 常務理事 金子 秀明

社会福祉法人さわらび福祉会 主任相談支援員 北出 篤嗣

『奏-かなで-』の利用者

（パネルディスカッション）

「ひきこもらなくてよい地域社会を考える～私たちにできること～」

（パネリスト）

甲賀市 障がい福祉課 課長補佐 大西 裕紀子

民生委員児童委員 服部 照代

高島市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 松本 道也

長浜市社会福祉協議会 地域福祉課 課長 杉山 好和

（コーディネーター）

社会福祉法人さわらび福祉会 常務理事 金子 秀明

参加者 251名

(3) 滋賀県市町村社協会長会との協働による市町村協基盤強化の推進

①市町村協トップセミナーの開催

<第1回>

開催日 平成30年7月10日(火) ※総会終了後

会場 県立長寿社会福祉センター

内容 「市町村協と社会福祉法人・施設との協働・連携の取組み～地域課題の解決に向けて～」

(講演) 大阪教育大学教育学部教育協働学科 教授 新崎 国広

(事例報告) 八尾市社会福祉協議会 八尾市生活支援相談センター

主任相談員 柿木 真紀子

社会福祉法人幸寿会 地域密着型特別養護老人ホームことほぎ

副施設長兼生活相談員 中浦 治子

参加者 58名

<第2回>

開催日 平成31年3月8日(金)

会場 センター

内容 (講演) 「地域福祉推進組織としての市町村協の組織マネジメントを考える
～宝塚市社会福祉協議会での実践を踏まえて」

宝塚市社会福祉協議会 常務理事 佐藤 寿一

参加者 53名

②事務局長マネジメント研修・会議の開催

<第1回>

開催日 平成30年11月21日(水)

会場 センター

内容 「働き方改革関連法 Part 1」

糺谷社会保険労務士事務所 代表 糺谷 博和

参加者 33名

<第2回>

開催日 平成30年11月28日(水)

会場 センター

内容 「働き方改革関連法 Part 2」

糺谷社会保険労務士事務所 代表 糺谷 博和

参加者 34名

③中間マネジャー研修の開催

開催日 平成31年3月13日(水) 13:20～16:00

会場 阪南市社会福祉協議会 ※県外研修

内容 全体研修「地域共生社会の実現に向けたエッセンスを丸ごと学ぶ」

テーマ別研修

分科会①「若い世代を真ん中においた地域力強化事業」

分科会②「専門職のエリア配置と市域(基幹型)配置による“わがごと・まるごと”の地域生活支援」

分科会③「ワーカー育て」

参加者 23名

④新任研修の開催

<1日目>

開催日 平成30年8月1日(水)

会 場 米原地域福祉活動センター ゆめホール

内 容 講義「社会福祉協議会とは～歴史・位置づけ・活動を学ぶ～」

滋賀県社会福祉協議会 地域福祉担当統括課長 奥村 昭
先輩職員からのメッセージ～社協職員として大事にしてほしいこと～

長浜市社会福祉協議会 ケアプランセンター伊香の里

介護支援専門員 高橋 規宏

東近江市社会福祉協議会 総務課 主事

森居 可苗

米原市社会福祉協議会 地域福祉支援担当

主任兼ソーシャルワーカー

中川 慶則

日野町社会福祉協議会 地域福祉課 主任主事

山本 重夫

演習「私の目指す社協職員像」

参加者 22名

<2日目>

開催日 平成31年3月8日(金)

会 場 センター

内 容 講義「社会福祉協議会実践を展開していくために」

佛教大学 福祉教育開発センター 講師 金田 喜弘

演習「1年間の振り返りと来年度に向けて」

参加者 23名

⑤「しがの社協活動と地域福祉の推進2017」の発行

・作成部数…250部

7 権利擁護に関するネットワークづくり

(1) 各圏域成年後見サポート・権利擁護支援センターを中心とした「権利擁護支援のしくみ」の構築
推進

①各圏域成年後見サポート・権利擁護支援センターへの協力

- ・長浜市成年後見・権利擁護センター(社協)運営委員会
- ・高島市成年後見サポートセンター(社協)運営委員会
- ・米原市権利擁護センター(社協)運営委員会
- ・成年後見センターもだま運営適正化委員会

②圏域成年後見サポート・権利擁護センター連絡会の開催

開催日 平成30年12月11日(火)

会 場 センター

- 内 容
- (1) 近況報告・情報交換
 - (2) 平成30年度の各センターの体制、実施事業について
 - (3) 各センターでの「なんでも相談会」について
 - (4) 成年後見利用促進法に関して(中核機関についての意見交換)

③市町・圏域権利擁護支援体制整備に関する支援

- ・県内7圏域で実施された成年後見制度等なんでも相談会へ職員の派遣を行った。

大津市(1回)、湖南(1回)、甲賀・湖南(1回)、東近江(1回)、湖東(1回)

米原市(1回)、長浜市(1回)、高島市(1回)

④関係機関会議への参画

- ア. 成年後見・権利擁護センター、成年後見制度に関わる団体等との会議等への参画
- イ. 障害者自立支援協議会事業部会への参画
- ウ. 県・各市町高齢者・障害者虐待防止ネットワーク会議等への参画
- エ. その他関係機関会議への参画

⑤権利擁護基盤づくりための啓発活動

ア. HP等による啓発

イ. 人権啓発ネットワーク会議への参画

ウ. 各行政・関係団体等主催研修への講師紹介や派遣

(2) 成年後見制度行政職員等研修会の開催

①成年後見申し立て事務に関する研修会の開催

開催日 平成30年10月4日(木)

会 場 センター

参加者 93名

内 容 講義Ⅰ「成年後見制度による支援の意義と効果」

公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート滋賀支部

坂口・田村合同事務所 司法書士・社会福祉士 坂口 航一郎

講義と演習Ⅱ「成年後見制度の申し立て書の作成の実際 ～市町長申し立てを中心に～」

大津市権利擁護サポートセンター

楠本 幸

NPO法人 甲賀・湖南成年後見センターばんじー

大久保 孝仁

〈助言者〉公益社団法人成年後見センター・リーガルサポート滋賀支部

坂口・田村合同事務所 司法書士・社会福祉士 坂口 航一郎

講義Ⅲ「成年後見制度申し立ての際の留意点について」

大津家庭裁判所 裁判所書記官

内村 陽子

8 障害者の権利擁護や虐待防止のための相談支援の推進、専門職の資質向上の促進

(1) 権利擁護相談、障害者110番事業の運営

＜一般相談＞

	相談受付 件数	相談者			相談方法			
		本人	家族・親 族・知人	関係機 関 他	電話	来所	訪問	その他
4月	29	17	3	9	28	0	0	1
5月	18	8	3	7	18	0	0	0
6月	25	9	2	14	24	1	0	0
7月	9	6	2	1	9	0	0	0
8月	17	14	0	3	17	0	0	0
9月	15	10	3	2	15	0	0	0
10月	14	9	1	4	14	0	0	0
11月	26	7	5	14	24	1	0	1
12月	19	9	4	6	18	1	0	0
1月	13	4	1	8	12	0	1	0
2月	14	0	3	11	10	3	1	0
3月	35	19	9	7	30	2	0	3
合計	234	112	36	86	219	8	2	5

<うち障害者110番>

- 相談件数合計…107件（障害は別掲）
ア. 知的障害者に関する相談…24件
イ. 精神障害者に関する相談…60件
ウ. 身体障害者に関する相談…23件

(2) 障害者虐待防止に関わる人材育成、体制整備の推進

①虐待防止センター職員・行政職員等 初任者向け

- ・市町虐待防止センター担当者および市町行政担当者に対し、通報受理から虐待への対応について理解を深めるため、事例演習・帳票作成を含めた研修を行った。

<1日目>

開催日 平成30年8月31日（金）

会 場 南部合同庁舎別館 草津保健所

参加者 27名

内 容 (1) 講義Ⅰ「障害者の虐待の防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律について」

しろまち法律事務所 弁護士

田嶋 明日香

(2) 講義Ⅱ「障害者の権利擁護について」

NPO法人 甲賀・湖南成年後見センターばんじー

桐高 とよみ

(3) 講義と演習「虐待対応の流れと虐待対応帳票類の活用について」

しろまち法律事務所 弁護士

田嶋 明日香

大津市障害者虐待防止センター

管 浩一

大津市権利擁護サポートセンター

中原 一隆

<2日目>

開催日 平成30年9月26日（水）

会 場 センター

参加者 17名

内 容 (1) 講義Ⅰ「障害者虐待対応における市町村の権限と役割」

大津市権利擁護サポートセンター

中原 一隆

(2) 講義と演習「虐待対応の流れの実際について」

大津市障害者虐待防止センター

管 浩一

しろまち法律事務所 弁護士

田嶋 明日香

大津市権利擁護サポートセンター

中原 一隆

②施設長・管理者向け

- ・施設・事業所の管理者を対象に、管理的立場にある者として職場や組織全体で、施設従事者による障害者虐待の防止のための取り組みについて研修を行った。

<北部会場>

開催日 平成30年11月6日（火）

場 所 県立文化産業交流会館

参加者 70名

内 容 (1) 講義Ⅰ「障害者虐待防止法について」

滋賀県健康医療福祉部 障害福祉課

長谷川 務

(2) 講義Ⅱ「施設従事者に求められる権利擁護とは」

- 社会福祉法人小鳩会 小鳩の家 山田 宗寛
- (3) 演習「虐待防止のためにどのように取り組むか」
 (講師指導者等)
- 社会福祉法人とよさと ステップアップ21 石澤 英明
 社会福祉法人湖北会 ふくらの森 大岡 賢至
 社会福祉法人椎の木会 落穂寮 太田 正則
 社会福祉法人しが夢翔会 大津市発達障害者支援センターかほん
 小崎 大陽
 社会福祉法人八身福祉会 小島 滋之
 社会福祉法人ひかり福祉会 ひかり園 橋本 昌則
 社会福祉法人蒲生野会
 東近江地域障害者生活支援センターれいんぼう 藤宮 祐憲
 社会福祉法人かすみ会 かいぜ寮 柚木 将敬

<南部会場>

開催日 平成31年1月29日(火)

会場 センター

参加者 163名

内容 (1) 講義Ⅰ「障害者虐待防止法について」

滋賀県健康医療福祉部 障害福祉課 長谷川 務

(2) 講義Ⅱ「施設従事者に求められる権利擁護とは」

社会福祉法人小鳩会 小鳩の家 山田 宗寛

(3) 講義と演習「虐待防止のためにどのように取り組むか」

<講師指導者等>

社会福祉法人椎の木会 落穂寮 太田 正則

社会福祉法人虹の会 川島 和久

社会福祉法人びわこ学園

びわこ学園医療福祉センター草津 久保多 信幸

川相商事株式会社 滋賀支社 倉場 眞弓

社会福祉法人しが夢翔会 大津市発達障害者支援センターかほん

小崎 大陽

社会福祉法人しが夢翔会 障がい児者相談センターみゅう 越野 緑

社会福祉法人八身福祉会 小島 滋之

大津市立やまびこ総合支援センター内生活支援センター 藤井 洋平

社会福祉法人蒲生野会

東近江地域障害者生活支援センターれいんぼう 藤宮 祐憲

社会福祉法人さわらび福祉会

甲賀・湖南ひきこもり支援『-奏-』 山崎 秀樹

社会福祉法人かすみ会 かいぜ寮 柚木 将敬

③権利擁護研修会「障害のある人の自己決定とその支援」の開催

開催日 平成31年3月12日(火)

会場 センター

参加者 81名

内 容 講義「障害のある人の自己決定とその支援」

神戸女学院大学 教授

特定非営利活動法人 おおさか行動する障害者応援センター副代表
與那嶺 司

④国研修参加者の派遣調整

- ・国研修参加者の調整を行った。さらに、研修参加者には研修講師、研修企画等を担当してもらった。

研修参加者3名（湖東圏域1名、東近江圏域1名、事務局1名）

(3) 権利擁護に関する普及啓発活動

①権利擁護センターパンフレットの配布

②障害者虐待防止センターリーフレットの作成・配布…10,700部

9 地域福祉権利擁護事業の推進および支援

(1) 市町社協への支援（助言、訪問等）

各市町社協の電話等による個別ケースへの助言を行ったとともに、運営適正化委員会が行う定期現地調査（大津市、栗東市、甲賀市、湖南市、高島市、日野町）について協力を行った。

(2) 担当学会議の開催

開催日 平成31年2月19日（火）

会 場 センター

内 容 (1) 意見交換「地域福祉権利擁護事業の利用と支援の適正性を確保するための課題について～利用契約と成年後見制度への移行への課題を中心に」

＜助言＞ 公立大学法人新見公立大学短期大学 専任講師 佐藤 伸隆

(2) 情報交換

参加者 26名

(3) 新任職員・生活支援員研修会の開催

＜1日目＞

開催日 平成30年6月13日（水）

場 所 センター

参加者 19名

内 容 講義Ⅰ「権利擁護とは」

成年後見センターばんじー 所長 桐高 とよみ

講義Ⅱ「地域福祉権利擁護事業について」

滋賀県社会福祉協議会 地域福祉担当統括課長 奥村 昭

＜2日目＞

開催日 平成30年6月21日（木）

場 所 センター

参加者 25名

内 容 講義Ⅰ「精神障害者の理解と支援について」

おおつ働き・暮らし応援センター 西川 健一

講義Ⅱ「知的障害者の理解と支援について」

社会福祉法人虹の会 法人本部 事務局長 川島 和久

<3日目>

開催日 平成30年6月28日(木)

場 所 センター

参加者 31名

内 容 講義Ⅰ「認知症の人の理解と支援について」

グループホーム大宝の郷 管理者 永島 政勝

講義Ⅱ「成年後見制度について」

権利擁護センターぱあとなあ滋賀 社会福祉士 村田 才司

(4) 契約締結審査会の開催

地域福祉権利擁護事業の実施主体である市町社協から、契約ケースについての疑義の審査依頼がなかったため、今年度は契約締結審査会を開催しなかった。

滋賀の縁創造実践センター5年間の実績報告

(平成 26 年度～平成 30 年度)

＜縁センターがめざすもの＞

- ①トータルサポートの福祉システム化
- ②制度の充実と制度外サービスへの取り組み推進
- ③縁・支えあいの県民運動

＜5年間の目標＞

- ①縁・共生の場づくり (300 所)
- ②課題解決のためのネットワークづくり (15 か所)
- ③制度のはざまとなっている課題へのモデル事業 (15 事業)
- ④国や県、市町への施策提案 (20 の提案)
- ⑤新たに福祉のボランティア体験をする人 (1 万人)

＜事業推進の基本姿勢＞

- ①最先端の“福祉”支援情報と考え方を提示する
- ②最先端の“福祉”アクション(実践)モデルを提案する
- ③生活者目線で暮らしの課題をウォッチングし続ける
- ④最先端のアクション(実践)モデルと草の根のアクション(実践)モデルを融合させる
- ⑤“おめでとう”から“ありがとう”まで、生活を支える多職種の連携、顔の見える関係、対話を大切にする

5年間の事業実績

1 縁・共生の場づくり

縁・共生の場づくり 300か所(概ね小学校区に一つ) 322/300

- ①縁認証 25 か所 (20 団体)
- ②縁奨励 18 か所・団体
- ③遊べる学べる淡海子ども食堂 115 か所
- ④フリースペース(社会福祉施設を活用した子どもの夜の居場所) 11 施設
- ⑤中高年障害者の休日の居場所 2 施設
- ⑥ひきこもりの人と家族の居場所 1 施設
- ⑦傍楽体験の場 5 か所
- ⑧施設退所後の若者のための居場所「ほっとスポット」 2 か所
- ⑨ハローわくわく仕事体験の場 143 社

2 課題解決のためのネットワークづくり

課題解決のためのネットワークづくり 15 か所(概ね福祉事務所単位) 15/15

縁塾を全圏域で開催。事例検討多職種サロンの開催(支援者のニーズに対応)

3 制度だけで対応できない生活課題の解決のためのモデル事業の企画と実施

15 事業の実施 31/15

①フリースペース (11)

- ・特養型 9 か所 (カーサ、アイリス、せせらぎ、なごみの家、さわのそよ風、さざなみ、ゆったり、にじ、しんせい)
- ・小規模多機能型 1 か所 (かなで)
- ・障害者施設型 1 か所 (ひこねふるさと)

②高齢者施設を活用した中高年障害者の休日の居場所 (2)

③児童養護施設等で暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり (6)

- ・ハローわくわく仕事体験
- ・キャリアアップセミナー ・プロフェッショナルセミナー
- ・企業と施設の懇談会
- ・子どもたちの自立支援応援者のためのハンドブック
- ・退所後の居場所ほっとスポット

④ひきこもりの人と家族の支援 (2)

- ・甲賀・湖南ひきこもり支援「奏 (かなで)」
- ・圏域を越えた家族と支援者交流学習会

⑤働きづらさを抱える人の小さな働く場づくり「傍楽体験」 (5)

- ・県社協、社会福祉士会、介護福祉士会、ケアマネ協議会
- …若者サポステとの協働
- ・虹の会…市内相談支援機関との協働

⑥医療的ケアを要する重度障害者の入浴支援事業 (5)

- ・通所施設で訪問入浴モデル (草津市)
- ・高齢者施設開放モデル (大津市、東近江市、日野町、湖南市)

4 国、県、市町への施策提案

20 の提案 21/20

27 年度の提案等

● 制度のはざまへの公私協働の実践

- ①滋賀県人口ビジョン・総合戦略において、子どもの貧困対策にかかる施策の確実な位置づけを提案
- ②遊べる学べる淡海子ども食堂推進事業について、政府が平成 28 年度に創設する地方創生の新型交付金を活用した事業展開を提案

● 全員参加公私協働ですすめる「遊べる学べる淡海子ども食堂」推進事業

- ①子どもの笑顔を育む縁ネットの設立
- ②官民協働による子ども食堂の運営支援
- ③フードバンクの実施
- ④持続的な運営・コミュニティサービス運営の人材育成
- ⑤スクールソーシャルワーカー活用事業の拡充
- ⑥子ども食堂事業コーディネーターの配置

● 施設や里親のもとで育つ子どもたちの自立支援事業

● ひきこもりの人と家族支援センターの開設

28 年度の提案等

- あたたかいまなざしと一人ひとりの可能性を育む支援
 - ①子どもの笑顔を育む縁ネットの設立
 - ②基幹型ひきこもりの人と家族支援センターの創設
 - ③高齢者施設を活用した中高年障害者の地域の居場所づくり
 - ④医療的ケアの必要な重度障害児者の入浴サービスの充実・強化
 - ⑤えにしの日・えにし週間の制定と協働
- ひとり親家庭の子育て実態調査の実施（県民児協との協働）
- 縁県民運動推進協議会の設置
- 津久井やまゆり園での殺傷事件を受けての緊急アンケート調査の実施

29 年度の提案等

- 子ども食堂を下支えする応援団としてのフードバンク的仕組みづくりの検討
→「子どもの笑顔はぐくみプロジェクト」の創設（8月）
- 「生きづらさを抱える人」が差別や偏見を感じた事例に関する調査
 - ①認知症の人とその家族
 - ②精神障害者やひきこもりがちな人とその家族
 - ③社会的養護が必要な子どもとその支援者
- 要養護児童の退所後支援の強化～枠にとらわれないサポート活動「ほっとスポット」を活用したトータルな退所後支援の推進

縁の実践からつくられた施策や県、市町事業

- ①淡海子ども食堂応援事業（県）
- ②児童養護施設等で暮らす子どもたちの社会への架け橋づくり事業（県）
- ③ひきこもり者と家族に学ぶ公私協働地域づくり事業（県）
- ④医療的ケアを要する重度障害児者の施設入浴サービス（市、町）
- ⑤医療的ケアを要する重度障害児者の訪問入浴サービス運用見直し（市）

5 縁・支え合いの県民運動

福祉のボランティア体験をする人 10,000 人 10,442/10,000

- 県ボランティアセンター・ボランティア体験事業 3000 人
- 遊べる・学べる淡海子ども食堂ボランティア 3450 人
- フリースペースのボランティア 110 人
- ハローわくわく仕事体験のセミナーや受入れへの協力者 399 人
- レイカディアえにしの会 110 人
- レイカディア大学サポート隊 200 人
- レイカディア大学ボランティアの日 973 人
- 災害ボランティア 300 人
- 「えにしの日」への参加 32 団体の 1900 人

【人材部門】

<介護・福祉人材センター>

1 介護・福祉人材センターの機能強化

(1) ふく・楽 CAFE の拡充

- ・介護・福祉職場の職員と大学生等との交流「ふく・楽 CAFE」を開催し、大学生等が職員との対話を通じて介護・福祉職場の仕事の魅力、やりがい、多様な働き方など「ふくしの仕事と楽しく生きる」ことの魅力を実感し、介護・福祉職場への理解を深めるとともに、働く意欲の高揚を図った。

①大学での「ふく・楽 CAFE」

開催日	会 場	参加者数	参加者
平成 30 年 6 月 26 日 (火)	聖泉大学	3	人間学部 4 回生
7 月 17 日 (火)	びわこ学院大学短期大学部	58	介護福祉、児童学の各コース 1 回生
11 月 17 日 (土)	聖泉大学	20	学生・地域住民
11 月 30 日 (金)	聖泉大学	3	人間学部 3・4 回生
12 月 11 日 (火)	びわこ学院大学	68	教育福祉学部 1 回生
12 月 19 日 (水)	龍谷大学 瀬田キャンパス	18	社会学部 2・3 回生
合 計		170	

②地域での「ふく・楽 CAFE」

開催日	会 場	参加者数	備考
平成 30 年 6 月 28 日 (木)	ビバシティ ホール	8	「湖東圏域福祉の職場説明会」(彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町主催)との共催事業
8 月 24 日 (金)	長浜市民交流 センター	5	「長浜・米原福祉の職場説明会」(長浜市・米原市主催)との共催事業
11 月 12 日 (月)	ビバシティ ホール	6	「湖東圏域福祉の職場説明会」(彦根市・愛荘町・豊郷町・甲良町・多賀町主催)との共催事業
合 計		19	

③就職フェアとしての「ふく・楽 CAFE」

- ・従来の合同就職説明会の手法を以下の観点から見直し、「カイゴとフクシ就職フェア」として介護・福祉職場と求職者とのマッチングに取り組んだ。
 - ア. 気軽に参加しやすく、話しやすい雰囲気づくり
 - イ. 来場者が福祉の魅力、実際に働く姿をよりリアルに感じられる場づくり
 - ウ. 来場者のブース着席数を増やす工夫
 - エ. 来場の利便性を考慮した会場設定

＜カイゴとフクシ就職フェア開催実績＞

開催日	会場	出展法人数	来場者数			5法人以上回った来場者数	1法人あたりブース訪問者数(平均)	採用者数		
				学生	社会人				学生	社会人
8/20(月)	クサツエストピアホテル	30	87	14	55	51 (58.6%)	10.7 (11.5%)	10	5 (35.7%)	5 (9.1%)
9/6(木)	ペルテフォーリア	29	56	12	44	39 (69.6%)	8.5 (12.5%)	7	2 (16.7%)	5 (11.4%)
10/21(日)	コラボしが21	23	78	17	61	51 (65.4%)	14.1 (7.7%)	6	3 (17.6%)	3 (4.9%)
小計		82	221	43	160	141 (63.8%)	11.1 (10.4%)	23	10 (23.3%)	13 (8.1%)
3/6(水)	コラボしが21	25	50	17	33	29 (58.0%)	7.8	2019年度に把握		
3/7(木)	コラボしが21	25	60	32	28	42 (70.0%)	11.3			
3/9(土)	コラボしが21	25	65	32	33	49 (75.4%)	12.6			
3/14(木)	ペルテフォーリア	24	56	33	23	43 (76.8%)	11.8			
小計		99	231	114	117	163 (70.6%)	10.88			
合計		181	452	157	277	304 (67.3%)	10.97	23	10	13

＜フェアの内容＞

- ・出展法人によるリレープレゼンテーション
- ・法人別ブース説明会
- ・トークセッション（滋賀の縁トーク、若手先輩職員トーク）※8/20、9/6のみ
- ・介護・福祉人材センター相談コーナー

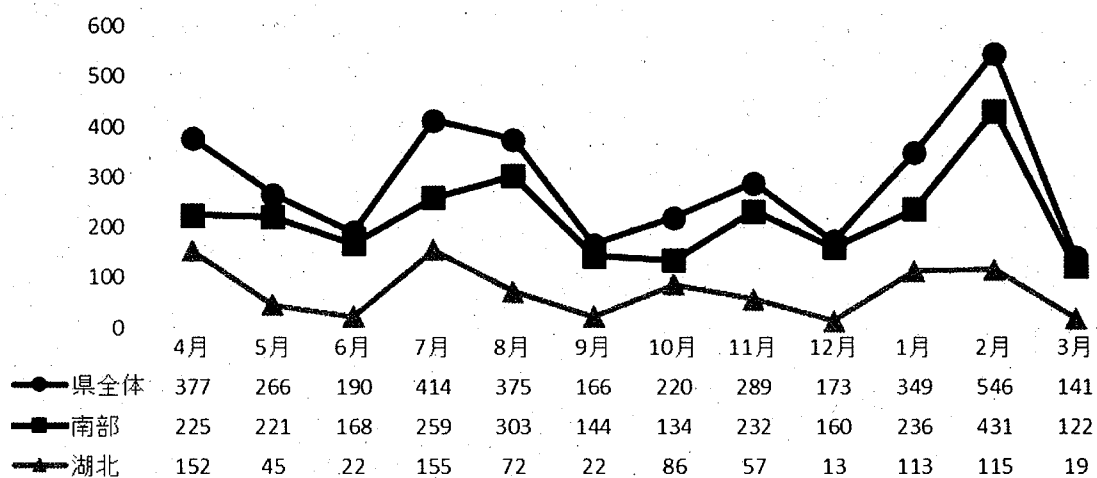
(2) 職業紹介業務の効率的かつ着実な実施

①概要

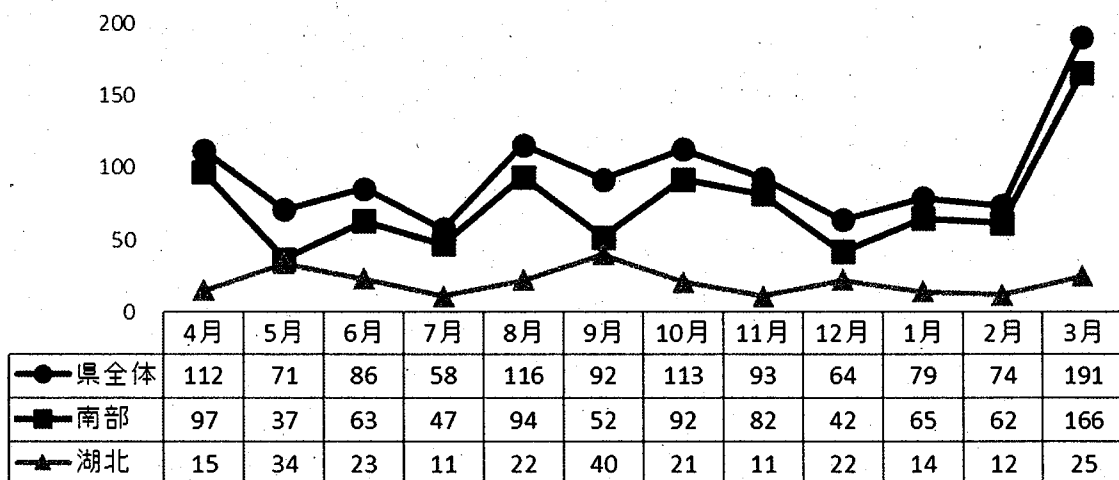
- ・職業安定法第33条に基づく厚生労働大臣許可のもと無料職業紹介事業を行った。

センター区分	新規求人数 (年累計)	新規求職者数 (年累計)	有効求人数 (年平均)	有効求職者数 (年平均)	有効求人倍率 (年平均)	紹介・応募数	紹介・応募のうち採用数	就職フェアを通じた採用数	採用数計
南部	2,635	899	637	257	2.48	69	25	39	64
湖北	871	250	267	73	3.68	24	13	11	24
合計	3,506	1,149	904	329	2.75	93	38	50	88

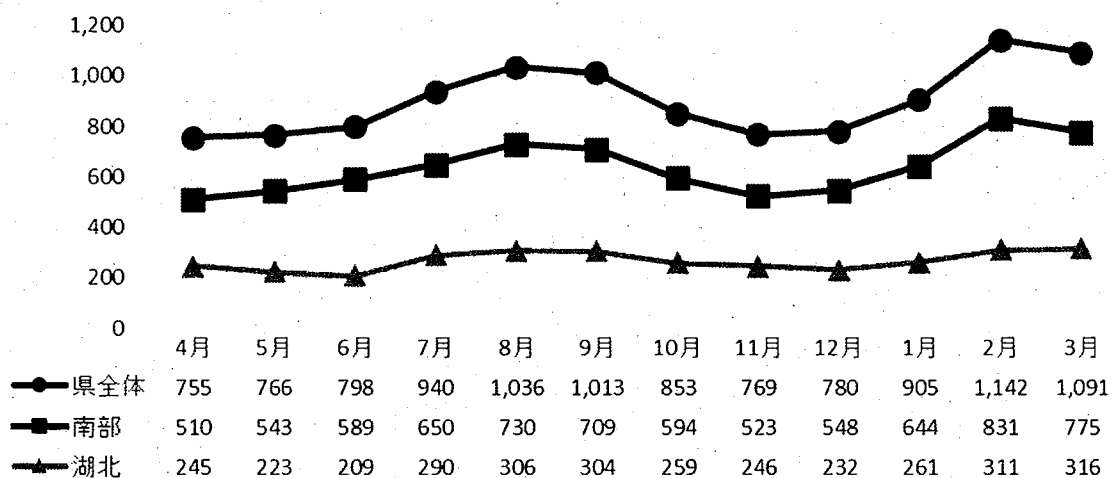
新規求人数

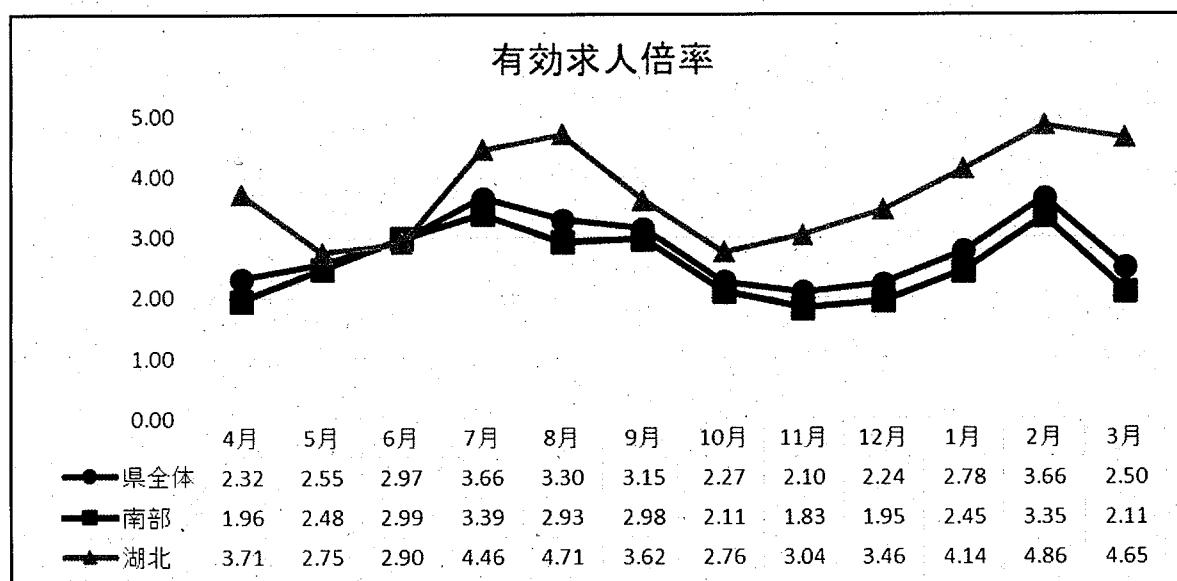
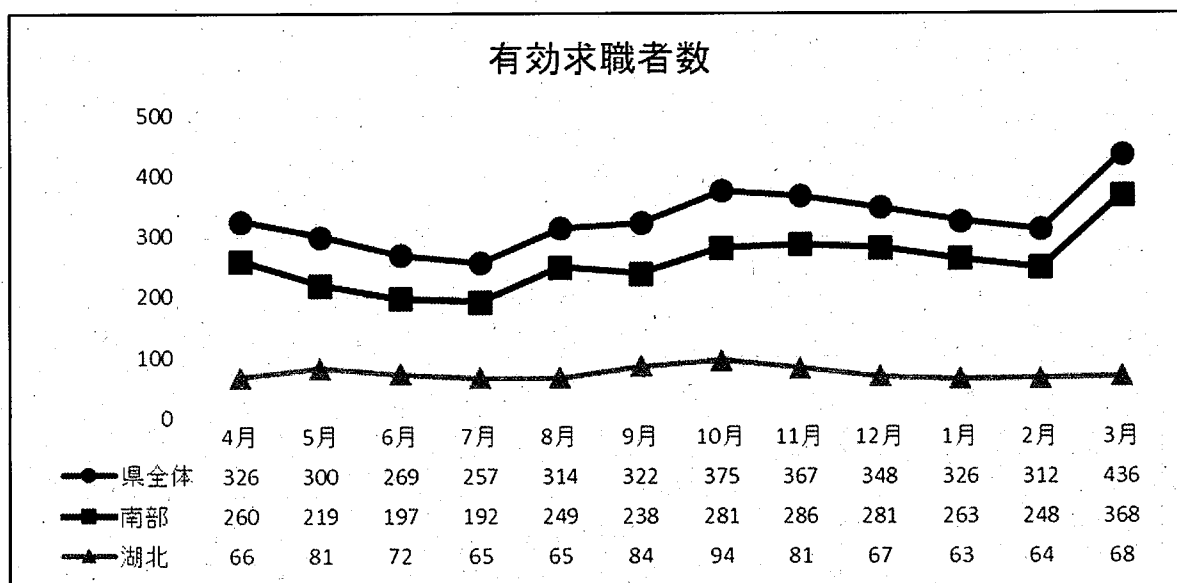


新規求職者数



有効求人数





②求人情報誌の発行

- ・毎月（年12回）、最新の求人情報をまとめた求人情報誌を発行し、求職登録者やハローワーク等の関係機関に送付するとともに、マッチングの資料として活用した。

（3）離職介護福祉士等届出制度による有資格者や経験者の届出促進

①届出

- ・離職の有無にかかわらず、有資格者の届出を進めるため、（一社）滋賀県介護福祉士会の協力のもと介護福祉士会会員への制度周知および届出の勧奨を図った。また、人材センター求職登録者や福祉研修センターの各種研修受講者への制度周知および届出の勧奨を図った。

年度	平成 29 年度	平成 30 年度	合計
届出者数	262	149	411

②「介護のお仕事 就職支援セミナー」の開催

- ・離職介護福祉士等届出制度による届出者等の介護職場への就労支援のため、「介護のお仕事 就職支援セミナー」を開催した。開催にあたっては、「2018 介護のお仕事フェス in 草津」(主催：草津市、滋賀県南部介護サービス事業者協議会)と同日・同会場での開催とし、セミナー参加者が同フェスにも参加し、より効果的な展開となるよう連携を図った。

開催日 1月20日(日)

会 場 草津市立まちづくりセンター

内 容 第1部「これで安心！自分も利用者もラクな介護技術」

福祉用具センター副課長 谷 佳代(作業療法士)

第2部「知っておこう！介護の職場で働くにあたっての支援制度」

介護・福祉人材センター職員

参加者 14名

2 就労希望者の就労支援の充実

(1) 求職者に対するきめ細やかな支援の実施

①福祉職場の魅力発信・啓発

ア. 高校生向け「福祉の入門スクール」

- ・高校生の進路選択に役立ててもらうため、介護・福祉職場の職員が講師となって、仕事の内容や魅力、やりがいなどについて講義いただいた。

センター 区分	高校名	開催日	学年 人数	講 師
南部	能登川高校	平成30年 9月26日(水)	1年 9名	(社福)六心会 介護・福祉人材センター
	滋賀学園高校	平成31年 1月25日(金)	2年 25名	(社福)楽樹
	八幡高校	2月25日(月)	2年 51名	(社福)ほのぼの会
湖北	愛知高校	平成30年 12月13日(木)	2年 26名	(社福)青祥会
合 計			111名	

イ. 職場体験

- ・介護・福祉の仕事に関心のある方に職場の雰囲気や仕事内容を知ってもらう機会を提供し、就労意欲を喚起するとともに、体験終了時にはセンター職員が同席して体験の振り返りを行い、体験での気づきや今後の希望等を確認の上、就労希望者には継続的な支援を行った。

体験受入登録事業所数	160事業所
体験受入事業所数	30事業所
体験実施期間	平成30年5月1日(火)～平成31年3月15日(金)
体験者数	45名(延べ66名)

＜体験者内訳＞

センター 区分	体験者 区分	体験者数						延べ 体験者数
		1日	2日	3日	4日	5日	計	
南部	高校生	11	1	1			13	16
	一般	20	1			1	22	27
	計	31	2	1		1	35	43
湖北	高校生	1	3	2			6	13
	一般	2		1		1	4	10
	計	3	3	3		1	10	23
合計	高校生	12	4	3			19	29
	一般	22	1	1		2	26	37
	計	34	5	4		2	45	66

ウ. 人材センターホームページ、facebook の開設、情報発信

- ・介護・福祉の仕事の魅力、就職フェア等のイベント情報、働きたい方への求職登録や求人情報の提供、介護・福祉職場で働いている方や事業者に向けた情報など、人材確保・定着の取組を発信するためホームページと facebook を平成 31 年 3 月に開設した。

エ. 就活応援セミナーの開催

- ・平成 31 年 3 月開催の「カイゴとフクシ就職フェア」大津会場（コラボしが 21）での同日開催イベントして就活応援セミナーを開催した。

開催日	概 要	参加者数
平成 31 年 3 月 6 日 (水)	テーマ：「介護・福祉業界の未来」 内 容：介護・福祉業界の将来性・可能性、仕事の魅力について新たな視点で伝える。 講 師：(株)リクルートキャリア HELPMANJAPAN グループ 坂本 宗庸	13
3 月 7 日 (木)	テーマ：「魅力が伝わるエントリーシート対策」 内 容：エントリーシート記入について具体例を交え、効果的なポイントを伝える。 講 師：(株)学情 学校企画部 松井 健悟	4
3 月 9 日 (土)	テーマ：「すぐに使える！面接対策」 内 容：すぐに伝える実践的な面接対策のポイントを伝える。 講 師：(株)学情 学校企画部 松井 健悟	13

②地域へ出向いての就職活動支援

ア. 出張相談、巡回相談の実施

- ・各圏域のハローワーク・関係機関等へ出向き、求職者へのガイダンス、出張相談、市役所等への巡回相談を実施した。また、新たな取組として、ハローワーク（長浜、東近江）における「介護・福祉の職場ガイダンス」終了後、2～3事業所による小規模な就職説明会を開催した。

<介護・福祉の職場ガイダンス>

センター 区分	開催場所	開催時期・回数	参加者数	うち求職 登録者数	うち採用 者数
南部	ハローワーク大津	毎月第4木曜日 12回	105	14	0
	ハローワーク甲賀	毎月第2水曜日 12回	67	1	0
	ハローワーク東近江	5月・偶数月第3 水曜日 7回	132	4	0
	ヤングジョブセンタ ー滋賀	毎月第3火曜日 12回	121	11	0
湖北	ハローワーク彦根	毎月第4火曜日 12回	104	6	0
	ハローワーク長浜	毎月第3火曜日 12回	188	4	0
合 計			717	40	0

<ミニ就職説明会>

センター 区分	開催場所	開催時期・回数	参加者数	うち求職 登録者数	うち採用 者数
南部	ハローワーク東近江	6月以降偶数月 第3水曜日5回	24	0	0
湖北	ハローワーク長浜	6月以降毎月第 3火曜日10回	8	5	2
合 計			32	5	2

<出張相談（要予約）>

センター 区分	開催場所	開催時期	相談者数	うち求職 登録者数	うち採用 者数
南部	シニアジョブステー ション滋賀	毎月第2木曜日	3	3	0
	滋賀マザージョブス テーション	原則毎月第4水 曜日	2	0	0
	ヤングジョブセンタ ー滋賀	毎月第3火曜日	2	0	0
	ハローワーク甲賀	毎月第2水曜日	0	0	0
	ハローワーク東近江	5月・偶数月第3 水曜日	1	0	0
湖北	ハローワーク彦根	毎月第4火曜日	6	3	0
合 計			14	6	0

<巡回相談（要予約）>

センター 区分	開催場所	開催頻度	相談者数	うち求職 登録者数	うち採用 者数
湖北	長浜市役所各支所	毎月1回	4	4	0
	米原市役所各庁舎	毎月1回	0	0	0
	高島市役所各支所等	毎月1回	1	1	0
合 計			5	5	0

<養成施設における就職支援>

センター 区分	養成施設名・養成コース	開催日	受講者数
南部	(公財) 介護労働安定センター 初任者研修	平成30年 4月6日(金)	10
	(有) スタック 初任者研修	6月14日(木)	13

	(公財) 介護労働安定センター 実務者研修	10月15日(月)	31
	(有) スタック 初任者研修	11月14日(水)	8
	(有) スタック 実務者研修	12月11日(火)	11
	(公財) 介護労働安定センター 初任者研修	2月27日(水)	13
合 計			86

イ. 福祉関係機関との連携による地域での就職説明会等の開催

＜滋賀県保育協議会との合同による商業施設内出張相談＞

センター 区分	開催場所	開催日	相談者 数	うち求職 登録者数	うち採用 者数
南部	イオンモール草津	平成30年 11月20日(火)	5	2	0
		平成31年 1月30日(水)	6	0	0
		2月27日(水)	5	2	0
		3月20日(水)	3	3	0
湖北	えきまちテラス長浜	平成30年 9月27日(木)	2	0	0
合 計			21	7	0

ウ. 各市町等との就職説明会等の開催

センター 区分	開催名称	開催日	会場	概要
南部	滋賀・京都・奈良 3府県共同「福祉 の合同就職説明 会 in 花園大学キ ャンパス」	平成30年 5月26日(土)	花園大学	出展法人数：16 (うち滋賀県：5) 来場者数：46
	甲賀市・湖南市 「福祉の仕事就 職フェア」	7月8日(日)	サンヒルズ 甲西	出展法人数：22 来場者数：19
	福祉の仕事説明 会&面接会 in お うみはちまん	10月25日(木)	近江八幡市 文化会館	出展法人数：18 来場者数：30
	甲賀市・湖南市 「福祉の仕事就 職フェア」	11月11日(日)	碧水ホール	出展法人数：22 来場者数：50
	近江八幡市「シニ ア向け仕事説明 会&面接会」	平成31年 2月20日(水)	近江八幡市 総合福祉セ ンター	出展法人数：27 来場者数：77
湖北	湖東圏域「福祉の 職場説明会」	平成30年 6月28日(木)	ビバシティ ホール	出展法人数：21 来場者数：18
	長浜・米原福祉の 職場説明会	8月24日(金)	長浜市民交 流センター	出展法人数：18 来場者数：35
	高島市「福祉の職 場説明会」	8月26日(日)	安曇川公民 館	出展法人数：14 来場者数：13
	湖東圏域「福祉の 職場説明会」	11月12日(月)	ビバシティ ホール	出展法人数：19 来場者数：18
	外国人向け介護 職員初任者研修 修了者事業所説 明会	平成31年 2月2日(土)	カルチャー &セミナー センター臨 湖	長浜市社協の外国人 介護職員初任者研修 修了者を対象とした 説明会 参加事業所：5 参加者数：11

エ. 事業者向け採用活動の支援

センター 区分	開催名称	開催日	会場	概要
南部	介護・福祉 人材採用 戦略セミ ナー	平成 31 年 3 月 5 日 (火)	滋賀県庁	(講師) (株)リクルートキャリア HELPMANJAPANグループ 坂本 宗庸 ・参加事業所：62 (申込 75) (内容) ・求職者に選ばれるための効果的 な魅力の伝え方 ・効果的なインターンシッププロ グラムのポイント
湖北	福祉のし ごとセミ ナー	平成 30 年 7 月 10 日 (火)	長浜市役所	「介護・福祉人材の確保に向けて」 長浜・米原福祉の職場説明会での 参加事業所向け事前勉強会

(2) 貸付事業の実施

①介護福祉士修学資金貸付

	貸付者数	貸付金額
平成 30 年度新規貸付	34 人	26,707,060 円
前年度からの継続貸付	26 人	21,943,560 円
合 計	60 人	48,650,620 円

<平成 30 年度新規貸付者内訳>

養成施設名	人数	養成施設名	人数
びわこ学院大学短期大学部	10	花園大学	1
華頂社会福祉専門学校	7	神戸医療福祉大学	1
京都医療福祉専門学校	4	大原スポーツ医療保育専門学校	1
京都福祉専門学校	4	専門学校岡山ビジネスカレッジ	6

②介護福祉士実務者研修受講資金貸付

貸付者数：175 人 (27,623,192 円)

③介護職員再就職準備金貸付

貸付者数：22 人 (4,400,000 円)

3 就業者の介護・福祉業界への定着支援

(1) 新入職員の定着支援

①実行委員会形式による合同入職式の開催

開 催 日	平成 30 年 5 月 17 日 (木)
会 場	琵琶湖ホテル
内 容	第 1 部 式典 実行委員会代表者挨拶、知事メッセージ、入職者代表メッセージ 第 2 部 講演 「私の体験したディズニーマジック・感動を呼ぶサービス!!」 講師：香取 貴信 (香取感動マネジメント代表取締役) 第 3 部 交流会

参加者数	74名
実行委員会 (11 団体)	滋賀県老人福祉施設協議会、一般社団法人滋賀県介護老人保健施設協会、滋賀県介護サービス事業者協議会連合会、滋賀県ホームヘルパー協議会、特定非営利活動法人街かどケア滋賀ネット、一般社団法人滋賀県介護福祉士会、公益社団法人滋賀県社会福祉士会、滋賀県介護支援専門員連絡協議会、滋賀県介護福祉士養成施設協会、社会福祉法人滋賀県社会福祉協議会、滋賀県

②フォローアップ研修・交流会の開催

開催日	南部会場 平成 31 年 2 月 8 日 (金) 湖北会場 平成 31 年 2 月 14 日 (木)
会場	南部会場 トラットリア・デラメーラ (草津市) 湖北会場 C a f e & B a r 隣町パーラー (米原市)
内容	第 1 部 研修会 「一年間を振り返る ～自身をエンパワメントしよう～」 講師：松尾 やよい (夢こらぼ主宰) 第 2 部 交流会
参加者数	南部会場 28 名 湖北会場 12 名

(2) 新入職員等の定着支援の取組推進

①メンター育成研修および支援員派遣事業の実施

コース	参加者数	内容
基 礎	21 名 (18 事業所)	メンター制度導入に向け、意義や進め方を学ぶ。 (講師) 幸重社会福祉士事務所 代表 幸重 忠孝 ・育成研修 (平成 30 年 4 月 20 日 (金)、27 日 (金))
定着支援	27 名 (21 事業所)	1 年間を通じたプログラムを通じ、メンターを育成する。 (講師) 幸重 忠孝 (幸重社会福祉士事務所代表) ・育成研修 (平成 30 年 4 月 20 日 (金)、27 日 (金)) ・フォローアップ研修 (平成 30 年 8 月 31 日 (金)) ・成果報告会 (平成 31 年 3 月 1 日 (金)) ・支援員による巡回相談 (年 2 回)

②キャリア・ライフ電話相談の実施

- ・滋賀県介護福祉士会及び滋賀県社会福祉士会の協力のもと、介護・福祉職場職員からの職場の人間関係等の悩み、スキルアップ、キャリア・デザイン、ワーク・ライフ・バランスなどに関する電話相談等を実施した。

実施期間 平成 30 年 5 月 1 日 (火) ～平成 31 年 3 月 29 日 (金)

火～金曜日 (祝日、年末年始を除く) 10 時～16 時

実施方法 電話相談 (必要に応じ面接相談)

相談件数 39 件

分 類	件数		件数
1. 職場内人間関係	7	4. 資格取得等のスキルアップ	4
2. ワーク・ライフ・バランス	1	5. 支援技術等ノウハウ	3
3. 職場のストレス (1 以外)	4	6. その他	20

③出前講座（無料講師派遣）の実施

- ・職場内研修支援事業として、滋賀県介護福祉士会及び滋賀県社会福祉士会等と連携し、無料講師派遣を実施した。

派遣依頼受付数 75件 無料講師派遣数 72件 キャンセル等 3件

＜研修テーマ内訳＞

リスクマネジメント	7件	権利擁護・意思決定支援	6件
認知症の方の具体的対応	8件	身体拘束ゼロ・虐待防止	17件
福祉用具と介護技術	3件	多職種協働・連携	1件
記録の書き方・アセスメント	6件	働きやすい職場づくり	7件
コミュニケーション・接遇	5件	その他	12件

④職場内研修支援事業の実施

- ・職場内研修支援事業として、登録講師制度を実施し、講師を紹介した。

登録講師：8名・相談件数：13件 ⇒ 登録講師派遣回数：10件

＜研修講師紹介相談に関する研修テーマ内訳＞

接遇・マナー	8件	コミュニケーション	1件
障害の理解	1件	ストレスマネジメント	3件

<福祉研修センター>

1 「(仮称) 滋賀県社会福祉研修センター」の立ち上げと新たな研修体系に基づく研修の実施

(1) 研修プログラム検討委員会の開催

<第1回>

開催日 平成30年5月10日(木)

会 場 センター

内 容 (1) 社会福祉共通必須研修プログラム提案の論点整理
(2) 社会福祉職員のキャリアパス(階層別)研修プログラム提案
(3) 意見交換

<第2回>

開催日 平成30年年7月17日(火)

会 場 センター

内 容 (1) 介護職員チームリーダー養成研修プログラム提案
(2) 意見交換

<第3回>

開催日 平成30年8月20日(月)

会 場 センター

内 容 (1) 社会福祉共通 新任期研修の試行的実施結果を踏まえての検討
(2) キャリア段階に応じて求められる能力とその育成について
(3) 意見交換

<第4回>

開催日 平成30年9月12日(水)

会 場 センター

内 容 (1) 研修プログラム検討委員会の提案整理
(2) 意見交換

・中間報告の作成…平成30年9月30日(日)

【委員名簿】

	氏 名	所属・職名	備 考
1	北野 誠一	NPO法人おおさか地域生活支援ネットワーク理事長	委員長
2	新崎 国広	大阪教育大学教育学部教育協働学科 教授	
3	村橋 功	桃山学院大学社会学部社会福祉学科 准教授	
4	前川 敦	一般社団法人ふせ支援ネットワーク 代表者	
5	空閑 浩人	同志社大学社会学部社会福祉学科博士後期課程 教授	
6	永田 祐	同志社大学社会学部社会福祉学科 准教授	
7	高井 由起子	関西学院大学教育学部教育学科 准教授	
8	市川 忠稔	滋賀県健康医療福祉部 次長	
9	橋本 弘三	滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課介護人材確保係 課長補佐	

(2) 社会福祉職員のキャリアパス研修（新任期）の試行的実施

・ 4日間・2コース実施：149名受講

(開催日)

平成30年6月4日(月)・13日(水)・25日(月)・10月9日(火)

平成30年6月27日(水)・7月5日(木)・8月10日(金)・10月19日(金)

(研修の特徴)

ア. 事前学習課題を設定し、学習の視点、目的意識をもって研修に参加できるようにする。

イ. 講義とグループ演習により主体的に学習を進める。

ウ. 福祉・介護分野で働く者としてその土台となる福祉観、意味や価値について、滋賀の福祉実践者から学ぶ科目を設定する。

エ. 研修を通して、自分自身の福祉観を深め自身のキャリアデザインを描く。

(3) 介護職チームリーダー養成研修の実施

・ 16日間・1コース実施：31名受講

(開催期間)

平成30年11月27日～平成31年5月10日

(研修の特徴)

ア. 研修科目は、①介護職業能力 ②地域包括ケアに向けた実践力 ③リーダーシップ力の3つのカテゴリーで構成し、段階的な習得も可能とした。

イ. 専門職として論理的な思考と行動の形成を狙いとして、主体的学習法(PBL学習法 problem-based learning)を取り入れた。

(4) 「滋賀の福祉人の育成に関する協定」の締結

・ 介護人材の質の向上や確保定着を図るため、介護分野で働く滋賀福祉人を育成する研修を広く周知し、受講を促進することを目的として、平成30年12月7日に滋賀県、大津市および滋賀県社会福祉協議会は、「滋賀の福祉人の育成に関する協定」を締結した。

2 キャリアパス研修・課題別研修の実施

		修了者数(実)
(1) 介護入門講座	2日	72人
(2) キャリア研修の新任職員基礎研修実	4日×2コース	148人
(3) 障害者虐待防止権利擁護相談担当職員研修	2日	27人
(4) 障害者虐待防止権利擁護施設従事者研修	1日×2コース	235人
(5) 成年後見申し立て事務研修	1日	92人

3 介護職員対象研修の実施

(1) 介護職員実務者研修通信課程スクーリング		35人
①医療的ケア演習	2日×2コース	
②介護過程Ⅲ	8日×2コース	
(2) 介護職員チームリーダー養成研修	3日×1コース	29人

4 介護支援専門員養成研修の実施

(1) 介護支援専門員実務研修	16日×2コース	76人
(2) 介護支援専門員専門課程Ⅰ（現任・更新Ⅰ）	9日×3コース	157人
(3) 介護支援専門員専門研修Ⅱ（現任・更新Ⅰ）	6日×6コース	376人
(4) 介護支援専門員更新・再研修	8日×1コース	159人
(5) 主任介護支援専門員養成研修	12日×1コース	101人

5 認知症関連従事者研修の実施

(1) 認知症介護基礎研修	1日×6コース	707人
(2) 認知症介護実践者研修	8日×3コース	296人
(3) 認知症介護実践リーダー研修	11日×1コース	44人
(4) 認知症介護実践リーダーフォローアップ研修	5日×1コース	8人
(5) 認知症対応型サービス事業管理者研修	2日×2コース	71人
(6) 認知症介護サービス事業開設者研修	1日×1コース	11人
(7) 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	2日×2コース	19人
(8) 権利擁護推進員（身体拘束廃止）養成研修	4日×1コース	53人
(9) 身体拘束廃止セミナー	1日×1コース	312人

■ 全 39 コース 実施日数 124 日 修了者数(実) 2,956 人

平成30年度滋賀県福祉研修センター研修事業実績報告書

1 キャリア研修・課題別研修の実施

1-1	キャリア研修 「介護入門講座」	受講者実数	72	延人数	143
受講対象	介護に関する資格や基礎知識を持たない、社会福祉施設・事業所等で介護職に就いたばかりの新任職員(介護職員の経験が概ね3ヶ月未満程度)				
開催日	1日目2018.4/12 2日目2018.4/18・19・25(いずれかの1日)				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	職務についての理解、福祉における尊厳の保持・自立支援、介護の基本、介護技術の基本	講義・演習	10	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会	大原 英子

1-2		キャリア研修 新人職員基礎研修 「福祉職場で働くにあたっての基礎・基本」	受講者実数	148	延人数	592
受講対象		社会福祉施設・事業所等に就任する新任職員で4日間を通して参加できる者				
開催日	A	2018.6/4/6/13/6/13/10/9				
	B	2018.6/27・7/5・8/10/10/19				
会場		長寿社会福祉センター				
研修内容	科目		方法	時間	講師	
					所属・役職名	氏名
	キャリアデザインと自己管理 福祉サービスの基本理念・倫理の基礎		講義・演習	2	大阪教育大学 教授	新崎 国広
	対人関係マナーとコミュニケーション			3		
	滋賀の福祉に学ぶ		講義	3	社会福祉法人小鳩会 小鳩の家 施設長	山田 宗寛
	滋賀の福祉を学ぶ ～越境する地域福祉の実践～		講義・演習	3	滋賀県社会福祉協議会 事務局次長	谷口 郁美
	福祉サービスとリスク/組織の中での連携		講義・演習	3	大阪教育大学 教授	新崎 国広
	問題解決と実践研究/キャリアデザインと行動計画		講義・演習	3		
	フォローアップ研修 これからの目標、計画を描く 先輩交流		演習	3	滋賀県社会福祉協議会	事務局

1-3	障害者虐待防止権利擁護相談担当職員研修	受講者実数	27	延人数	54
受講対象	市町行政職員、市町障害者虐待防止センター職員				
開催日	2018.8/31・9/26				
会場	草津保健所・長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	滋賀県の障害者虐待の現状と行政の役割	講義	0.5	滋賀県健康医療福祉部障害福祉課	長谷川 務
	障害者の権利擁護について	講義	1	甲賀・湖南成年後見センターばんじー	桐高とよみ
	障害者の虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律について	講義	1	しろまち法律事務所 弁護士	田嶋明日香
	虐待対応と虐待対応の帳票類の活用	講義・演習	2.5	しろまち法律事務所 弁護士	田嶋明日香
	虐待防止対応における市町の権限と役割	講義	1.5	大津市権利擁護サポートセンター	中島 一隆
	虐待防止対応の流れ	演習	4.5	大津市障害者虐待防止センター	菅 浩一

平成30年度滋賀県福祉研修センター研修事業実績報告書

1-4	障害者虐待防止権利擁護施設従事者研修	受講者実数	118	延人数	235
受講対象	障害者福祉施設、生涯福祉サービス事業所等従事者				
開催日	北部 2018.11/6 南部 2019.1/29				
会場	県立文化産業交流センター・長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	障害者虐待防止法について	講義	1.5	滋賀県健康医療福祉部障害福祉課	長谷川 務
	施設従事者に求められる権利擁護とは	講義	1.5	社会福祉法人小鳩会 小鳩の家	山田 宗寛
	虐待防止にどう取り組むのか	演習	3		厚生労働省研修修了者

1-5	成年後見申し立て事務研修	受講者実数	92	延人数	184
受講対象	成年後見申し立て支援従事者(初任者)				
開催日	平成30年10月4日				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	成年後見制度による支援の意義と効果	講義	2	公益社団法人成年後見センター リーガルサポート滋賀支部 坂口航一郎	長谷川 務
	申立書作成の実際	講義	2.5	大津市権利擁護サポートセンター NPO法人甲賀・湖南成年後見センターばんじー	楠本 幸 大久保 孝仁

2 介護職員対象研修(キャリアアップに資する研修)

2-1	介護職員実務者研修通信課程スクーリング	受講者実数	35	延人数	700
受講対象	介護業務に従事し、または従事する予定で、介護福祉に関する技能向上や介護福祉士の資格取得を目指す方				
開催日	〔医療的ケア演習〕A 2018.8/4・5 B 2018.8/8・9 【介護過程Ⅲ】 2018.9/5・12・19・26・10/10・11・31・(A)11/14 (B)11/21				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	医療的ケア演習Ⅰ				
	喀痰吸引・経管栄養・救急蘇生法 1日目	演習・試験	6	滋賀県喀痰吸引等研修(1号・2号)講師	山内和江・山本弘子 堀河良子・木村千洋子 今井幸枝・山脇みつ子
	喀痰吸引・経管栄養・救急蘇生法 2日目	演習・試験	6		
	介護過程展開の基本的知識 介護過程展開の方法	講義	6	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会	大原 英子
	介護過程展開の実際(事例を用いて)	講義・演習	6		北川 享子
	介護過程展開の実際(事例を用いて)・ミニテスト	講義・演習 試験	6		北川 享子・大原 英子
	介護過程展開の実際(事例を用いて)7チームアプローチの実際と多職種連携・他機関との連携	講義・演習	6		
	介護技術の基本、原理原則と手順と根拠 介護技術手順書作成と考察(ホテイカニクスと起居・移乗・移動)	演習	6		
	介護技術手順書作成と考察(衣類の着脱)	演習	6		
	介護技術手順書作成と考察(排泄)	演習・試験	6		北川 享子
	介護技術の総括	講義・試験	3		
	介護過程Ⅲの学びを総括し今後の実践につなげる 理解度確認テスト(筆記試験)	講義・試験	3		

平成30年度滋賀県福祉研修センター研修事業実績報告書

2-2	介護職員チームリーダー養成研修	受講者実数	31	延人数	474
受講対象	介護福祉士として5年以上の実務についており現にチームリーダーの任にある者(原則)				
開催日	2018.11/27・2/7・14・27・1/10・22・30・2/6・18・26・3/7・14・27・4/19・26・5/10				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	介護職に求められる資質とは	講義	3	桃山学院大学准教授	村橋 功
	尊厳の保持と自立支援	PBL	6	兵庫大学教授	田中 博一
	障害者の理解と介護	PBL	6	大阪健康福祉短期大学名誉教授	小坂 淳子
	生活援助(生活支援技術)	PBL	6	京都女子大学助教	富田川智志
	生活支援(身体介護支援)	PBL	6	大阪人間科学大学准教授	武田 卓也
	難病の理解と介護	PBL	6	東京大学大学院	佐野けさ美
	医療的ケアを必要とする利用者の介護	PBL	6	東京大学大学院	佐野けさ美
	終末期の理解と介護	PBL	6	東京大学大学院	佐野けさ美
	原則として医療行為ではないと考えられる行為の実践	PBL	6	花園大学特任教授	小松 一子
	認知症の理解と介護	PBL	6	大阪人間科学大学准教授	杉原久仁子
	医療を継続する利用者の理解と介護	PBL	9	花園大学特任教授	小松 一子
	介護予防と生活リハビリ	PBL	6	山梨県立大学教授	中島 朱美
	介護の質の向上・指導	PBL	9	南海福祉専門学校学科長 国際医療福祉大学大学院	野村 脩 小平めぐみ
	コンプライアンス・リスクマネジメント	PBL	6	特別養護老人ホームいづテラス	及川ゆりこ
	生産性の向上	PBL	6	兵庫大学教授 (株)コモン計画研究所	田中 博一

※PBL学習法(Problem-based Learning)

平成30年度滋賀県福祉研修センター研修事業実績報告書

3 介護支援専門員の法定研修

3-1	介護支援専門員実務研修	受講者実数	81	延人数	(前期) 1140
受講対象					
開催日	平日	前期 2018/12/25・26・2019.1/10・11・16・24・25・2/6 実習 2018/2/7～2/26 後期 2019.2/27・3/4・5・13・14・18・4/17			
	休日	前期 2019.1/12・13・19・25・26・27・2/2・9・10 実習 2018/2/10～3/23 後期 2018/3/24・25・4/7・8・14・15・21			
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	自立支援のためのケアマネジメントの基本	講義・演習	6	福井県立大学 教授	奥西 栄介
	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	講義	3	株式会社シルバージャパン 代表取締役	中林 弘明
	要介護認定	講義	4	滋賀県 健康福祉部 医療福祉推進課	居林 緑
	ケアマネジメントのプロセス	講義	3	特別養護老人ホーム 和順の里 施設長	今井 悟
	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義	講義	3	居宅介護支援事業所きらら 所長	森本 清美
	利用者、多くの種類の専門職等への説明及び合意	講義・演習	2	済生会居宅介護支援事業所栗東	寺田 美賀子
	人格の尊重及び権利擁護	講義	2	NPO法人甲賀・湖南成年後見センターばんじー	桐高 とよみ
	介護支援専門員の倫理			鈴木ヘルスケアサービス株式会社 代表取締役	鈴木 則成
	ケアマネジメントに係る法令等の理解	講義	2		
	相談援助の専門職としての基本姿勢及び相談援助技術の基礎	講義・演習	4	広島文教女子大学 准教授	溝渕 淳
	受付及び相談並びに契約	講義・演習	1	介護支援専門員演習指導者	
	アセスメント及びニーズの把握の方法	講義・演習	3		
	居宅サービス計画等の作成	講義・演習	4		
	サービス担当者会議の意義及び進め方	講義・演習	4		
	モニタリング及び評価	講義・演習	4		
	地域包括ケアシステム	講義	180	滋賀県 健康福祉部 医療福祉推進課	今井 良
	社会資源	講義		社会福祉法人ひだまり主任介護支援専門員	竹岡 幸子
	介護支援専門員に求められるケアマネジメント(チームマネジメント)	講義・演習	120	ケアプランセンターどりーむ 所長	辻 広美
	実習オリエンテーション	説明	60	事務局	
	実習振り返り	講義・演習	3	居宅介護支援事業所むべの里	引間 敬子
				ケアプランセンター結	葛川 寛美
	基礎理解	講義・演習	4	滋賀県立総合保健専門学校	平野まゆみ
	筋骨格系疾患と廃用症候群に関する事例	講義・演習	6	今津病院 理学療法士	前川 直行
	脳血管疾患に関する事例	講義・演習	6	滋賀県介護支援専門員連絡協議会 理事	山内 和江
				特別養護老人ホーム 和順の里 施設長	今井 悟
	認知症に関する事例	講義・演習	6	うさぎマネジメントケア	細見 美津子
				デイホームゆりの木ケアプランセンター	草野 幸代
	内臓の機能不全(糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等)に関する事例	講義・演習	6	公益社団法人滋賀県看護協会居宅介護支援事業所管理者	川嶋 由香里
				さくら介護支援事業所	北村 秀美
	看取りに関する事例	講義・演習	6	ケアプランセンターどりーむ 所長	辻 広美
				美松会居宅介護支援センター	早川 晶子
	研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り	講義・演習	2	鈴木ヘルスケアサービス株式会社 代表取締役	鈴木 則成
				NPO法人加奈	楠神 渉
	アセスメント及び居宅サービス計画等作成の総合演習	講義・演習	2	梅光学院大学 准教授	吉島 豊録

平成30年度滋賀県福祉研修センター研修事業実績報告書

3-2	介護支援専門員現任研修専門課程Ⅰ（現任・更新）	受講者実数	176	延人数	1413
受講対象	現に介護支援専門員としての実務に従事している者であって、就業後6ヵ月以上の者				
開催日	A	2018.5/8・9・15・17・22・23・6/6・7・15			
	B	2018.5/8・9・6/13・14・20・21・7/5・11・13			
	C	2018.7/21・22・28・8/4・5・11・18・19・9/2			
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	ケアマネジメントの実践における倫理	講義	2	鈴木ヘルスケアサービス㈱ 代表取締役	鈴木 則成
	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実践	講義	4	（社医）誠光会 居宅介護支援事業所きらら 所長	森本 清美
	対人個別援助技術及び地域援助技術	講義	3	ふせ支援ネットワーク	前川 敦
	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの現状	講義	3	㈱シルバージャパン 代表取締役	中林 弘明
	ケアマネジメントにおける実践の振り返り及び課題の設定	講義・演習	6	㈱ふくなかまジャパン 代表	真辺 一範
	入退院時等における医療との連携に関する事例	講義・演習	4	介護支援専門員演習指導者	
	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	講義・演習	2	介護支援専門員演習指導者	
	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	講義・演習	4	介護支援専門員演習指導者	
	認知症に関する事例	講義・演習	4	介護支援専門員演習指導者	
	家族への支援の視点が必要な事例	講義・演習	2	介護支援専門員演習指導者	
	状態に応じた多様なサービス（地域密着型サービス、施設サービス等）の活用に関する事例	講義・演習	4	介護支援専門員演習指導者	
	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	講義・演習	4	介護支援専門員演習指導者	
	個人での学習及び介護支援専門員相互間の学習	講義	2	広島文教女子大学 人間科学部人間福祉学科 准教授	溝渕 淳
	研修全体を振り返っての意見交換、講評及びネットワーク作り	演習	2	鈴木ヘルスケアサービス㈱ 代表取締役	鈴木 則成

3-3		介護支援専門員現任研修専門課程Ⅱ(現任・更新)	受講者実数	416	延人数	2256
受講対象		現に介護支援専門員としての実務に従事している者であって就業後3年以上の者、かつ専門課程Ⅰを終了している者				
開催日	A	2018.7/17・25・26・8/9・10・17				
	B	2018.7/17・8/23・24・29・30・9/5・7				
	C	2018.8/12・25・26・9/8・9・13				
	D	2018.8/12・9/20・21/10/11・12・19				
	E	2018.9/26・10/20・21・11/3・4・17				
	F	2018.9/26・10/22・23・11/5・6・19				
会場		長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師		
				所属・役職名	氏名	
	介護保険制度及び地域包括ケアシステムの今後の展開	講義	4	桜美林大学 教授	白澤 政和	
	入退院時等における医療との連携に関する事例	講義・演習	4	介護支援専門員演習指導者		
	リハビリテーション及び福祉用具の活用に関する事例	講義・演習	4	介護支援専門員演習指導者		
	社会資源の活用に向けた関係機関との連携に関する事例	講義・演習	4	介護支援専門員演習指導者		
	家族への支援の視点が必要な事例	講義・演習	4	介護支援専門員演習指導者		
	認知症に関する事例	講義・演習	4	介護支援専門員演習指導者		
	状態に応じた多様なサービス(地域密着型サービス、施設サービス等)の活用に関する事例	講義・演習	4	介護支援専門員演習指導者		
	看取り等における看護サービスの活用に関する事例	講義・演習	4	介護支援専門員演習指導者		

平成30年度滋賀県福祉研修センター研修事業実績報告書

3-4	介護支援専門員更新・再研修	受講者実数	167	累計	1520
受講対象	下記の①②の両方に該当する者 ① 介護支援専門員の業務に従事したことがない者(実務未経験者)または実務に従事した期間が1ヶ月未満の者 ※今回が2回目の更新……前回の有効期間満了日より①に該当する者も対象となる ② 介護支援専門員証の有効期間が平成31年4月末までの者。				
開催日	018/9/1・2・15・16・24・29・10/14・28・11/10・111(A)・24(B)				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	自立支援のためのケアマネジメントの基本	講義・演習	2	福井県立大学	奥西 栄介
	人格の尊重及び権利擁護並びに介護支援専門員の倫理	講義	2	滋賀県社会福祉士会理事 鈴木ヘルスケアサービス株式会社 代表取締役	村田 才司 鈴木 則成
	介護保険制度の理念・現状及びケアマネジメント	講義	3	株式会社シルバージャパン 代表取締役	中林 弘明
	要介護認定	講義	2	滋賀県健康医療福祉部 医療福祉推進課 介護人材確保係 保健師	居林 縁
	地域包括ケアシステム及び社会資源	講義	3	滋賀県健康医療福祉部 医療福祉推進課 在宅医療福祉係 主査	今井 良
		講義		大津市南地域包括支援センター	中尾 雅則
	ケアマネジメントに係る法令等の理解	講義	2	特別養護老人ホーム 和順の里 施設長	今井 悟
	介護支援専門員に求められるマネジメント(チームマネジメント)	講義・演習	3	ケアプランセンターどりーむ 所長	辻 広美
	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の意義	講義	3	社会医療法人誠光会 居宅介護支援事業所きさら 所長	森本 清美
	基礎理解	講義・演習	3	社会医療法人誠光会 草津ケアセンター所長	鈴木 孝世
	脳血管疾患に関する事例	講義・演習	5	介護支援専門員演習指導者	
	認知症に関する事例	講義・演習	5	介護支援専門員演習指導者	
	筋骨格系疾患と廃用症候群に関する事例	講義・演習	5	介護支援専門員演習指導者	
	内臓の機能不全(糖尿病、高血圧、脂質異常症、心疾患、呼吸器疾患、腎臓病、肝臓病等)に関する事例	講義・演習	5	介護支援専門員演習指導者	
	看取りに関する事例	講義・演習	5	介護支援専門員演習指導者	
	アセスメント及び居宅サービス計画作成の総合演習	講義・演習	5	梅光学院大学 准教授	吉島 豊録
3-5	主任介護支援専門員研修	受講者実数	104	延人数	1212
受講対象	介護支援専門員の業務に関し十分な知識と経験を有するもので、原則として現に介護支援専門員としての実務に従事している者(具体的に、定められた研修過程(専門課程Ⅰ・Ⅱ)を終了した者で、かつ、定められた要件に該当する者)				
開催日	2017/9/12・26 10/2・17・25 11/10・17・24 12/5・6・11・19				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	主任介護支援専門員の役割と視点	講義	5	花園大学 教授	福富 昌城
	ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援	講義	2	山梨県介護支援専門員協会 会長	鷺見 よしみ
	ターミナルケア	講義	3	(社)エンドオブケア・ライブ協会 会長	久保田千代美
	人材育成及び業務管理	講義	3	京都介護医療総研株式会社 代表取締役	吉良 厚子
	運営管理におけるリスクマネジメント	講義	3	社会福祉法人 射水万葉会 足立万葉苑 施設長	前田 優二
	ケアマネジメントに必要な医療との連携及び多職種協働の実現	講義	3	京都介護医療総研株式会社 代表取締役	吉良 厚子
		演習	3		
	地域援助技術	講義	3	公益財団法人さわやか福祉財団 戦略アドバイザー	土屋 幸己
		演習	3		
	対人援助者監督指導	講義	6	兵庫大学 教授	竹内 一夫
		演習	12		
	個別事例を通じた介護支援専門員に対する指導・支援の展開	講義	6	株式会社ふくなかまジャパン 代表取締役社長	眞辺 一範
		演習	18		

平成30年度滋賀県福祉研修センター研修事業実績報告書

4 認知症関連従事者研修

4-1	認知症介護基礎研修	受講者実数	707	累計	707
受講対象	認知症高齢者介護に携わる介護職員、および、今後、認知症介護実践者研修受講予定(希望)の方。または、この研修内容に関心のある職員				
開催日	北部:2018/6/8 西部:6/1 東部:6/30 南部1:7/19 南部2:10/17 南部3:2019.1/30				
会場	北部:長浜市民交流センター 西部:安曇川公民館 東部:東近江総合医療センター 南部:長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	研修のねらいと認知症の現状	講義	0.5	滋賀県 健康医療福祉部 医療福祉推進課 担当	村井 晋平
	認知症の人の理解と対応の基本	講義・演習	2.5	認知症介護指導者	
	認知症ケアの実践上の留意点	講義・演習	3		

4-2	認知症介護実践者研修(1回目)	受講者実数	312	累計	2272
受講対象	介護実務者				
開催日	1	2018.5/21・31・6/2・5・12・19 1か月程度の自施設内実習 7/23・24			
	2	2018/20・28・9/1・4・13・20 1か月程度の自施設内実習 10/24・25			
	3	2018.11/20・27・12/1・5・11・17 1か月程度の自施設内実習 1/22・23			
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	研修目的・認知症介護の理念の構築	講義・演習	3	介護老人福祉施設 サンライフたきの里 施設長	岩尾 貢
	意思決定支援と権利擁護	講義・演習	3		
	家族の理解	講義	3	認知症の人と家族の会 認知症介護指導者	
	認知症の疾患理解	講義	3	公立甲賀病院 内科部長・地域医療連携部長	小河 秀郎
	人的環境、居住環境、地域社会環境を踏まえた 認知症の人の生活環境を考える	講義	3	特別養護老人ホームアンタレス 在宅部長	鈴木 雅晴
	コミュニケーションの本質と方法	講義・演習	3	滋賀医科大学医学部附属病院リハビリテーション部 言語聴覚士	川見 員令
	アセスメントに必要な8つの視点とは	講義・演習	2	認知症介護指導者	
	認知症高齢者の理解	講義・演習	4		
	認知症高齢者の理解に基づいた生活のアセスメントと支援(1)	講義・演習	6		
	認知症高齢者の理解に基づいた生活のアセスメントと支援(2)	講義・演習	3		
	アセスメントとケアプラン	講義・演習	3		
	職場実習オリエンテーション				
	自施設職場実習	実習	4週間		
	実習報告	講義・演習	6	認知症介護指導者	
	実習報告・総括	講義・演習	3		

平成30年度滋賀県福祉研修センター研修事業実績報告書

4-3	認知症介護実践リーダー研修	受講者実数	44	累計	484
受講対象	介護実務者				
開催日	2018.7/10・18・23・8/27・9/3・10・26・10/1・15 1か月程度の自施設実習 10/29・11/19				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	認知症ケア実践リーダーの役割	講義・演習	3	サンビレッジ大垣 施設長	桑原 陽
	チームにおけるケア理念の構築方法	講義・演習	4		
	認知症の専門的理解	講義	2	大津赤十字病院 神経内科部長	松井 大
	実践リーダー研修の理解	講義・演習	1	認知症介護指導者	
	認知症ケアに関する施策の動向と地域展開	講義・演習	4	滋賀県 健康福祉部 医療福祉推進課 主任保健師	村井 晋平
	スタッフへのストレスマネジメントの理論と方法	講義・演習	3	龍谷大学 社会学部 学部長	村井 龍治
	認知症の人への権利擁護の指導	講義・演習	4	介護老人保健施設 大阪緑ヶ丘 事務長	柴尾 慶次
	認知症の人の理解とその教育	講義・演習	3	認知症介護指導者	
	職場内教育(OJT)法の理解と実際1	講義・演習	4	立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 教授	岡田 まり
	職場内教育(OJT)法の理解と実際2	講義・演習	7	立命館大学 産業社会学部 現代社会学科 教授	岡田 まり
	人材育成の実際①(個へのスーパービジョン)	講義・演習	7	認知症介護指導者	
	人材育成の実際②(グループへのスーパービジョン)	講義・演習	7	認知症介護指導者	
	人材育成の実際③	講義・演習	7	認知症介護指導者	
	実習課題設定	講義・演習	7	認知症介護指導者	
	自施設職場実習	実習	4週間		
	実習結果報告会	講義・演習	5	認知症介護指導者	
	実践評価・PDCAサイクル次の計画	講義・演習	2		

4-4	認知症介護実践リーダーフォローアップ研修	受講者実数	9	累計	45
受講対象	認知症介護実践リーダー研修を修了している者で、修了後2年以上継続して実践している者				
開催日	2018.12/3・10・1/10・17・24・2019.1/24				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	認知機能障害の理解とそれに対するケアの考え方	講義・演習	3	近江温泉病院 総合リハビリテーション部 部長	石黒 望
	認知症の特徴的な疾患の理解とそれに対するケアの考え方	講義・演習	3		
	認知機能障害に伴う生活機能障害について	講義・演習	3		
	認知機能障害に伴うコミュニケーション・環境について	講義・演習	3		
	ファシリテーションの実際～ファシリテーションとは～グループで役立つファシリテーション	講義・演習	6	社会福祉法人グループ リガーレ本部 人材・開発研究センター 主任研究員	西村 優子
	ファシリテーションの体験・現場に活かすファシリテーション	講義・演習	6		
	人を育てること・人を動かすこと～マネジメントとは～	見学・演習	5		
	研修を振り返って 課題と対策	講義・演習	1		

平成30年度滋賀県福祉研修センター研修事業実績報告書

4-5	認知症対応型サービス事業管理者研修	受講者実数	73	累計	146
受講対象	指定認知症対応型通所介護事業所、指定小規模多機能型居宅介護事業所、指定認知症対応型共同生活介護事業所または複合型サービス事業所の管理者または管理者として予定される者であって、認知症介護実践研修における実践者研修(旧基礎課程を含む)を修了している者				
開催日	前期 2018.10/22・23 後期 2019.2/13・14				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	地域密着型サービス基準について	講義	2	滋賀県 健康医療福祉部 医療福祉推進課	担当者
	介護従事者に対する労務管理について	講義	2	社会保険労務士 西多社会保険労務士事務所 所長	西多 正夫
	適切なサービスの提供のあり方について	講義・演習	4	特定非営利活動法人 りゅうおう 理事長	坂口 直司
	地域密着型サービスの取組みについて(実践報告)	講義	1	NPO法人宅老所 心	村田 美穂子

4-6	認知症介護サービス事業開設者研修	受講者実数	11	累計	11
受講対象	指定小規模多機能型居宅介護事業所または指定認知症対応型共同生活介護事業所の代表者となる者であって、認知症高齢者の介護に従事した経験または保健医療サービスの経験を有する者				
開催日	2019.2/13 体験実習(2/14～3/1のうち1日)				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	地域密着型サービスの視点	講義	1	滋賀県 健康医療福祉部 医療福祉推進課	担当者
	地域生活支援とチームケア(実践報告)	講義	2	特定非営利活動法人 宅老所心 理事長 (滋賀県介護福祉士会 会長)	村田 美穂子
	認知症の疾患理解	講義	1	地域密着型特別養護老人ホームきいと 介護支援相談員・生活相談員	金子 理栄子
	認知症高齢者ケアのあり方と家族の理解	講義	2		
	現場体験についてのオリエンテーション	説明	0.5	事務局	
	現場体験(職場体験)	実習	8		

4-7	(前期)小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	受講者実数	19	累計	38
受講対象	指定小規模多機能型居宅介護事業所または複合型サービス事業所の計画作成担当者(介護支援専門員)または計画作成担当者になることが予定されているもの(介護支援専門員)であって、認知症介護実践者研修(旧基礎課程含む)を修了している者				
開催日	前期 2018.10/3・5 前期 2019.2/6・7				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	地域密着型サービスの視点	講義	60	滋賀県 健康医療福祉部 医療福祉推進課	担当者
	地域生活支援とチームケア(実践報告)	講義	120	社会福祉法人 ひだまり 理事長	永田 かおり
	ケアマネジメント論 居宅介護支援計画作成の実践	講義・演習	360	特定非営利活動法人 宅老所心 理事長 (滋賀県介護福祉士会 会長)	村田 美穂子

平成30年度滋賀県福祉研修センター研修事業実績報告書

4-8	権利擁護推進員(身体拘束廃止に向けた推進員)養成研修	受講者実数	54	累計	216
受講対象	身体拘束廃止の取り組みを事業所内で指導的立場から推進することができ、全日程参加できる者 (この研修は、自施設実習において、身体拘束廃止等、高齢者の尊厳を守るケアの実践にむけて取り組んでいただく個別事例、もしくは職場における業務改善等の実践が必要。)				
開催日	2018.10/10・15・23 自施設実習(60日) 12/13				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	滋賀県における身体拘束廃止の取り組みについて	講義	1	滋賀県 健康医療福祉部 医療福祉推進課	担当者
	身体拘束廃止とリスクマネジメント	講義	3	介護老人保健施設 大阪緑ヶ丘 事務長	柴尾 慶次
	高齢者の尊厳を守るケア	講義・演習	5.5	認知症介護指導者	
	一人ひとりを見つめよう	講義・演習	5.5		
	自施設実習	実習	60日間	各職場	
	実習報告会	講義・演習	5.5	認知症介護指導者	

4-9	身体拘束ゼロセミナー	受講者実数	312	累計	312
受講対象	施設関係者、その他身体拘束廃止や認知症ケアに関心のある一般の方				
開催日	2018/7/21				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間	講師	
				所属・役職名	氏名
	身体拘束廃止にかかる課題と実践について	講演	2.5	東北福祉大学総合福祉学部 准教授	吉川 悠貴

<レイカディア振興担当>

1 高齢者の健康と生きがいの推進

- ・高齢者がスポーツや文化活動に親しむ機会や日ごろの生きがいづくり活動を発表する場の提供を通じて、また高齢者自らが地域活動に参画することによって、健康や生きがいに対する意識の高揚を図るとともに、地域間・世代間の交流を促進し、社会参加を推進した。

(1) レイカディア・シルバー作品展

①出品全作品の展示

開催日 平成 30 年 5 月 29 日 (火) ～ 6 月 3 日 (日)

会 場 滋賀県立文化産業交流会館 イベントホール

②入賞（佳作を除く）作品の展示

開催日 平成 30 年 6 月 5 日 (火) ～ 10 日 (日)

会 場 センター

来場者 1,304 人

<作品出展数>

部門	出 展 数	推 奨 (全国大会出展)	特 選	後援団体賞	佳 作	かいつぶり 賞	最高齢 者賞
日本画	26	2	1	2	4	1	0
洋 画	72	2	3	4	12	1	0
彫 刻	6	2	—	1	0	1	0
工 芸	28	2	2	2	3	1	0
書	56	2	3	3	11	0	1
写 真	104	2	3	3	15	1	0
合 計	292	12	12	15	45	5	1

(2) スポーツ等交流大会開催事業

①ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会スポーツ等交流大会の開催 ースポーツ等交流大会ー

種 目	開 催 日	会 場
卓 球	平成 30 年 4 月 29 日	安曇川総合体育館
テニス	4 月 20 日	県立希望が丘文化公園テニスコート
ソフトテニス	5 月 6 日	県立長浜ドーム
ソフトボール	4 月 21 日、30 日	大津市 和邇市民運動広場
ゲートボール	5 月 9 日～11 日	南部：竜王ドラゴンハット 北部：スパーク山東他
ペタンク	5 月 24 日	野洲市八夫運動広場
三世代交流マラソン	11 月 11 日	近江八幡市立運動公園周辺及び水郷周辺コース
弓 道	5 月 20 日	彦根市宮弓道場
剣 道	4 月 1 日	草津市立武道館
グラウンド・ゴルフ	9 月 7 日～9 月 28 日、 10 月 21 日	希望が丘文化公園 G G 場他

太極拳	8月26日	甲西文化ホール
ソフトバレーボール	4月22日	草津市立総合体育館
サッカー	4月15日	ビックレイク（守山市）
水 泳	5月13日	県立障害者福祉センター
ウォークラリー	5月27日	大津市内
ラグビーフットボール	毎週土曜日練習	東レ周山グラウンド
ボウリング	4月29日	栗東ボウリングジム
ゴルフ	10月10日 11月12日	信楽カントリー倶楽部 日野ゴルフ倶楽部
ビーチボール	6月16・17日	サンビレッジ近江八幡

—文化等交流大会—

種 目	開 催 日	会 場
囲 碁	平成30年5月4日	彦根東高校第2別館
将 棋	4月8日	コミュニティーセンターやす
健康マージャン	5月20日	ビバシティ彦根研修室
俳 句	10月29日	大津市生涯学習センター

—びわこ交流大会—

種 目	開 催 日	会 場
ボート	平成30年5月26日	県立琵琶湖漕艇場
登 山	10月14日	比良山系

②ねんりんピックびわこ・レイカディア県民大会スポーツ等交流大会説明会の開催

開催日 平成31年2月9日（土）

会 場 センター

参加者 15名

（3）全国健康福祉祭選手派遣事業

①滋賀県選手結団式・全体説明会

開催日 平成30年10月16日（火）

会 場 センター

参加者 120名

②第31回全国健康福祉祭 とやま大会

開催日 平成30年11月3日（土）～6日（火）

開催地 富山市ほか（14市町村）

種 目 卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、マラソン、ゴルフ、弓道、剣道、グラウンド・ゴルフ、太極拳、ソフトバレーボール、ウォークラリー、サッカー、水泳、ラグビーフットボール、囲碁、将棋、健康マージャン マレットゴルフ（23種目）

派遣人員 174人（役員を除く）

（4）高齢者自主活動グループ新規立ち上げ支援事業

①高齢者自主活動グループ新規立ち上げ支援事業助成金

・地域で見守りや生活支援が必要な高齢者または孤立しがちな世帯に対し、必要な援助

を行う高齢者の自主活動グループを新規に立ち上げ、活動するための必要な経費を助成した。

ア. 申請数：17グループ

イ. 助成数：10グループ 1,000,000円

ウ. 助成グループの主な活動内容

高齢者への支援（ワンコインカフェ・居場所づくり・外出サポート他）

地域づくり（地域の見守り活動等）

②高齢者自主活動グループ 活動報告会・情報交換会

開催日 平成31年1月25日（金）

会 場 センター

参加者 46名

内 容 活動報告

(1) 「認知症の本人とその家族が安心して過ごせる場の提供、相談、仲間づくり」
認知症カフェ「なごみ」実行委員会（草津市）

(2) 「75歳以上一人暮らしの方の見守り訪問の他、生活支援と居場所づくり」
福祉ボランティアグループあやめ（愛荘町）

(3) 「いきいき協働センターを活用した高齢者を対象としたふれあいの場づくり」
ぽっちゃんカフェ（豊郷町）

テーマ講義「地域活動を行う上でのグループ作りと継続の秘訣」

大平 正道

グループ討議「ヒト・モノ・カネ」について討論、発表

2 学習機会の提供による地域の担い手の養成

・高齢者が時代の要請する実践的な新しい知識や教養、技術を身につけ、地域の担い手として登場できるよう支援するため、レイカディア大学の運営をおこなった。

(1) レイカディア大学の運営

【修業年限】 2年間

【入学資格】 現に県内に居住する満60歳以上の者で、大学設置の趣旨を理解し、学習意欲に富み、通学および各種講義に出席しうる健康を有する者。

【授業料】 各学年 前期25,000円、後期25,000円

ー学習内容・時間ー

【必修講座】

学習領域	主な学習内容	学習時間	
		1年	2年
人間理解	福祉、人権、健康、保健、安全、仲間づくり、家族	草津校 112時間	草津校 110時間
郷土理解	自然、歴史、文化、芸術、自然保護、環境保全、街づくり、地域振興	(28日間) 米場校	(28日間) 米場校
社会参加	政治、経済、社会、国際理解、生涯学習、ボランティア（地域活動体験学習等）、自己実現	108時間 (27日間)	100時間 (27日間)

学校行事	オリエンテーション、入学式、卒業式、地域活動体験学習報告会、課題学習報告会、ニュースポーツ大会、大学祭、自主活動、ボランティアの日		
------	---	--	--

【選択講座】

学習領域	主な学習内容	学習時間		
		1年	2年	合計
園芸学科 (草津校A・B・米原校)	庭木・果樹の作り方、土壌・施肥管理、剪定、野菜・山野草の育て方、寄せ植え、その他	88時間× 3クラス	88時間× 3クラス	528時間 (132日間)
陶芸学科 (草津校)	作陶、素焼、施釉、本焼、陶芸の科学・歴史、その他	88時間	88時間	176時間 (44日間)
びわこ環境学科 (草津校)	自然の姿・仕組み、環境汚染、環境に優しい暮らし（ゴミの軽減化、エコ生活等）、水質保全、里山保全、その他	88時間	88時間	176時間 (44日間)
地域文化学科 (草津校)	近江の歴史・文学・文化・自然、伝承技法、まちづくり、その他	88時間	88時間	176時間 (44日間)
北近江文化学科 (米原校)	北近江の歴史・文学・文化・自然、伝承技法、まちづくり、その他	88時間	88時間	176時間 (44日間)
健康づくり学科 (草津校・米原校)	高齢期の症状理解、老化予防、健康維持・増進（栄養、生活習慣、趣味と健康、レクリエーション等）その他	88時間× 2クラス	88時間× 2クラス	352時間 (88日間)
合 計		792時間 (198日間)	792時間 (198日間)	1,584時間 (396日間)

－学生数－

(平成31年3月末現在：321人)

学 科 人	草津校		米原校		合 計
	41期生	40期生	41期生	40期生	
園芸学科	49	32	21	25	127
陶芸学科	12	19	—	—	31
びわこ環境学科	10	18	—	—	28
地域文化学科	23	24	—	—	47
北近江文化学科	—	—	12	17	29
健康づくり学科	19	18	10	12	59
計	113	111	43	54	321

○ 学生募集・入学状況

	草津校	米原校	計
定員	145 人	70 人	215 人
応募者	131 人	54 人	185 人
入学者	120 人	45 人	165 人
入学／定員	82.7%	64.2%	76.7%

①地域活動体験学習・課題学習

- ・地域活動体験学習では在校中に地域活動（ボランティア活動）を実際に体験し、地域との関わりや繋がりを自らづくり、地域の方々と共に課題に取り組む力を身につけた。また課題学習では学生自ら課題を見出し、その課題に向けた取り組みをグループで実践し、卒業後の活動へとつなげた。

②大学祭

- ・日頃の学びを発表・実践することを通じて学習をより一層深めるとともに卒業生や地域との交流を行った。

（草津校）

開催日 平成30年8月1日（水）～3日（金）

会 場 センター

来場者 873名

（米原校）

開催日 平成30年7月25日（水）～27日（金）

会 場 滋賀県立文化産業交流会館

来場者 343名

③ボランティアの日

- ・実践的な地域活動につながるよう全員一丸となるボランティア活動の企画運営を学生自らが行った。

（草津校）

開催日 40期 平成31年2月28日（木）

41期 平成31年3月8日（金）

会 場 センター

内 容 講義Ⅰ「18年間ボランティア活動で学んだこと」

龍谷大学社会学部 教授 金子 龍太郎

講義Ⅱ「公園の運営管理について」

びわこ文化公園 副公園長 肥山 陽子

※2/28 はびわこ文化公園で公園環境保全体験を予定していたが、雨天のため中止

（米原校）

開催日 39期 平成30年5月9日（水）

会 場 高取山ふれあい公園

内 容 高取山ふれあい公園の遊歩道整備・バンガローの清掃、地域の歴史学習

開催日 40期 平成30年6月19日（火）

会 場 河辺いきものの森

内 容 森についての座学と見学、薪割り、シバ作り、草刈り、枝の処理

④公開講座・学校見学

- ・必修講座、選択講座の一部を一般に公開し、学ぶ楽しさや喜びを体験する機会を設けた。また、本学を広く知っていただけるよう年間を通して実際の授業の様子や学習環境等を見学できる機会を設けた。

校 名		開催日	受 講 者数	内 容
草津校	選択講座	平成 30 年 6 月 6 日	4 名	「環境まちづくり」の企画と運営について 水色舎・滋賀県立大学非常勤講師 佐々木 和之
		6 月 7 日	8 名	井上 靖 『夜の声』(湖西) 旅行作家 西本 椰江
		6 月 20 日	6 名	健康と運動 「運動処方とその進め方」他 京都女子大学家政学部教授 寄本 明
		6 月 27 日	6 名	窯出し、陶笛・合子の作陶 京都工芸繊維大学非常勤講師・ 京都精華大学非常勤講師 谷野 明夫
		7 月 4 日	14 名	球根と宿根草の育て方 ハンギングバスケットづくり 他 フラワーアレンジメント講師 水島 たず子
	必修講座	12 月 21 日	14 名	古民家を活用した町づくり 滋賀県立大学教授 濱崎 一志
		3 月 1 日	24 名	アートを楽しく鑑賞しよう ～絵画の見方や楽しみ方等～ 滋賀県立近代美術館 学芸員
米原校	選択講座	6 月 12 日	5 名	樹木病虫害の診断と防除 樹木医 田上 知
		6 月 15 日	4 名	健康と運動 「膝や腰の痛みのメカニズムや原因を知ろう」 健 康運動指導士 中原 京子
		6 月 26 日	4 名	農書について学ぶ 江戸期の農書を読む 滋賀民族学会理事 粕渕 宏昭
	必修講座	12 月 27 日	4 名	福祉と芸術のあわいから生まれるもの 社会福祉法人 グロー 田端 一恵
		3 月 14 日	16 名	減災めざして備えと構え たかしま災害支援ボランティアネットワーク 太田 直子

(2) 滋賀県レイカディア大学サポート隊との協働

- ・レイカディア大学の運営サポートを目的に設置されている卒業生の組織である滋賀県レイカディア大学サポート隊と協働し、より良い大学運営を推進した。具体的には学生募集・大学祭の支援、学生対象初心者パソコン講座の実施、レイカディア大学ホームページの運用管理、レイカディアだよりの発行と配布、選択講座助手、園芸学科の実習準備および学校行事にかかる校内環境整備、校外学習の引率サポートを実施した。

(3) レイカディア大学懇話会の開催

- ・レイカディア大学に関する事項について、学識経験者、関係団体、行政機関より、幅広い意見をいただいた。

＜第1回＞

開催日 平成30年11月8日（木）

会 場 センター

参加者 15名

内 容 (1) レイカディア大学の現状について
(2) 各委員より情勢について
(3) 短期講座の実施について

＜第2回＞

開催日 平成31年3月25日（月）

会 場 センター

参加者 12名

内 容 (1) レイカディアのリエゾンについて
(2) リカレントコース、認定（短期）講座の実施について
(3) 学科の見直し等について

(4) 地域活動体験学習報告会

- ・40期生の行った地域活動体験学習の報告の場として、市町行政、市町社協にも呼びかけ報告会を予定したが台風接近のため中止した。

3 社会福祉に関する情報、資料の収集および提供

- ・中高年者の生きがい・役割づくり・健康づくりについての啓発、普及を行うために、高齢期の社会参加や生きがいづくりの促進につながる情報、および健康に関する情報を発信し、豊かで生きいきとした長寿社会づくりについての意識を高めた。

(1) 情報誌「レイカディア通信」の発行

発行日 平成31年1月25日

発行部数 3,600部

内 容 「ねんりんピック滋賀県選手団特集」
ねんりんピックとは？ ねんりんピックとやま大会の主な結果 他

発行日 平成31年2月25日

発行部数 3,600部

内 容 「シニアの地域活動特集号」
シニアの地域活動について（4つのグループを紹介）

発行日 平成31年3月25日

発行部数 3,600部

内 容 「高齢者自主活動グループ特集」～仲間と一緒に地域を支える～
シニアの地域活動について（活動報告会の様子と活動グループの紹介）

(2) びわこシニアネットホームページの充実および参加促進

- ・シニア IT ボランティアによるホームページの更新 [毎週月・木曜日 9:00～16:00]
- ・シニアお役立ち集、レイカディア大学、ねんりんピック・シルバー作品展、リンク集、お問合せのメニューページの更新
- ・びわこシニアネットアクセス件数 9,957（年間）／1日平均 27.65 件

4 長寿社会づくりに関する調査および研究の実施

平成30年度は調査研究を実施せず、次年度以降の調査に向け、過去の研究テーマの整理と今後の研究テーマの抽出を行った。

【福祉用具センター】

1 福祉用具等の展示・相談および普及に関する業務

- 生活に密着した福祉用具の提供が求められている中、福祉用具に関する幅広い情報を入手し、利用者の自立生活や、利用者・介護者双方にとって安全で安楽な介護に向けて、多様な相談に対応できるよう努めるとともに、福祉用具の展示および試用貸出を行い、福祉用具の普及・啓発に取り組んだ。

(1) 福祉用具等の展示

①福祉用具センター展示室の管理運営

現在 683 点の福祉用具を展示

②滋賀県福祉用具センター運営委員会（福祉用具普及検討委員会）の開催

開催日	協議事項および結果
＜第1回＞ 平成30年10月17日(水)	①在宅・施設における介護にかかる課題について(意見交換) ②企業から申請のあった新規展示福祉用具の選定について (13点中12点採用)
＜第2回＞ 12月17日(月)	①福祉用具センター今後の事業について(意見交換) ・アンケート結果の報告 ・上記からの課題解決に向けた取組について ・その他、在宅・一般の方への普及啓発等について
＜第3回＞ 平成31年3月11日(月)	①企業から申請のあった新規展示福祉用具の選定 (5点中4点採用) ②事務局提案の展示福祉用具の導入(2点中2点採用) ②廃番福祉用具の確認 (廃番用具については、展示室から除外) ③センター次年度事業計画について

③展示福祉用具の試用評価および貸出等による活用

- ・試用評価貸出件数

分類別貸出用具件数			
入浴用品	41 件	移乗用具・リフト	65 件
トイレ用具	17 件	住宅関連	3 件
歩行支援	35 件	コミュニケーション関連	25 件
自助具	141 件	家具・手すり	6 件
衣類・靴	22 件	褥瘡予防	6 件
車いす	4 件	その他	7 件
車いす付属品	10 件	計	382 件

適合の状況（複数回答）		評価結果	
結果	評価数	結果	評価数
すべて適合	155 件	導入	86 件
本人との不適合	139 件	同じ機能を有する別の製品	49 件
介護者と不適合	15 件	見送り	132 件
使用環境と不適合	34 件	検討中	49 件
他の用具と不適合	9 件	未試用	66 件
その他	34 件	計	382 件

・研修・展示等貸出実績

借用者	研修	展示・イベント	貸出点数
福祉関係機関・団体等	19 件	5 件	160 件
福祉用具取扱い事業所等	9 件	2 件	63 件
その他（大学ほか）	1 件	2 件	16 点
計	20 件	7 件	155 点

④福祉用具展示相談会等の開催および参画（出前展示）

開催日	名称と主な内容	会 場	参加者数
平成 30 年 9 月 17（月）	じんけんフェスタしが 2018 （福祉用具の展示・体験コーナー設置）	ピアザ淡海 （大津市）	54 人
10 月 12 日（金）	ボランティアグループ 介護者のつどい（展示と説明）	堅田市民センター （大津市）	26 人
10 月 21 日（日）	第 42 回速野学区民のつどい （福祉用具の展示・体験コーナー設置）	びわこ地球市民の 森および森づくり センター （守山市）	100 人
10 月 27 日（土）	八幡学区 福祉フェスタ （福祉用具の展示・体験コーナー設置）	八幡コミュニティ センター （近江八幡市）	50 人
11 月 4 日（日）	上田上学区文化祭 （福祉用具の展示・体験コーナー設置）	上田上市民センタ ー（大津市）	60 人
11 月 12 日（月）	湖東圏域「福祉の職場説明会」 （福祉用具の展示・体験コーナー設置）	ビバシティホール （彦根市）	50 人
11 月 22 日（木）	福祉用具セミナー・展示体験会 （セミナー・福祉用具の展示ほか） 詳細については別掲	センター	409 人 （関係者含む）
12 月 8 日（土）	平成 30 年度障害者週間啓発・推進 事業【啓発イベント】 （福祉用具の展示・体験コーナー設置）	イオンモール草津 セントラルコート （草津市）	150 人
12 月 9 日（日）	国ふえす 2018 in Koka （福祉用具の展示・体験コーナー設置）	碧水ホール （甲賀市）	100 人

(2) 福祉用具等に関する相談対応

①福祉用具・住宅改修に関する専門的な相談対応

・相談内容と件数（複数の相談対応）

相談内容	件数	相談内容	件数
福祉用具の紹介	162 件	住宅改修関係	11 件
福祉用具の選定・使用方法	148 件	更生医療・補装具関係	1 件
福祉用具の改造	39 件	その他	0 件
福祉用具関係その他	36 件	計	274 件

②関係機関・団体等との連携

地域リハビリテーションを推進する各機関、団体等と連携し、相談体制の充実を図った。
また、福祉用具メーカー・福祉用具貸与販売事業所と連携し、福祉用具の普及促進を行った。

ア 県立リハビリテーションセンターとの連携

- ・県立リハビリテーションセンター更生相談係と一体化を図り、福祉用具相談プラザとしてワンストップでの相談対応を図った。
- ・福祉用具セミナー・展示体験会を共催で開催した。
- ・県立リハビリテーションセンターが事務局となる「多職種連携学会記念研究大会」の運営に参画した。

イ 福祉用具メーカー・福祉用具貸与販売事業所との連携

- ・福祉用具展示品の寄託・寄贈を得た。
- ・福祉用具セミナー・展示体験会への展示、当日スタッフ等の協力を得た。
- ・日本福祉用具供給協会滋賀ブロックと福祉用具セミナー・展示体験会、リフトリーダー養成研修を共催で開催した。

ウ 医療・福祉に関わる職能団体、患者会等の各団体との連携

- ・滋賀県介護支援専門員連絡協議会と福祉用具セミナー・展示体験会を共催で開催した。
- ・平成 30 年 12 月 16 日（日）・平成 31 年 1 月 20 日（日）「難病コミュニケーション支援講座」（主催：滋賀県難病相談支援センター）を共催で開催した。

エ 大規模災害時における福祉用具の供給体制整備

- ・貸与可能福祉用具の整理を行った。

(3) 福祉用具等に関する情報の収集、提供、普及に関する業務

①福祉用具・住宅改修についての情報収集および情報提供

情報収集を目的に次の展示会、会議等に参加した。また、情報提供については展示体験会を開催するとともにホームページの有効活用を行った。

- ・高齢者・障害者の快適な生活を提案する総合福祉展〔バリアフリー2018〕（大阪市）
- ・介護ロボットメーカー連絡会議（東京都）
- ・国際福祉機器展〔HCR〕（東京都）
- ・全国福祉用具相談・研修機関協議会全国会議（大阪市）

②福祉用具センター見学者等の受け入れ

・福祉用具センター来館者数

見学・視察（21団体）	397人	研修受講者（延べ31日）	1,202人
見学・視察〔個人〕	281人	外部依頼研修等	932人
来所相談	159人	その他来館者	674人
福祉用具試用貸出	228人	計	3,873人

・福祉用具センター利用者数

来館者	3,873人	来所以外の相談	154人
出前講座等	1,558人	計	5,585人

<数値目標と実績値>

■年間利用者数 目標値：5,700人 実績値：5,585人

③地域、団体、学校等からの依頼研修の実施

〔来所〕 10件実施

実施日	テーマ	依頼団体	参加者数
H30. 6. 8	日常生活用具・適切な選定のための注意点	滋賀県立リハビリテーションセンター	18人
H30. 8. 9	福祉用具と住宅改修の活用	滋賀県介護支援専門員連絡協議会	80人
H30. 9. 10	快適な居住環境整備と介護	(公社)シルバー人材センター連合会	13人
H30. 10. 20	褥瘡予防	独立行政法人自動車事故対策機構滋賀支所	12人
H30. 10. 25	福祉用具の選び方と使い方	滋賀医療技術専門学校	23人
H30. 11. 13	快適な居住環境整備と介護	県社会就労事業振興センター	9人
H30. 12. 6	自立支援のための福祉用具に関する理解	大津赤十字看護専門学校	16人
H30. 12. 14	自立支援のための福祉用具に関する理解	大津赤十字看護専門学校	16人
H31. 3. 14	車いす介助体験	一般社団法人滋賀県バス協会	21人
H31. 3. 15	車いす介助体験	一般社団法人滋賀県バス協会	29人

〔出前〕 4件実施

実施日	テーマ	依頼団体	参加者数
H30. 4. 27	福祉用具と住宅改修の基礎知識	レイカティア大学(草津校)	223人
H30. 5. 17	福祉用具と住宅改修の基礎知識	レイカティア大学(米原校)	95人
H31. 1. 20	動作介助の基本、福祉用具の活用	介護・福祉人材センター	14人
H31. 3. 1	福祉用具を使った重度利用者の介助方法	甲賀市デイサービスセンター	10人

④体験学習（高齢者疑似体験）の実施（H30.7月以降中止）

〔来所〕 1件実施

実施日	テーマ	依頼団体	参加者数
H30. 6. 8	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	県社会就労事業振興センター	7人

〔出前〕 5 件実施

実施日	テーマ	依頼団体	参加者数
H30. 4. 12	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	㈱滋賀銀行	59 人
H30. 4. 16	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	㈱滋賀銀行	58 人
H30. 5. 8	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	びわこ成蹊スポーツ大学	10 人
H30. 6. 21	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	大津市立大石小学校	26 人
H30. 6. 22	高齢者疑似体験（インスタント・シニア）	大津市立大石小学校	26 人

⑤中日本ブロック介護実習・普及センター等連絡会議の開催

開催日 平成 30 年 12 月 7 日 (金)

会 場 センター

内 容 (1) 情報共有・意見交換

- ・腰痛予防対策について
- ・専門職育成について
- ・介護ロボットの普及について
- ・福祉用具展示・普及啓発について

(2) 最新情報等 (テクノエイド協会)

(4) 福祉用具センターおよび福祉用具センターの業務内容の普及に関する業務

- ・ホームページの活用等により、情報提供などを行った。

2 福祉用具等の改造・製作ならびに技術の開発業務

- ・本人や家族とともに日常的なかかわりのある支援者、専門機関などと連携し、利用者の心身の状況や使用環境等、利用者福祉用具の適合状況について評価分析を実施し、分析結果をもとに必要な改造・製作を行い、利用者にもっともふさわしい福祉用具を提供した。

(1) 福祉用具等の評価

(2) 福祉用具の改造・製作

(3) 福祉用具等の技術開発

- ・福祉用具の相談から改造・製作の依頼を受けた内容と件数

福祉用具の種類	改造・製作の主な内容	件数
衣類	ズボン、下着、サポーターの改造	15 件
車いす	酸素ボンベ架台取付具の製作	1 件
車いす	肘置き改造	1 件
	計	17 件

(4) 自助具製作グループとの連携および技術指導

- 活動室を利用する自助具製作グループと連携を図るとともに、必要に応じ、技術指導を行った。

3 福祉用具等に関する研修実施業務

・福祉・介護・保健・医療分野の専門職を対象に、福祉用具・介護技術に関する研修を実施するとともに、福祉用具専門相談員等専門の人材を育成する研修を実施し、福祉用具の普及に向けた支援等を行った。

(1) 福祉用具等の基礎知識の普及

- ①専門職種に向けた福祉用具の正しい知識の啓発
- ②介護技術に関する専門的人材の育成研修(介護技術の段階に応じた研修)

(2) 福祉用具・住宅改修に関する専門的人材の育成

- ①住宅改修に関する研修
- ②福祉用具専門相談員に関する研修
- ③リハビリテーション関係職員研修
- ④その他、介護職員、介護者、障害者施設職員、学校関係者に対する研修
- ⑤福祉用具に関する高度な専門知識を有する人材育成研修

(3) 福祉用具関係者への技術的な指導・助言および地域の事業所との技術連携

- ・福祉用具関係機関や、ボランティア活動グループ等と協力・連携した。

(4) 介護の仕事の負担軽減を図り、人材が定着することを目指した福祉機器(介護ロボットを含む)の活用の推進

- ①「社会福祉施設等における福祉用具(介護ロボットを含む)の利活用に関するアンケート調査」の実施(回収率 405/1,220 か所 33%)の実施や、ヒアリング調査による現状把握
- ②福祉用具セミナー・展示体験会の開催(再掲)による情報発信
 - ・介護ロボットに関するセミナー、導入施設実践報告、展示体験会などにより、情報の発信を行った。

・詳細については別紙「研修実績報告書」のとおり

<数値目標と実績値>

■受講料収入 目標値：1,110,000円 結果：1,211,000円

平成30年度滋賀県福祉用具センター実施研修実績報告書

1 専門職種に向けた福祉用具の正しい知識の啓発研修

研修名	福祉用具・住宅改修基礎セミナー	受講者実数	38	累計	76
受講対象	すべての福祉・保健・医療・教育関係者で、はじめてまたは改めて福祉用具・住宅改修について基本的な学習をしようとする方				
開催日	H30.5.15・5.18				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間(分)	講師	
				所属・役職名	氏名
	・福祉用具の基礎を学ぶ	講義・演習	120	株式会社ノーブレイク 代表取締役	中村 真理
	・福祉用具の種類と特徴	講義・演習	150	滋賀県社会福祉協議会 福祉用具センター	谷 佳代
	・福祉用具の見学	見学	30	滋賀県社会福祉協議会 福祉用具センター	センター職員
	・住宅改修の基礎を学ぶ	講義	120	高島市役所健康福祉部 地域包括支援課	西上 勲
	・福祉用具・住宅改修に関する制度施策（障害福祉に関する制度施策）	講義	75	県立リハビリテーションセンター 更生相談係	南部 康彦
	・福祉用具・住宅改修に関する制度施策（介護保険に関する施策）	講義	75	滋賀県健康医療福祉部医療福祉推進課	
	・福祉用具の見学	見学	30	滋賀県社会福祉協議会 福祉用具センター	センター職員

2 介護技術に関する専門的人材の育成研修

研修名	職業としての「介護入門講座」（第1回）	受講者実数	1日目72 2日目72	累計	144
受講対象	介護に関する資格や基礎知識を持たない、社会福祉施設・事業所等で介護職に就いたばかりの新任職員				
開催日	1日目：H30.4.13 2日目：H30.4.18・19・25				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間(分)	講師	
				所属・役職名	氏名
	・職務についての理解、介護職の仕事内容や働く現場の理解 ・介護における尊厳の保持、自立支援 ・加齢に伴う心身の変化 ・介護上の留意点と介護に必要な基本的な用語	講義・演習	300	一般社団法人 滋賀県介護福祉士会	大原 英子
	・高齢者疑似体験を通し高齢者の身体的・心理的特徴理解 ・動作介助の基本	講義・実技	300	滋賀県社会福祉協議会 福祉用具センター	中原 孝志 谷 佳代

研修名	介護技術研修<ステップ1>動作介助	受講者実数	A：23 B：22 C：19	累計	128
受講対象	介護業務に従事していて、研修で学んだ内容を職場で実践・展開することが期待でき、課題レポートを提出できる方				
開催日	A日程：H30.5.23・6.20 B日程：H30.6.7・7.12 C日程：H30.6.14・7.19				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間(分)	講師	
				所属・役職名	氏名
	・動作介助を学ぶ上で必要な視点と知識 ・基本的な動作介助・ベッド上移動から起居・立ち上がり、移乗の実技と福祉用具の活用方法 ・1日目の復習(実技)と困難事例について ・リフトのデモンストレーション等	講義・演習 講義・演習	300 300	滋賀医療技術専門学校 専任講師（理学療法士）	川崎 浩子

平成30年度滋賀県福祉用具センター実施研修実績報告書

研修名	介護技術研修～福祉用具を活用した重度の肢体不自由者の動作介助～	受講者実数	23	累計	46
受講対象	介護業務に従事していて、学んだ内容を職場で実践・展開することが期待できる方				
開催日	H30.9.12・10.16				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間(分)	講師	
				所属・役職名	氏名
	・介助の考え方 ・姿勢管理 ・動作介助（ベッド上移動・寝返り・起き上がり）	講義・演習	300	青木病院 理学療法士	出野 智子
	・1日目の学習内容の再確認 ・動作介助の実技（リフトによる移乗等）	講義・演習	300		

研修名	介護技術研修《ステップ2》食事介助	受講者実数	20	累計	20
受講対象	介護技術研修《ステップ1》修了証明書を保持している方で、事後レポートの提出ができる方				
開催日	H31.1.21				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間(分)	講師	
				所属・役職名	氏名
	・摂食嚥下のしくみと摂食嚥下障害について ・座位とベッド上での姿勢づくりと基本的な食事介助(実技) ・食事のための福祉用具等の紹介	講義・演習	300	医療法人社団弓削メディカルクリニック 言語聴覚士・作業療法士	田口 裕

研修名	介護技術研修《ステップ2》入浴介助	受講者実数	21	累計	62
受講対象	介護技術研修《ステップ1》修了証明書を保持している方で、2日間の受講とレポートの提出ができる方				
開催日	H31.12.5・1.23				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間(分)	講師	
				所属・役職名	氏名
	・入浴介助を学ぶ上で必要な基礎知識 ・入浴動作、介助方法と環境調整 ・疾患別入浴動作の特徴 ・困難事例の検討	講義・演習	300	株式会社 明尚 (リハステーション) 守山 デイサービス 作業療法士	岡本 理宏
		講義・演習	300		

研修名	介護技術研修《ステップ2》排泄介助	受講者実数	17	累計	34
受講対象	介護技術研修《ステップ1》修了証明書を保持している方で、2日間の受講と事前レポート、事後レポートの提出ができる方				
開催日	H30.12.12・H31.1.16				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間(分)	講師	
				所属・役職名	氏名
	・排泄ケアの特徴と目的 ・正しいオムツの選び方と装着 ・トイレ移乗にかかわる実技(福祉用具を活用して) ・排尿日誌、排便日誌の付け方・見方 ・事例検討	講義・演習	300	介護・健康用品のクローバー代表取締役	中村 真理
		講義・演習	300		

平成30年度滋賀県福祉用具センター実施研修実績報告書

3 福祉用具・住宅改修に関する専門的人材の育成研修

研修名	住宅改修研修 「事例を通して学ぶ住宅改修」	受講者実数	24	累計	24
受講対象	福祉用具・住宅改修に関わる専門職				
開催日	H30. 9. 21				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間(分)	講師	
				所属・役職名	氏名
	・住宅改修に必要な視点・進め方 ・事例検討	講義・演習	300	作業療法士	島 真理子

4 市町、福祉関係施設職員の知識・技術の習得のための研修

研修名	車いすシーティング研修	受講者実数	28	累計	28
受講対象	医療・介護・福祉分野に従事していて車いすシーティングに関心のある方				
開催日	H30. 12. 22				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間(分)	講師	
				所属・役職名	氏名
	・シーティングに必要な基礎知識 ・アセスメント ・車いすでの姿勢づくり	講義 講義・実技	120 180	医療法人誠佑記念病院 リハビリテーション室室長 理学療法士	北出 貴則

平成30年度滋賀県福祉用具センター実施研修実績報告書

5 福祉用具に関する高度な専門知識を有する人材の育成研修

研修名	福祉用具プランナー研修	受講者実数	30	累計	270
受講対象	「受講資格条件」「実務経歴」「eラーニング受講条件」を満たす者				
開催日	集合研修：H30.8.30・9.1・9.6・9.11・10.3・10.6・10.18・10.22・10.29 eラーニング研修履修期間：H30.8.10～10.10				
会場	集合研修：長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間(分)	講師	
				所属・役職名	氏名
	高齢者の身体特性	演習	90	滋賀医療技術専門学校 理学療法士	川崎 浩子
	生活における基本動作・ADLの理解	実技	90		
	移乗関連用具	実技	180		
	起居関連用具	実技	180	ヴォーリス記念病院 理学療法士	酒井 英志
	移動関連用具	実技	180		
	床ずれ防止関連用具	実技	180	彦根市立病院 皮膚・排泄ケア認定看護師	西村 紀子
	職業倫理	演習	90	株式会社ライフテクノサービス 福祉用具プランナー管理指導者	雷 俊峰
	最新情報	講義	90		
	入浴関連用具	実技	180	長浜赤十字病院 作業療法士	伊藤 恵
	排泄関連用具	実技	180		
	構造とメンテナンス	実技	180	日本福祉大学 教授	渡辺 崇史
	食事・更衣・整容の活動と用具、コミュニケーション関連用具、社会参加関連用具	実技	180		
	住宅改造①	演習	180	まちとくらしの研究所 所長 一級建築士	藤井 三郎
	住宅改造②	演習	180		
	対人援助技術	演習	180	龍谷大学社会学部非常勤講師	扇田 宗親
	住宅改造③	演習	180	まちとくらしの研究所 所長 一級建築士	藤井 三郎
	相談援助のためのプランニングの実際	演習	90	作業療法士	島 真理子
	相談援助のためのプランニングの演習①	演習	270		
	相談援助のためのプランニングの演習②	演習	270	作業療法士	島 真理子
	修了試験		90	テクノエイド協会	

研修名	リフトリーダー養成研修 (福祉用具プランナー更新制度指定研修)	受講者実数	30	累計	60
受講対象	介護支援に携わる専門職員等				
開催日	H30.11.30・12.1				
会場	長寿社会福祉センター				
研修内容	科目	方法	時間(分)	講師	
				所属・役職名	氏名
	・リフトリーダーと助成金制度	講義・演習	90	福祉技術研究所株式会社 代表取締役	市川 洸
	・腰痛の原因と対策	講義・演習	90		
	・介護作業とリフト	講義・演習	180		
	・移乗関連用具 ・指導法	講義・演習	360		

平成30年度滋賀県福祉用具センター実施研修実績報告書

※ 福祉用具セミナー・展示体験会（再掲）

研修名	福祉用具セミナー・展示体験会	参加者実数	409	累計	409
受講対象	参加を希望する方				
開催日	H30.11.22				
会場	長寿社会福祉センター				
共催	県立リハビリテーションセンター、日本福祉用具供給協会滋賀ブロック、県介護支援専門員連絡協議会				
内 容	科目	方法	時間 (分)	講師等	
				所属・役職名	氏名
	スペシャルセミナー1 「介護ロボット～福祉機器の今と未来を考える」	講義	90	公益社団法人テクノエイド協会 企画部部長	五島 清国
	スペシャルセミナー2 「介護ロボット～福祉機器の今と未来を考える」	実践報告	90	社会福祉法人シルヴァーウィング 理事長	石川 公也
選択セ ミナー	1 展示会しつとこツアー	体験	60	滋賀県介護支援専門員連絡協議会 日本福祉用具供給協会滋賀ブロック	

【運営適正化委員会】

1 運営適正化委員会の運営

福祉サービスに関する苦情解決と福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）の適正な運営を確保するため、次のとおり委員会の運営を行った。

(1) 選考委員会の開催

①第10期運営適正化委員会選考委員会委員の選任

公示期間：平成30年6月15日（金）～29日（金）

②第10期運営適正化委員会委員の選任

開催日 平成30年8月22日（水）

会 場 センター

(2) 全体委員会の開催

開催日 平成30年10月19日（金）

会 場 センター

議 事 (1) 委員長の選任について

(2) 副委員長（委員長代理）の指名について

(3) 平成29年度事業報告、平成30年度事業概要および今後の予定

(3) 苦情解決合議体の活動

福祉サービスに関する利用者等からの苦情解決を図るため、苦情解決合議体を次のとおり開催した。

①合議体の開催（7回開催）

	期 日	内 容
1	平成30年 4月24日（火）	苦情案件の検討（協議・報告案件 15件）
2	6月26日（火）	苦情案件の検討（協議・報告案件 13件）
3	8月23日（木）	苦情案件の検討（協議・報告案件 10件）
4	10月19日（金）	苦情案件の検討（協議・報告案件 12件）
5	12月 4日（火）	苦情案件の検討（協議・報告案件 10件）
6	平成31年 2月27日（水）	苦情案件の検討（協議・報告案件 14件）

事情調査：4件

申し入れ：3件 [文書3件]

あっせん：1件

知事通知：0件

虐待通報：0件

②福祉サービスに関する苦情相談の受付状況（月別）

	苦情 受付	苦 情 解 決 の 結 果							その他 問合せ等	合 計
		相談 助言	紹介 伝達	あっ せん	通知	事情 調査	申入れ	継続		
4月	3	3	0	0	0	0	0	0	6	9
5月	2	1	0	0	0	0	0	1	12	14
6月	0	0	0	0	0	0	0	0	8	8
7月	0	0	0	0	0	0	0	0	13	13
8月	1	1	0	0	0	0	0	0	12	13
9月	4	3	0	0	0	0	0	1	7	11
10月	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
11月	2	1	0	1	0	0	0	0	5	7
12月	1	0	0	0	0	0	0	1	4	5
1月	5	2	0	0	0	0	0	3	3	8
2月	1	1	0	0	0	0	0	0	9	10
3月	1	0	0	0	0	0	0	1	22	23
合計	21	13	0	1	0	0	0	7	101	122

2 福祉サービスの苦情解決にかかる広報啓発

(1) 運営適正化委員会の周知

- ・県社協ホームページでの広報を実施するとともに、随時、リーフレット等広報資材を相談者等へ提供した。

3 事業者段階における苦情解決の推進

(1) 福祉サービス事業者巡回指導の実施

事業所における苦情解決の推進を図るため、会議等の場で福祉サービス利用者等の権利擁護にかかる苦情解決の取り組みについて助言等を行った。

	期 日	対象（種別）	内容等
1	平成 30 年 9 月 28 日（金）	市社協・市内社会福祉施設	意思決定支援が必要な方の対応検討
2	11 月 9 日（金）	市社協・市内介護事業所	福祉サービスの質の向上に係る体制整備
3	平成 31 年 1 月 25 日（金）	市社協・市内社会福祉施設	意思決定支援が必要な方の対応検討
4	2 月 15 日（金）	市社協・市内介護事業所	福祉サービスの質の向上に係る体制整備
5	2 月 27 日（水）	NPO 法人役職員	意思決定支援が必要な方の対応検討

6	3月25日(月)	市社協・市内社会福祉施設	意思決定支援が必要な方の対応検討
---	----------	--------------	------------------

4 地域福祉権利擁護事業の適正な運営の確保

(1) 運営監視合議体の活動

福祉サービス利用援助事業（地域福祉権利擁護事業）の適正な運営の確保を図るため、運営監視合議体および現地調査を次のとおり実施した。

①合議体の開催

<第1回>

開催日 平成30年10月19日(金)

会 場 センター

内 容 (1) 合議体長の選任について
(2) 現地調査進め方について

<第2回>

開催日 平成31年2月15日(金)

内 容 (1) 現地調査の報告と助言事項について
(2) 平成31年度現地調査について

合議体の開催（2回開催）

②定期現地調査の実施状況（6社協実施）

	期 日	調査実施社協名
1	平成30年11月27日(火)	栗東市社会福祉協議会
2	12月6日(木)	大津市社会福祉協議会
3	12月10日(月)	湖南市社会福祉協議会
4	12月13日(木)	甲賀市社会福祉協議会
5	12月14日(金)	高島市社会福祉協議会
6	12月18日(火)	日野町社会福祉協議会